



BladeSymphony BS2000 Virtage OSインストール手順書(Windows編)

第6版 2013年 3月

HITACHI

マニュアルはよく読み、保管してください。
操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複製することは固くお断りします。
- ・本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらお問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

登録商標・商標について

Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権に保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2010, 2013, All rights reserved.

はじめに

本書は、一般的なVirtage OSインストールの簡易手順を示した設定例となります。
お客様の環境により表示内容や一部の手順が異なる場合があることをご承知おきください。
OSインストールの前に以下のガイドを参照し、注意事項および制限事項を必ず確認してください。

- ・BladeSymphony BS2000 ユーザーズガイド
- ・BladeSymphony BS2000 ソフトウェアガイド

また、本書で記載している時間はおおよその目安です。環境により時間が変わる場合があります。

Windows Server について

サポートしているWindows Serverをインストールするマニュアル(手順)については以下のガイドを参照してください。

BS2000 対象マニュアルマトリクス (Windows Server 編)

機種		対象マニュアル	Windows Server 2012	Windows Server 2008/2008 R2	Windows Server 2003 R2
E55R3/ E55S3	「Hitachi Server Navigator」 をお持ちの方	Hitachi Server Navigator OSセットアップガイド	◎	◎	—
		OS セットアップガイド for Windows Server 2012	○	—	—
		BS2000 ソフトウェアガイド	—	○	—
		Virtage OSインストール手順書	—	○	—
	上記以外	OS セットアップガイド for Windows Server 2012	◎	—	—
		BS2000 ソフトウェアガイド	—	◎	—
		Virtage OSインストール手順書	—	○	—
E55A2		OS セットアップガイド for Windows Server 2012	◎	—	—
		BS2000 ソフトウェアガイド	—	◎	◎
		Virtage OSインストール手順書	—	○	○
E55A1		BS2000 ソフトウェアガイド	—	◎	◎
		Virtage OSインストール手順書	—	○	○
E57A2/ E57E2	「Hitachi Server Navigator」 をお持ちの方	Hitachi Server Navigator OSセットアップガイド	◎	◎	—
		OS セットアップガイド for Windows Server 2012	○	—	—
		BS2000 ソフトウェアガイド	—	○	—
		Virtage OSインストール手順書	—	○	—
	上記以外	OS セットアップガイド for Windows Server 2012	◎	—	—
		BS2000 ソフトウェアガイド	—	◎	—
		Virtage OSインストール手順書	—	○	—
E57A1/E57E1		OS セットアップガイド for Windows Server 2012	◎	—	—
		BS2000 ソフトウェアガイド	—	◎	◎
		Virtage OSインストール手順書	—	○	○

◎: サポート(推奨) ○: サポート —: 非サポート

※「Hitachi Server Navigator」はOSのインストールを簡単に行うためのツールです。
詳細は、弊社担当営業までお問い合わせください。

目次

重要なお知らせ
登録商標・商標について
著作権について
はじめに
Windows Server について

[1. Windows Server 2003 R2 SP2インストール手順](#)

	ページ
1. 1 準備	5
1. 2 HVMの起動	10
1. 3 HVMの設定	15
1. 4 LPARの構築	–
1. 4. 1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)	18
1. 4. 2 LPARの構築(HVM Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合)	24
1. 4. 3 LPARの構築(HVM Ver(58-40-58-84)、(78-40-78-84)を使用する場合)	29
1. 4. 4 LPARの構築(HVM Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合)	34
1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール	39

[2. Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1インストール手順](#)

	ページ
2. 1 準備	70
2. 2 HVMの起動	74
2. 3 HVMの設定	79
2. 4 LPARの構築	–
2. 4. 1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)	82
2. 4. 2 LPARの構築(HVM Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合)	88
2. 4. 3 LPARの構築(HVM Ver(58-40-58-84)、(78-40-78-84)を使用する場合)	93
2. 4. 4 LPARの構築(HVM Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合)	98
2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール	104

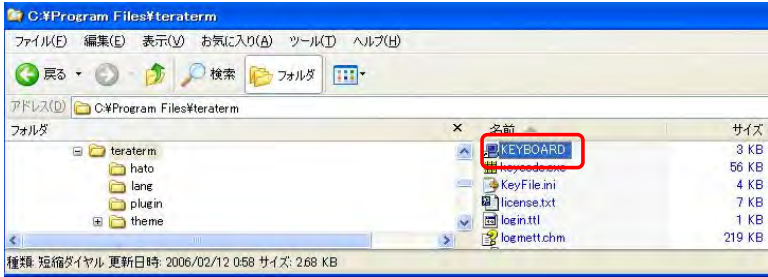
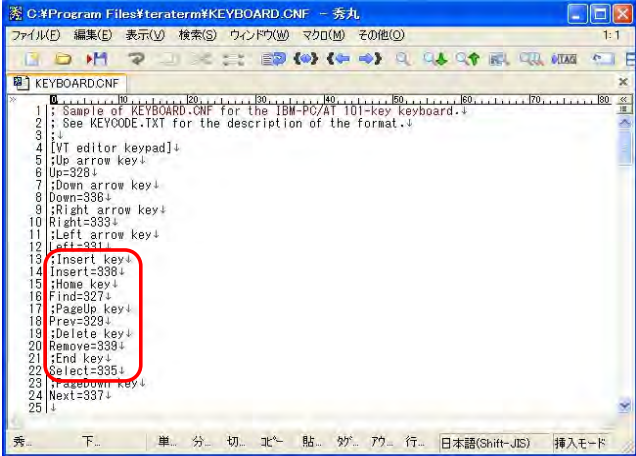
[3. 変更来歴](#)

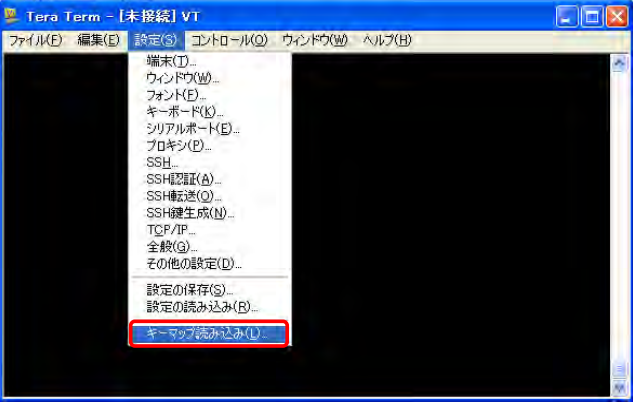
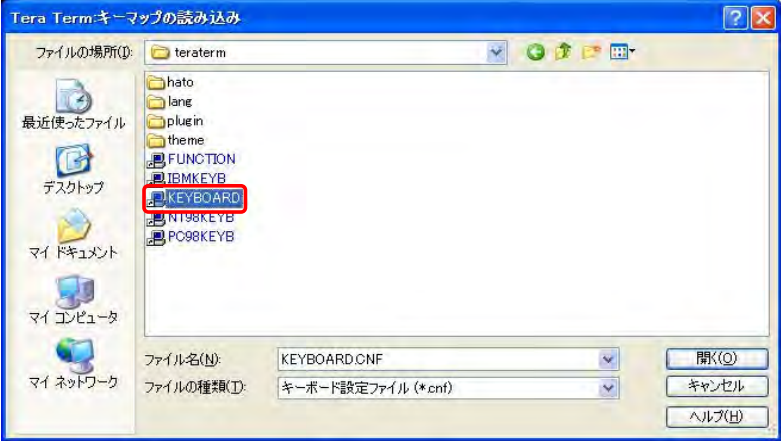
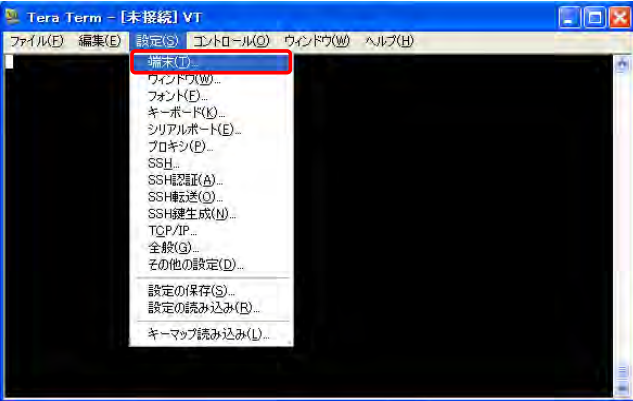

1. Windows Server 2003 R2 SP2 インストール手順

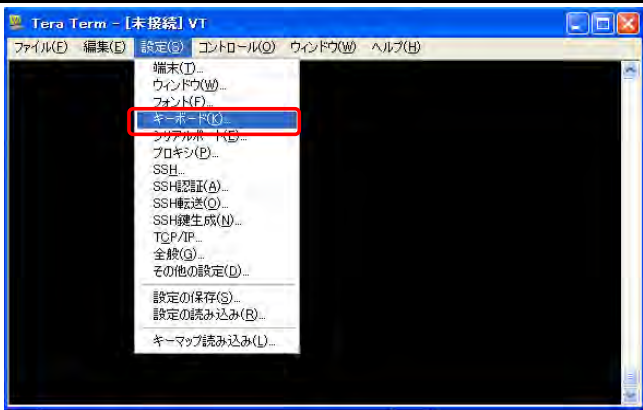
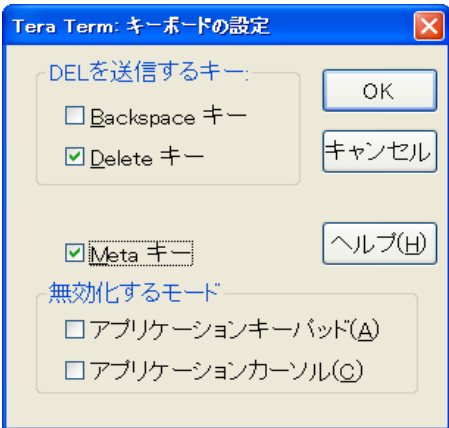
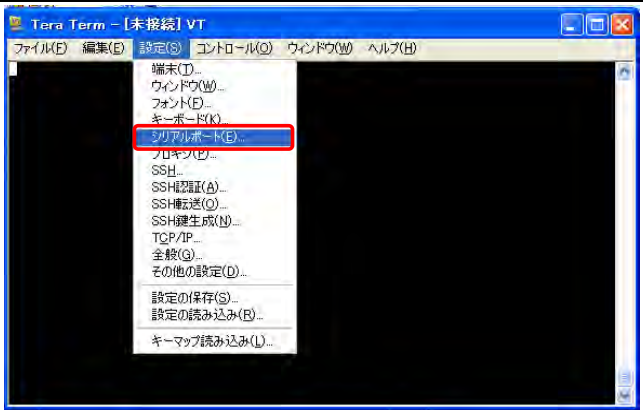
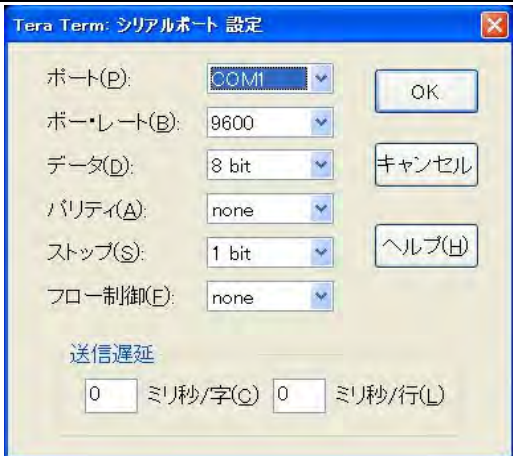
インストール所要時間


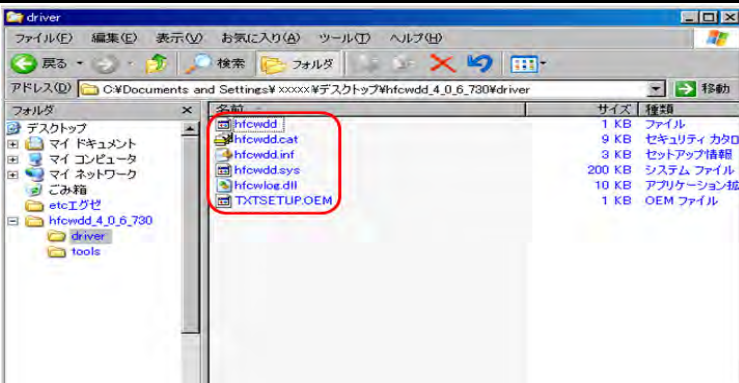
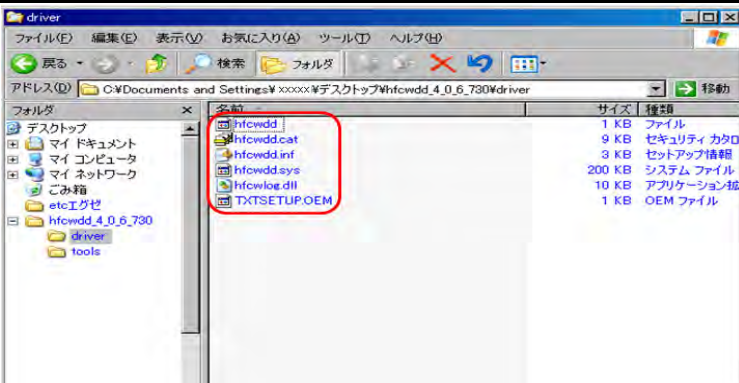
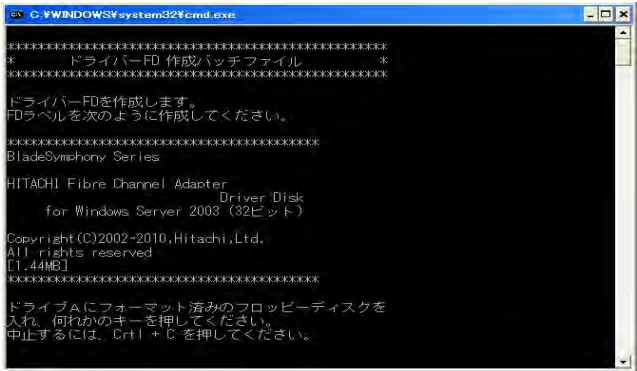
	所要時間
1. 1 準備	5分
1. 2 HVMの起動	10分
1. 3 HVMの設定	10分
1. 4 LPARの構築 (1. 4. 1 or 1. 4. 2 or 1. 4. 3 or 1. 4. 4の内の1つを選択)	10分
1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール	60分
合計時間	95分

1. 1 準備

No.	画面	操作	チェック
1	事前準備	<p>■事前に準備するものについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のものを準備します。 <ul style="list-style-type: none"> ・CD/DVDドライブ ・FDドライブ ・USB DVDドライブ ※1 ・USB FDドライブ ※2 ・SystemInstaller CD ※3 ・Windows Server 2003 R2 SP2メディア ・FD ・JP1/ServerConductorメディア ・ハードウェア保守エージェントメディア ※1 リモートCD/DVDを使用する場合は不要。 ※2 リモートFDを使用する場合は不要。 ※3 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載した表中のバージョン以降を前提にしています。お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstaller CDによって動作が若干異なる場合があります。 <p>E55A1モデル:01-00以降 E55A2モデル:02-00以降 E57A1/E57E1モデル:01-00以降</p>	□
2		<p>■Tera Termの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KEYBOARD.CNFを開きます。 	□
3		<ul style="list-style-type: none"> ・以下の設定になっていることを確認します。 <p>Insert=338 Find=327 Prev=329 Remove=339 Select=335</p>	□

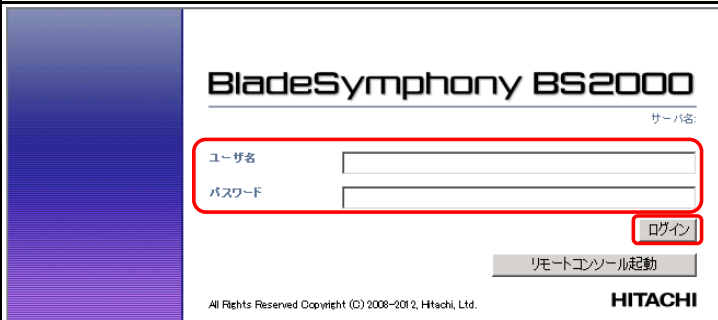

No.	画面	操作	チェック
4		・[設定(S)]-[キーマップ読み込み(L)]をクリックします。	<input type="checkbox"/>
5		・KEYBOARD.CNFをクリックします。	<input type="checkbox"/>
6		・[設定(S)]-[端末(T)]をクリックします。	<input type="checkbox"/>
7		・左記の設定となっていることを確認します。	<input type="checkbox"/>


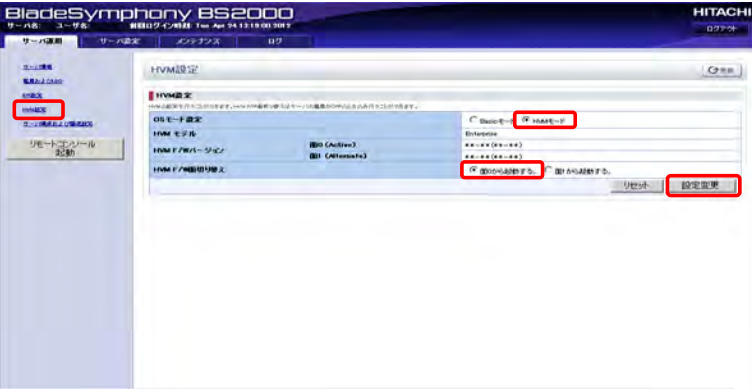

No.	画面	操作	チェック
8		・[設定(S)]-[キーボード(K)]をクリックします。	□
9		・左記の設定となっていることを確認します。	□
10		・[設定(S)]-[シリアルポート(E)]をクリックします。	□
11		・左記の設定となっていることを確認します。	□


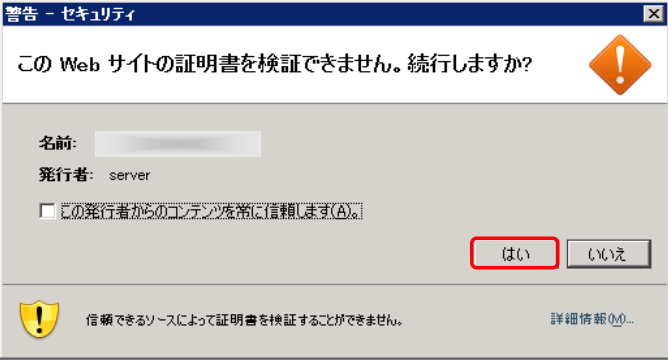

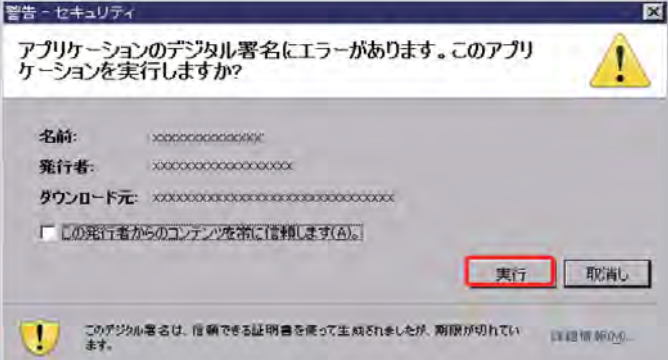
No.	画面	操作	チェック
12	<p align="center">SystemInstaller CD内のドライバ確認</p>	<p>■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認</p> <p>SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内の readme.html を参照します。</p> <p>インストールに使用するデバイスのドライバが SystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。</p> <p>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/ “導入後のサポート”-“サポート製品ダウンロード”-“ダウンロード最新情報一覧”</p>	□
項目13は どちらか一方を実施してください。			
13	<div data-bbox="100 772 159 801">13-1</div>  <div data-bbox="100 1187 159 1216">13-2</div> 	<p>■SystemInstallerからドライバFDの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SystemInstaller CDをCD/DVDドライブに入れます。 ・フォーマット済みのFDをFDドライブに入れます。 ・D:¥OPTION¥WIN2003¥“拡張カード型名”¥MKFD.BATをクリックします。 <p>※x64の場合は、 ・D:¥OPTION¥WIN2003x64¥“拡張カード型名”¥MKFD.BATをクリックします。</p> <p><u>手順14に進みます。</u></p>	□
	<div data-bbox="100 1187 159 1216">13-2</div> 	<p>■WebからダウンロードしたドライバのFD作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマット済みのFDをFDドライブに入れます。 ・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。 ・C:¥.....¥“ドライババージョン”¥driver¥にあるすべてのファイルをFDにコピーします。 <p>※FDにはディレクトリなしでコピーしてください。フォルダを作成するとインストールの際にドライバを読み込むことができなくなります。</p> <p><u>1.2 HVMの起動に進みます。</u></p>	□
14		<ul style="list-style-type: none"> ・任意のキーを押します。 	□

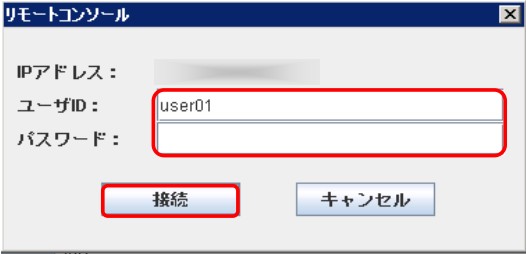


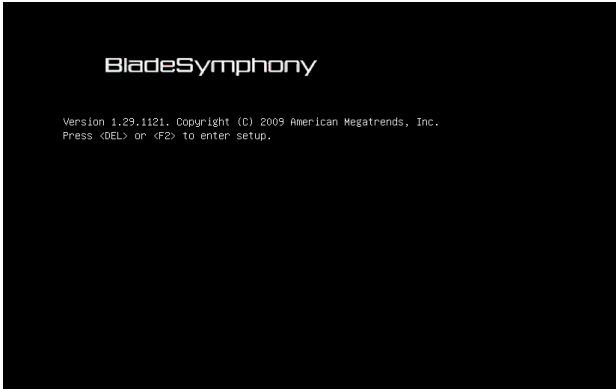
No.	画面	操作	チェック
15		・任意のキーを押します。	<input type="checkbox"/>
1. 2 HVMの起動に進みます。			

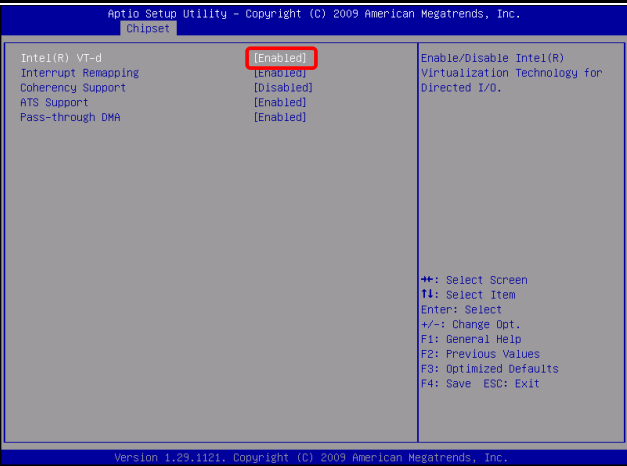
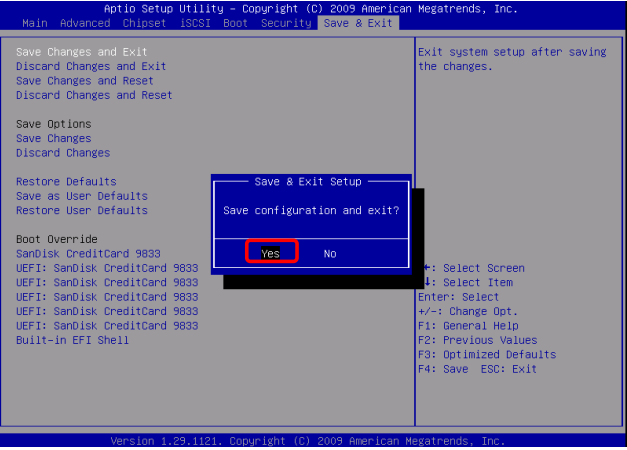
1.2 HVMの起動

No.	画面	操作	チェック																								
1	事前確認	<p>■動作条件確認</p> <p>・リモートコンソールアプリケーション(Reclient)を使用する場合 リモートコンソールアプリケーション(Reclient)の使用方法について、「BS2000用 リモートコンソールアプリケーションユーザズガイド」を参照してください。</p> <p>・リモートコンソールアプリケーション(Javaアプリケーション)を使用する場合 動作条件があります。動作条件を満たしているかご確認ください。 「BS2000ユーザズガイド」-「装置の接続と電源投入」-「システム装置の接続」-「リモートコンソールの接続」、「リモートコンソールアプリケーション(Javaアプリケーション)」を参照してください。</p> <p>※以降の手順は、例としてリモートコンソールアプリケーション(Javaアプリケーション)を記載します。</p>	□																								
2		<p>■サーバブレード Webコンソールにログイン</p> <p>・「ユーザ名」、「パスワード」を入力します。</p> <p>・「ログイン」ボタンをクリックします。</p>	□																								
3		<p>■EFIの設定</p> <p>・「EFI設定」タブをクリックします。</p> <p>・以下の設定になっていることを確認します。</p> <table><thead><tr><th>項目</th><th>設定値</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>SMT(Simultaneous Multi-Threading)</td><td>Disable</td><td>HVMファームウェアバージョン 57-24以前</td></tr><tr><td>APIC Mode</td><td>xAPIC</td><td>HVMファームウェアバージョン 57-30以降</td></tr><tr><td>Socket Interleave</td><td>Non-NUMA</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-60/78-60以前</td></tr><tr><td>PCI Error Handling Mode</td><td>Legacy/Enable</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以降</td></tr><tr><td>PCI Error Isolation</td><td>Disable</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前</td></tr><tr><td></td><td>Disable/Enable</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-80/78-80以降</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>Default</td><td>-</td></tr></tbody></table> <p>※PCIe Error Isolation を使用する場合は、以下のバージョンを使用してください。</p> <p>標準サーバブレード</p> <ul style="list-style-type: none">・E55A1、E55A2の場合 EFI:03-43/04-43 以降 BMC:03-78 以降・E55R3、E55S3の場合 EFI:09-01 以降 BMC:05-01 以降 <p>高性能サーバブレード</p> <ul style="list-style-type: none">・E57A1、E57E1の場合 EFI:03-17/04-17 以降 BMC:04-33 以降・E57A2、E57E2の場合 EFI:07-12 以降 BMC:04-33 以降 <p>・「設定変更」ボタンをクリックします。</p>	項目	設定値	備考	SMT(Simultaneous Multi-Threading)	Disable	HVMファームウェアバージョン 57-24以前	APIC Mode	xAPIC	HVMファームウェアバージョン 57-30以降	Socket Interleave	Non-NUMA	HVMファームウェアバージョン 58-60/78-60以前	PCI Error Handling Mode	Legacy/Enable	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以降	PCI Error Isolation	Disable	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前		Disable/Enable	HVMファームウェアバージョン 58-80/78-80以降	上記以外	Default	-	□
項目	設定値	備考																									
SMT(Simultaneous Multi-Threading)	Disable	HVMファームウェアバージョン 57-24以前																									
APIC Mode	xAPIC	HVMファームウェアバージョン 57-30以降																									
Socket Interleave	Non-NUMA	HVMファームウェアバージョン 58-60/78-60以前																									
PCI Error Handling Mode	Legacy/Enable	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以降																									
PCI Error Isolation	Disable	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前																									
	Disable/Enable	HVMファームウェアバージョン 58-80/78-80以降																									
上記以外	Default	-																									

No.	画面	操作	チェック
4		<p>・「確認」ボタンをクリックします。</p>	□
5		<p>■HVMの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「HVM設定」タブをクリックします。 ・「HVMモード」を選択します。 ・起動する面番号を選択します。 ・「設定変更」ボタンをクリックします。 	□
6		<p>・「確認」ボタンをクリックします。</p>	□
7	<p>コンソールの切替: リモートコンソール</p>	<p>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。 BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。</p>	□

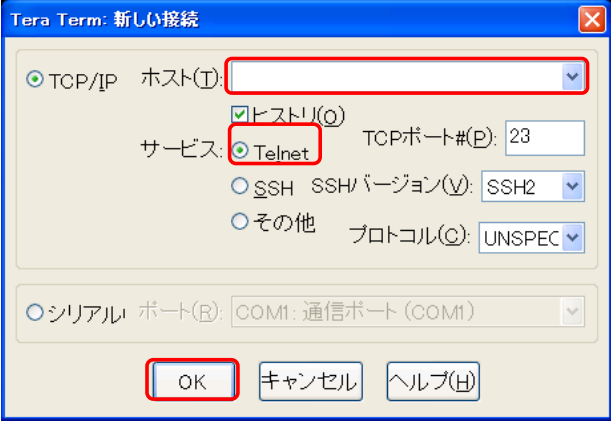
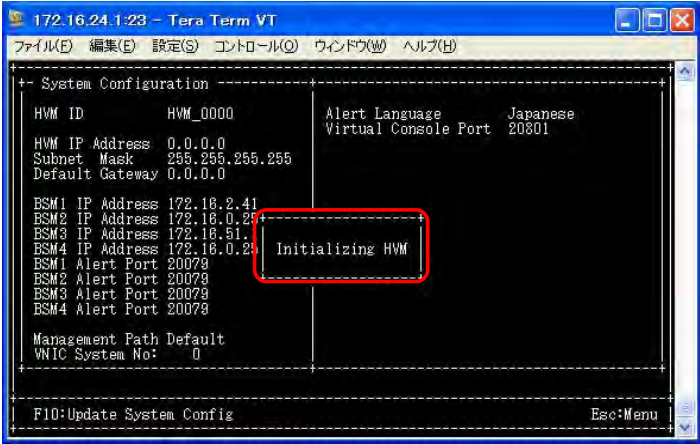
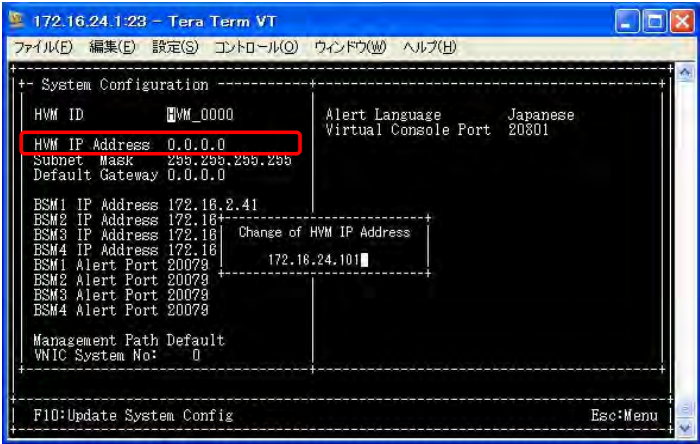
No.	画面	操作	チェック
8		<p>■リモートコンソールに接続</p> <p>・「リモートコンソール起動」ボタンをクリックします。</p>	□
9		<p>・「はい」ボタンをクリックします。</p> <p>※左記画面が出力されない場合があります。この場合は手順10に進んでください。</p>	□
10		<p>・「実行」ボタンをクリックします。</p> <p>※左記画面が出力されない場合があります。この場合は手順11に進んでください。</p>	□
11		<p>・「実行」ボタンをクリックします。</p> <p>※左記画面が出力されない場合があります。この場合は手順12に進んでください。</p>	□

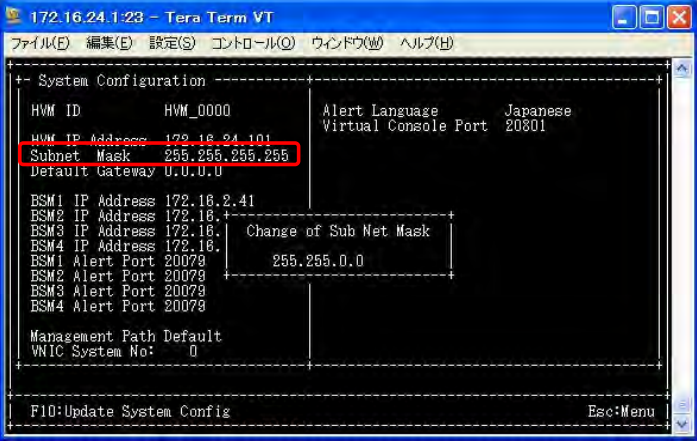
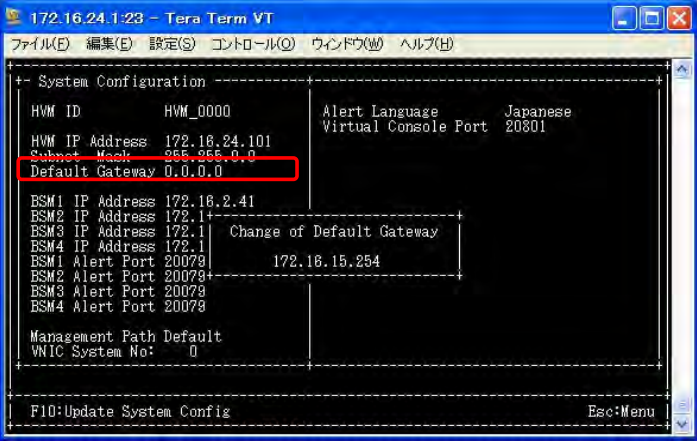
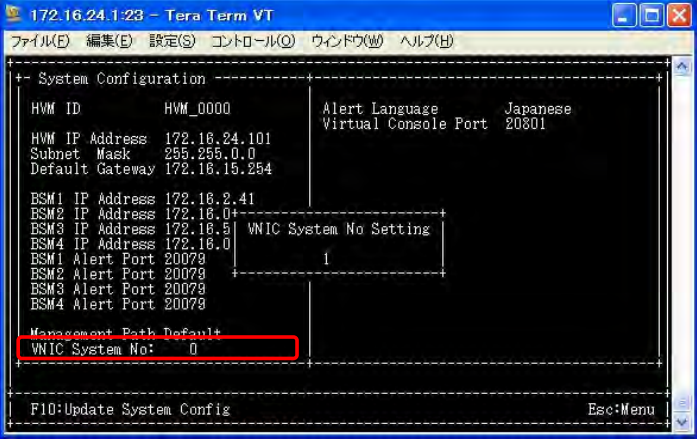
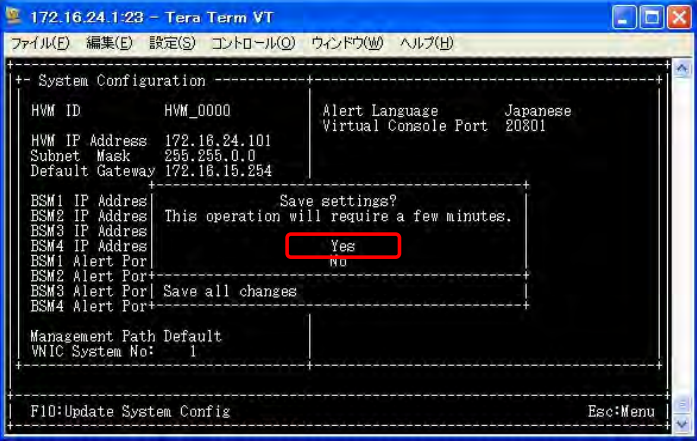
No.	画面	操作	チェック
12		<ul style="list-style-type: none"> ・「ユーザID」、「パスワード」を入力します。 ・「接続」ボタンをクリックします。 	□
13		<p>■電源の投入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバブレード Webコンソールの「電源およびLED」タブをクリックします。 ・「電源ON」ボタンをクリックします。 	□
14		<ul style="list-style-type: none"> ・「確認」ボタンをクリックします。 	□
15		<ul style="list-style-type: none"> ・リモートコンソールで左記画面が出力した時に、「DEL」キーもしくは「F2」キーを押します。 	□

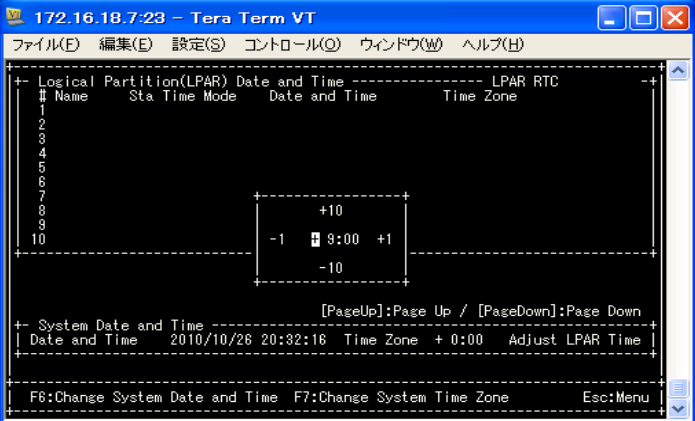
No.	画面	操作	チェック
16		<ul style="list-style-type: none">•[Chipset]タブを選択します。•[North Bridge]-[Tylersburg IOH Configuration]-[Intel® VT for Directed I/O Configuration]-[Intel® VT-d]の設定値[Enabled]を選択します。	<input type="checkbox"/>
17		<ul style="list-style-type: none">•[Save & Exit]タブを選択します。•[Save Changes and Exit]を選択します。•[Yes]を選択します。	<input type="checkbox"/>

1. 3 HVMの設定に進みます。

1.3 HVMの設定

No.	画面	操作	チェック
1	HVMコンソールの接続	※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。 BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。	<input type="checkbox"/>
2		■Tera Termへの接続 ・Tera Termを起動しBMCのIPアドレスを入力します。 ・Telnet接続を選択します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ・ユーザID、パスワードを入力します。	<input type="checkbox"/>
3		■HVMの設定 ・[Alt] + [t]を入力します。 ※Bladeの電源をONにしてから、約7分でSystem Configurationが表示されます。また、「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。	<input type="checkbox"/>
4		・「HVM IP Address」を選択します。 ・「HVM IP Address」を入力します。	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
5		<ul style="list-style-type: none"> 「Subnet Mask」を選択します。 「Subnet Mask」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
6		<ul style="list-style-type: none"> 「Default Gateway」を選択します。 「Default Gateway」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
7		<ul style="list-style-type: none"> 「VNIC System No」を選択します。 「VNIC System No」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ■システム構成情報の更新 ・[F10]キーを押します。 ・[Yes]を選択します。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
9		※「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。	<input type="checkbox"/>
10		※システム構成情報が更新されます。	<input type="checkbox"/>
11		<p>■TimeZoneの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Date and Time」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
12		<ul style="list-style-type: none"> ・[F7](Change System Time Zone) を押します。 ・矢印キー ([↑], [↓], [←], [→]) を押し、システムタイムゾーンを+9:00にします。 	<input type="checkbox"/>

1. 4 LPARの構築に進みます。

JP1/SC/BSMを使用する場合 1. 4. 1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合) に進みます。

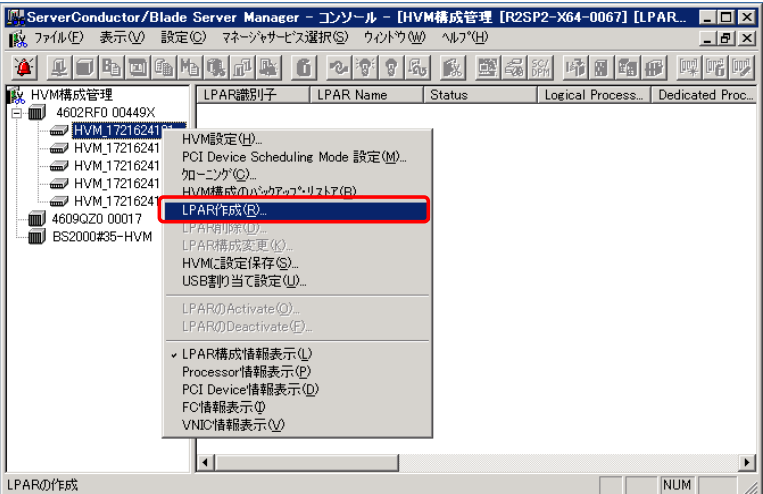
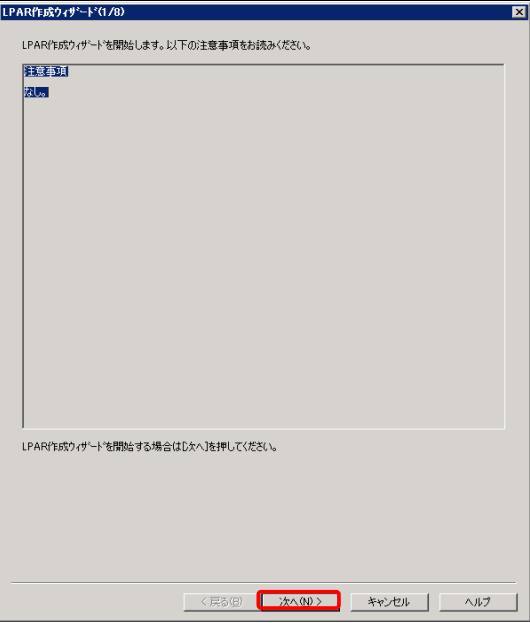
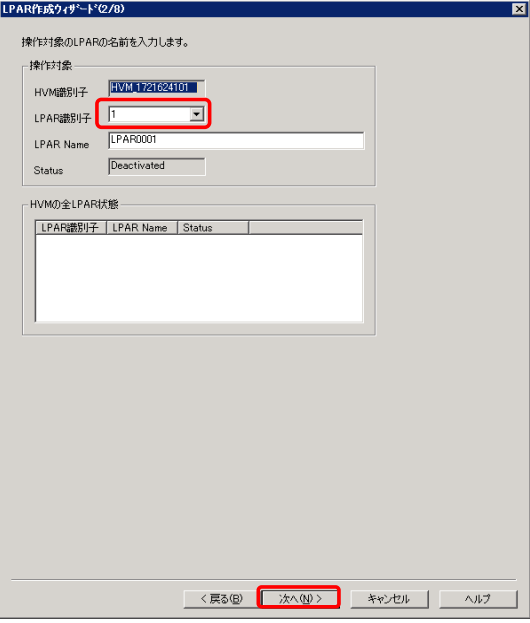
HVM Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合 1. 4. 2 LPARの構築(HVM Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合) に進みます。

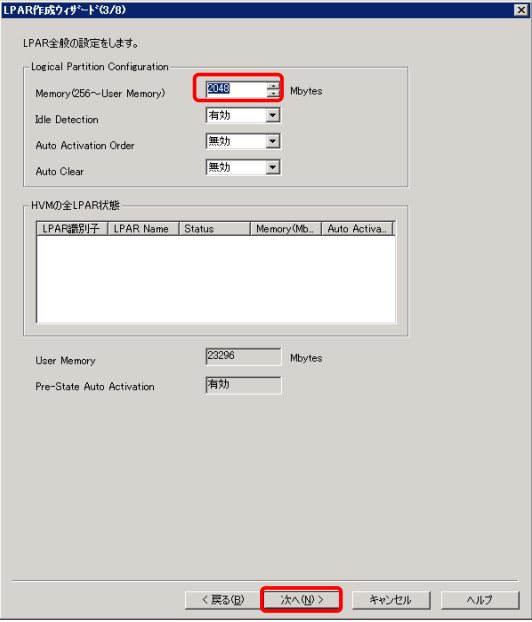
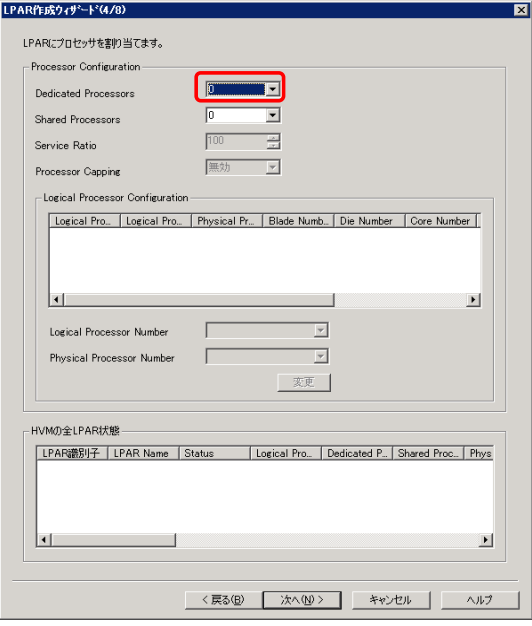
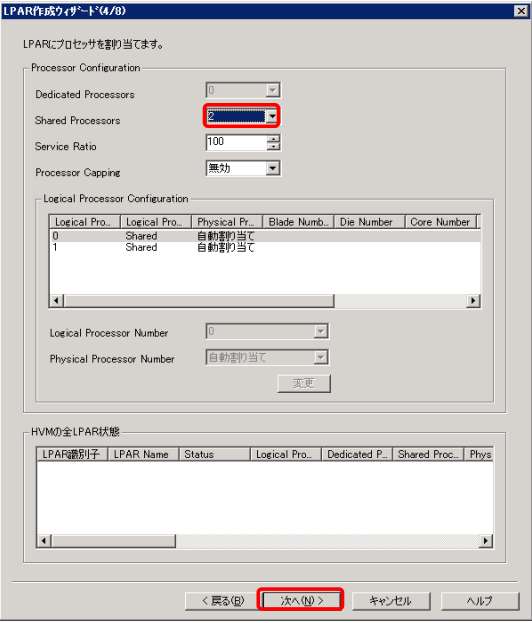
HVM Ver(58-40～58-84)、(78-40～78-84)を使用する場合 1. 4. 3 LPARの構築(HVM Ver(58-40～58-84)、(78-40～78-84)を使用する場合) に進みます。

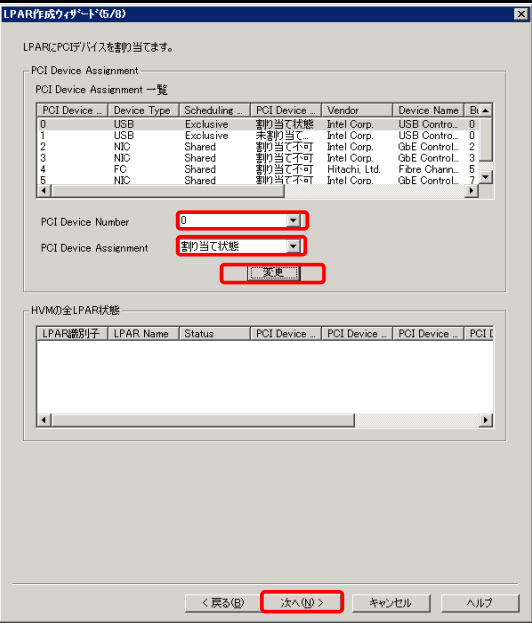
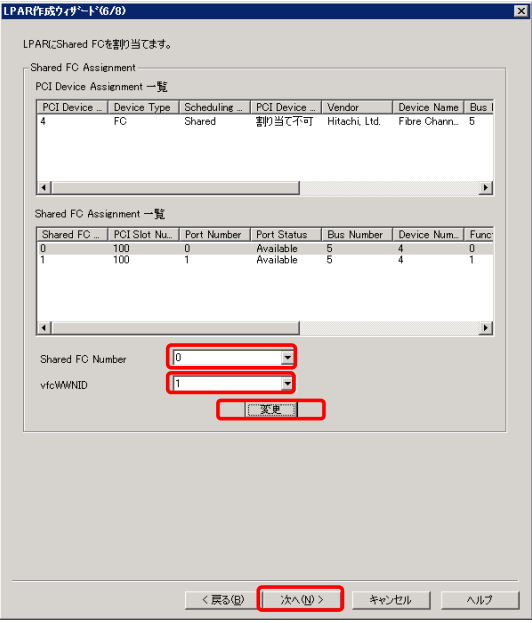
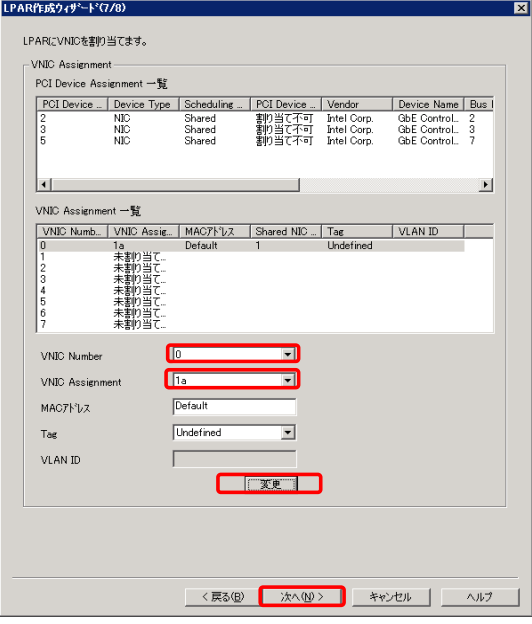
HVM Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合 1. 4. 4 LPARの構築(HVM Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合) に進みます。

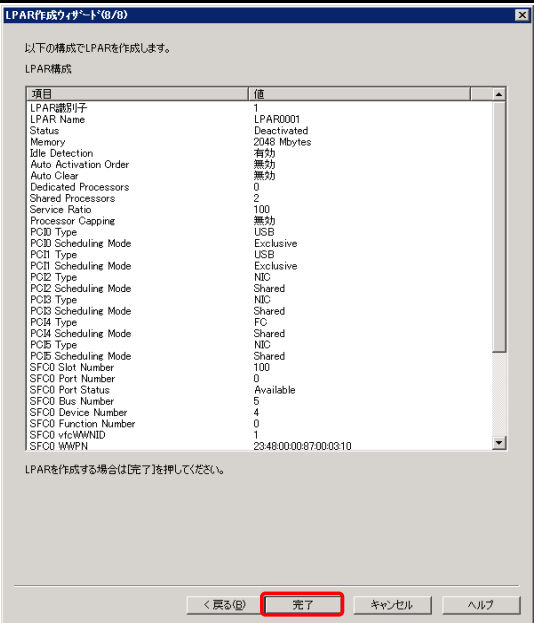

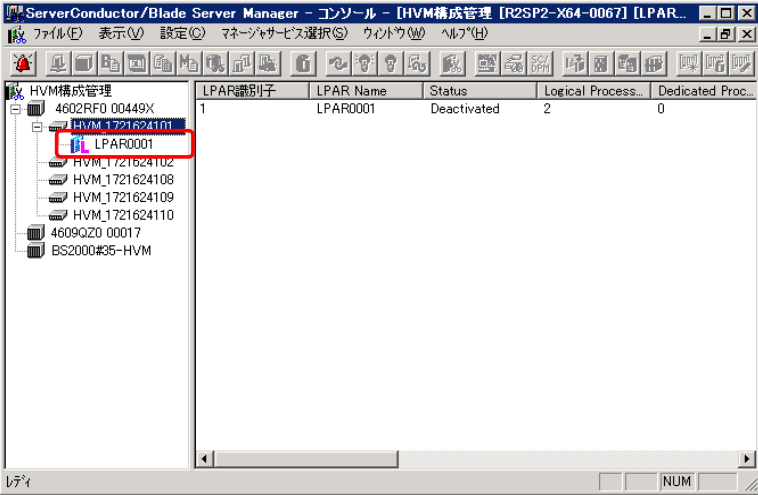
1. 4 LPARの構築

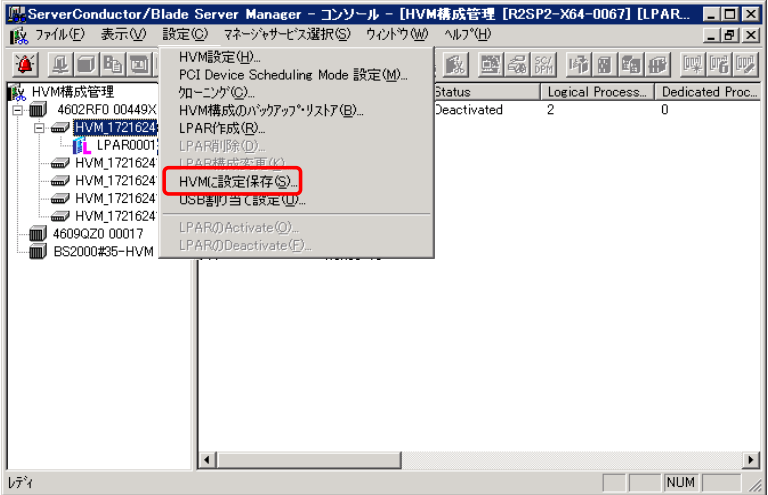
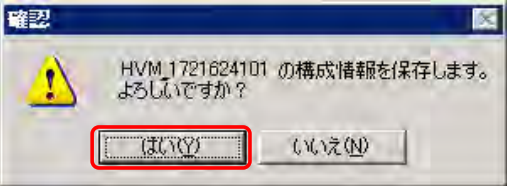
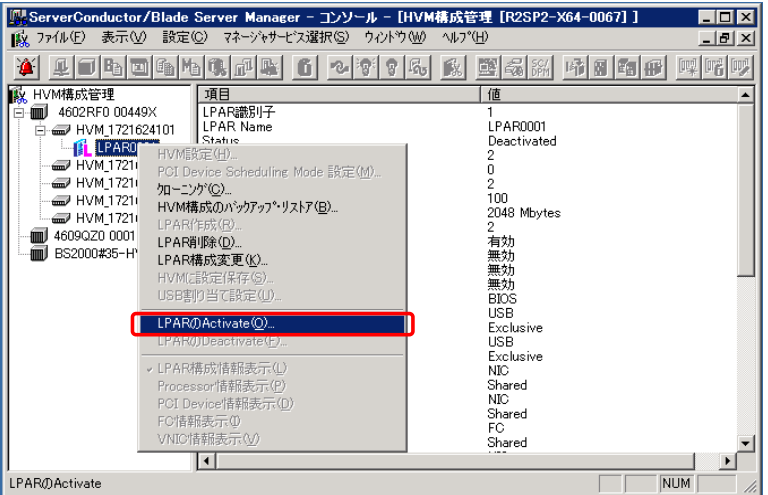
1. 4. 1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HVM構成管理でLPARを作成するHVM IDをクリックします。 ・マウスで右クリックし「LPAR作成(R)」をクリックします。 	□
2		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
3		<ul style="list-style-type: none"> ・LPAR識別子を選択します。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
4		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意のメモリサイズを選択します。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
5		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・占有プロセッサが「0」であることを確認します。 	□
6		<ul style="list-style-type: none"> ・共有プロセッサで、任意のプロセッサ数を選択します。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□

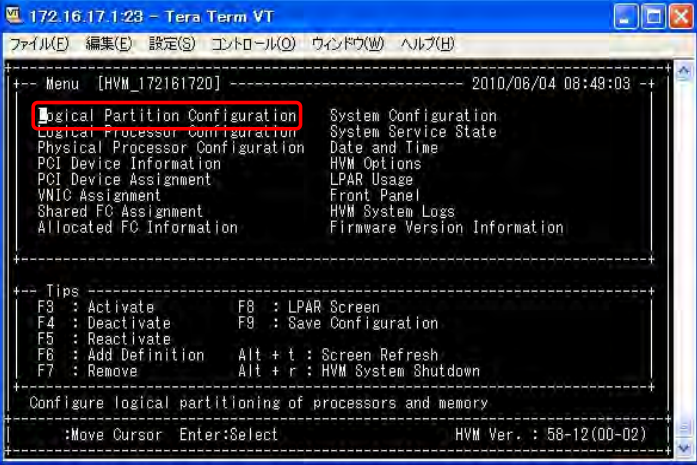
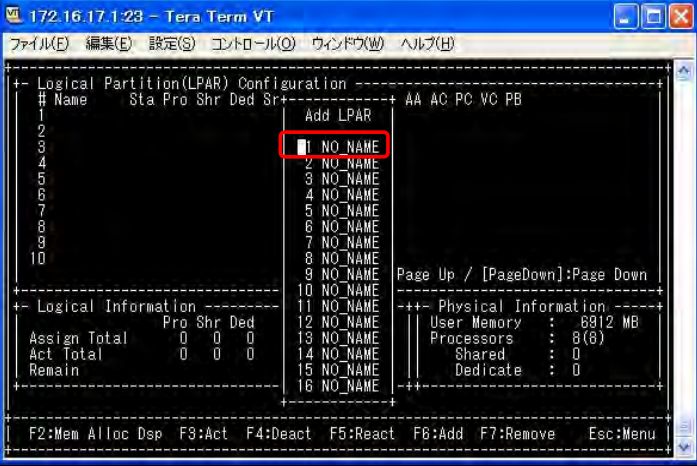
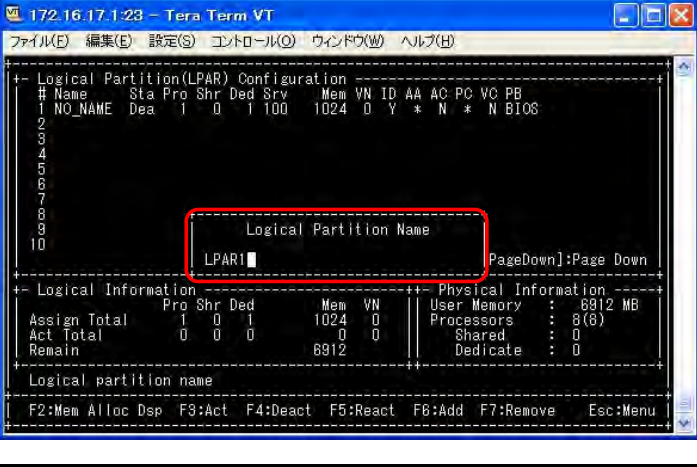
No.	画面	操作	チェック
7		<p>■ PCIデバイスの割り当て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「0」を選択します。 ・「割り当て状態」を選択します。 ・[変更]をクリックします。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
8		<p>■ 共有FCポートの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意のポートを選択します。 ・任意のIDを選択します。 ・[変更]をクリックします。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
9		<p>■ 共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意のVNIC Numberを選択します。 ・任意の割り当て先を選択します。 ・[変更]をクリックします。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
10		・[完了]をクリックします。	<input type="checkbox"/>
11		・[OK]をクリックします。	<input type="checkbox"/>
12		・LPARが作成されます。	<input type="checkbox"/>

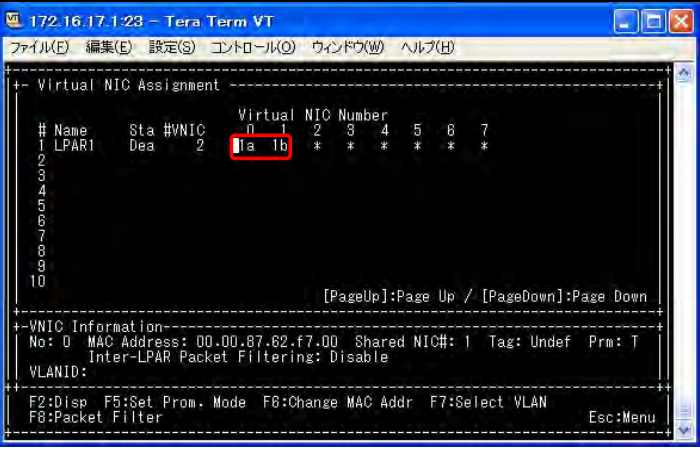
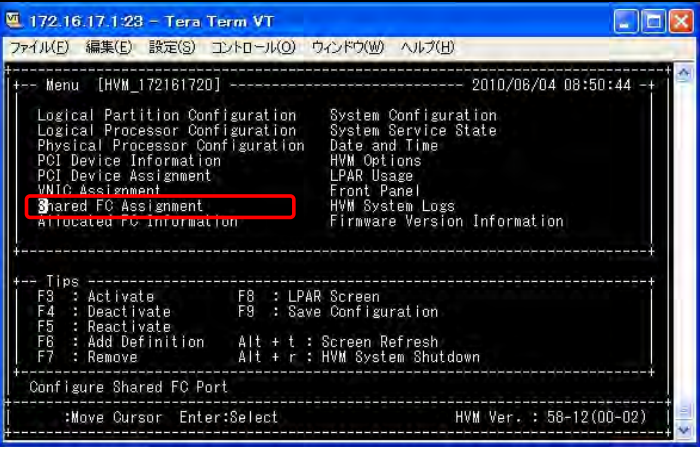
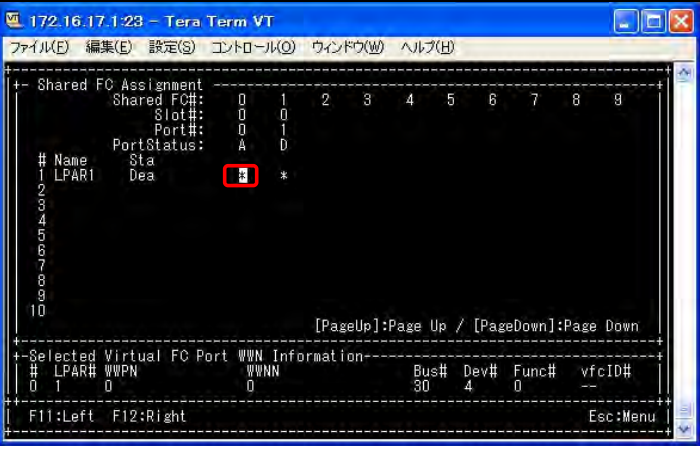
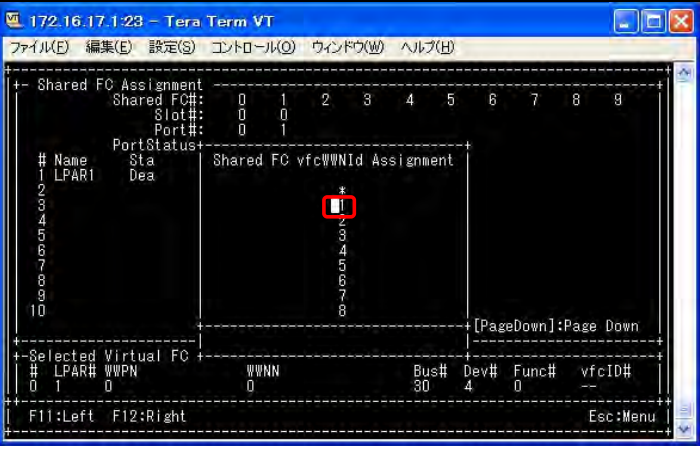
No.	画面	操作	チェック
13		<p>■構成定義の保存</p> <p>・「HVMに設定保存(S)」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
14		<p>・「はい(Y)」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
15		<p>■LPARの起動</p> <p>・「LPARのActivate(O)」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>

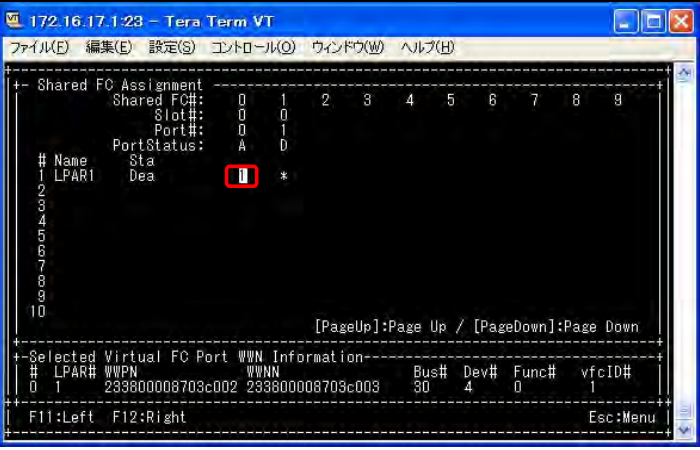
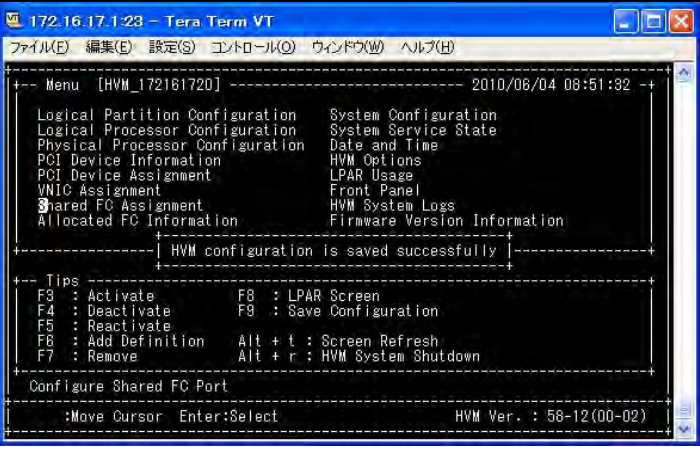
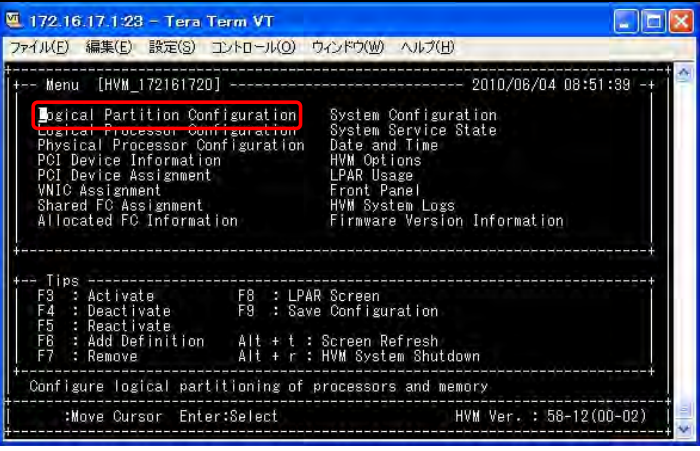
No.	画面	操作	チェック
16		・[はい(Y)]をクリックします。	□
1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストールに進みます。			

1. 4. 2 LPARの構築(HVM_Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
2		<ul style="list-style-type: none"> ・「F6」キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択します。 	<input type="checkbox"/>
3		<p>■LPAR名称の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Name」列を選択します。 ・「LPAR名称」を入力します。 <p>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。</p>	<input type="checkbox"/>
4		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Shr」列を選択します。 ・任意のプロセッサ数を入力します。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
5		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mem」列を選択します。 ・任意のメモリサイズを選択します。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>■共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「VNIC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
7		<ul style="list-style-type: none"> ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ・任意の割り当て先を選択します。 	<input type="checkbox"/>

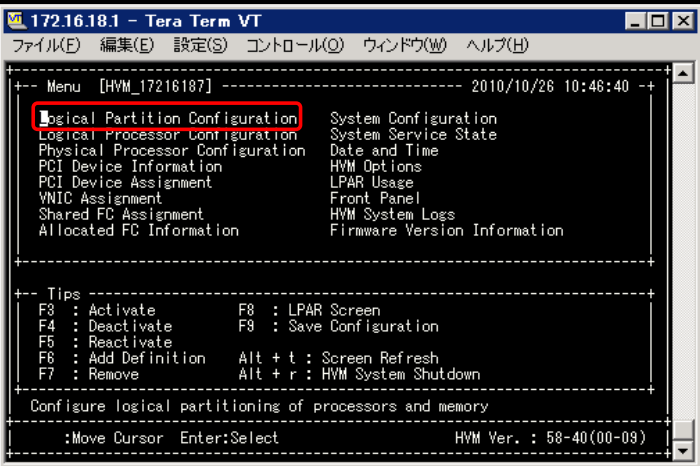
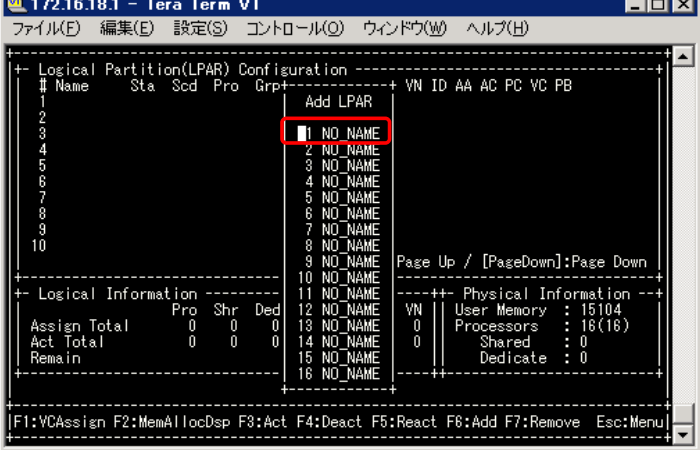
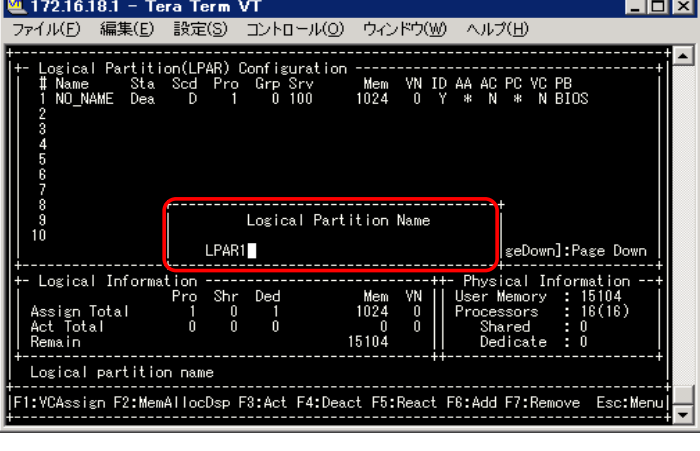
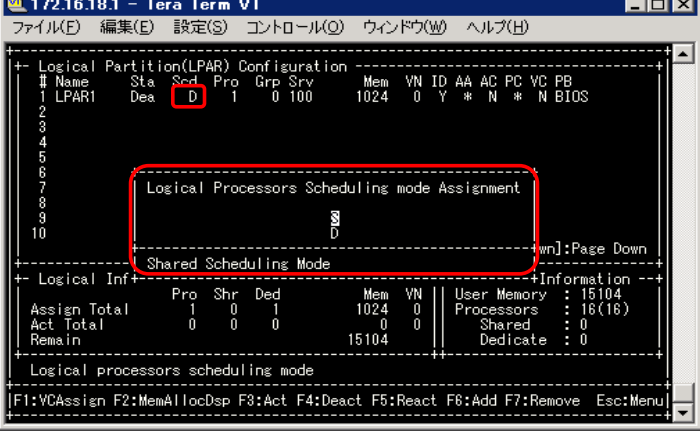
No.	画面	操作	チェック
9		※共有NICが設定されます。	<input type="checkbox"/>
10		■ 共有FCポートの設定 ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Shared FC Assignment」を選択します。	<input type="checkbox"/>
11		・「Shared FC」の「*」を選択します。	<input type="checkbox"/>
12		・任意の割り当て先を選択します。	<input type="checkbox"/>

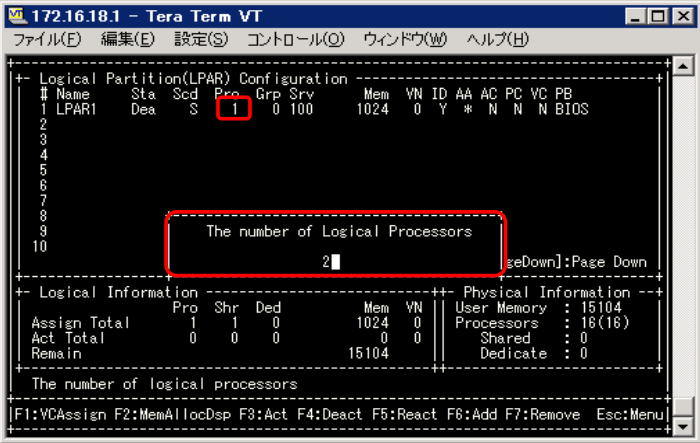
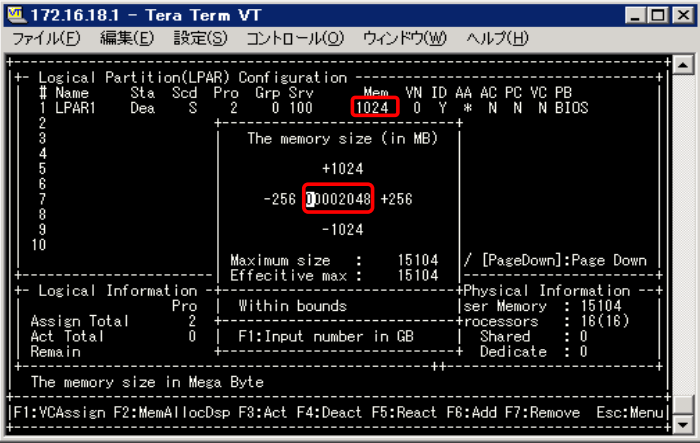
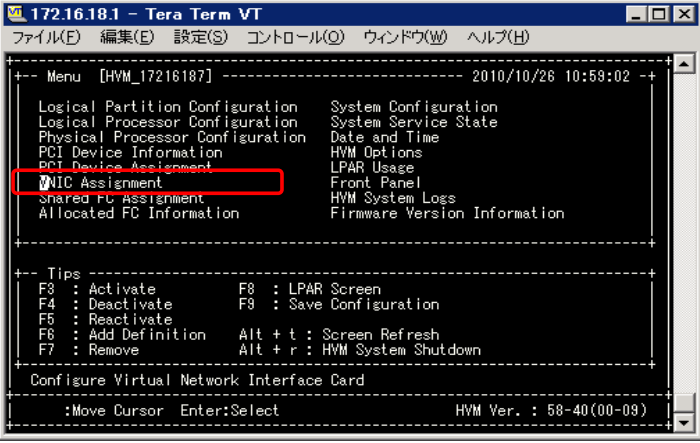
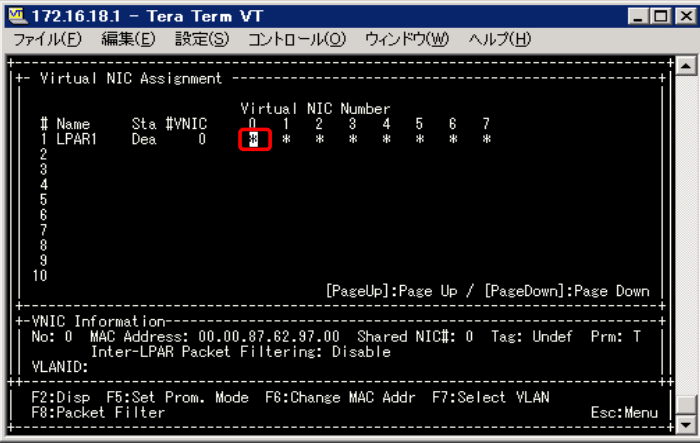
No.	画面	操作	チェック
13		※共有FCポートが設定されます。	<input type="checkbox"/>
14		<p>■HVM構成情報の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。 <p>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。</p>	<input type="checkbox"/>
15		※HVM構成情報が保存されます。	<input type="checkbox"/>
16		<ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

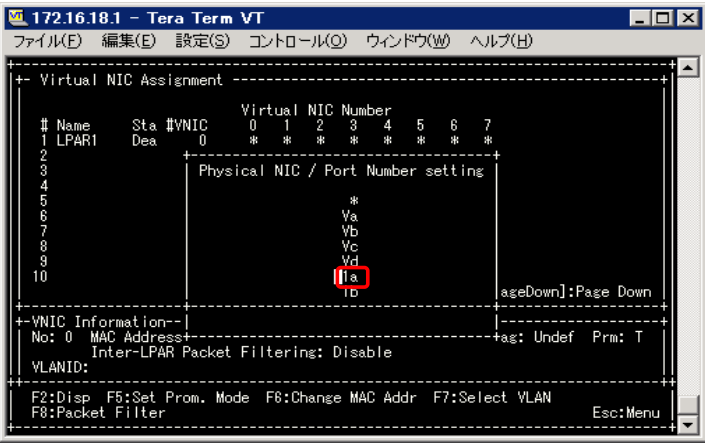
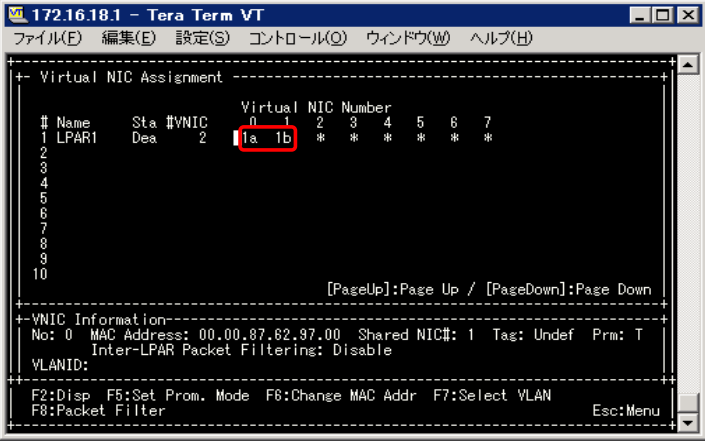
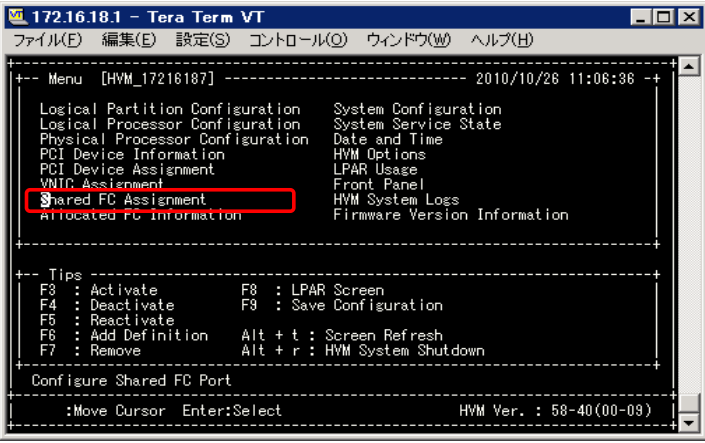
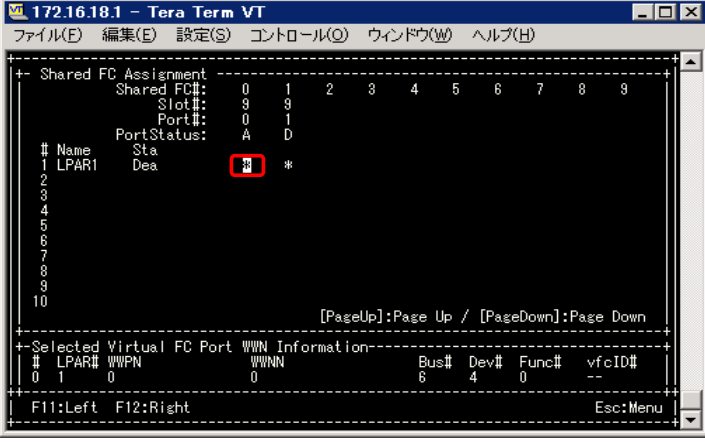
No.	画面	操作	チェック
17		<p>■ LPARの起動</p> <p>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。</p>	<input type="checkbox"/>
18		<p>・「Continue」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>

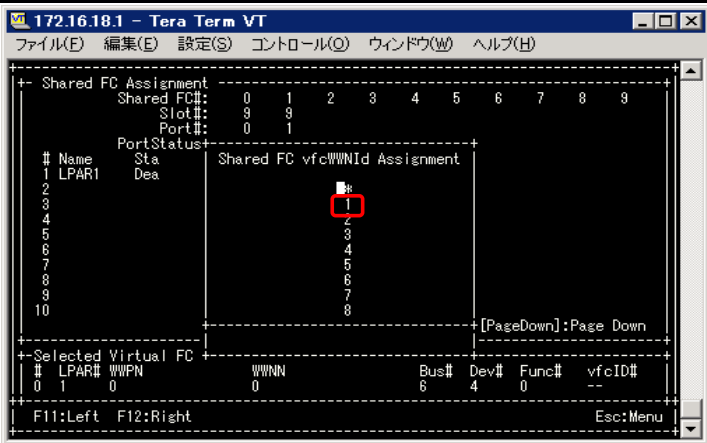
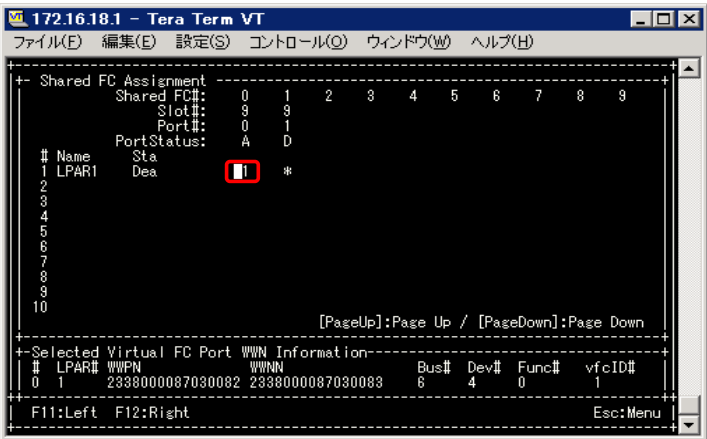
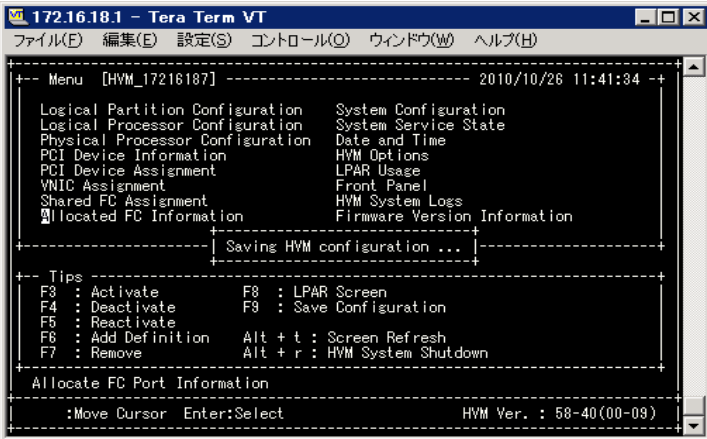
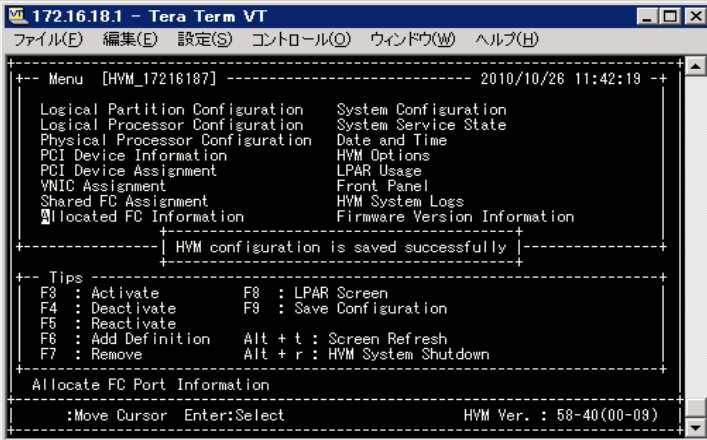
1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストールに進みます。

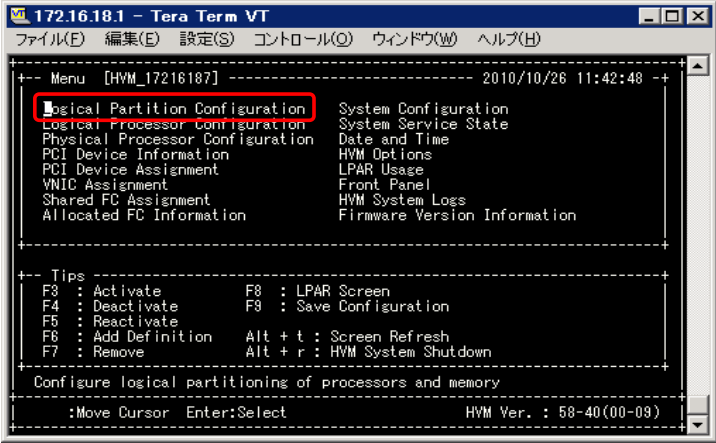
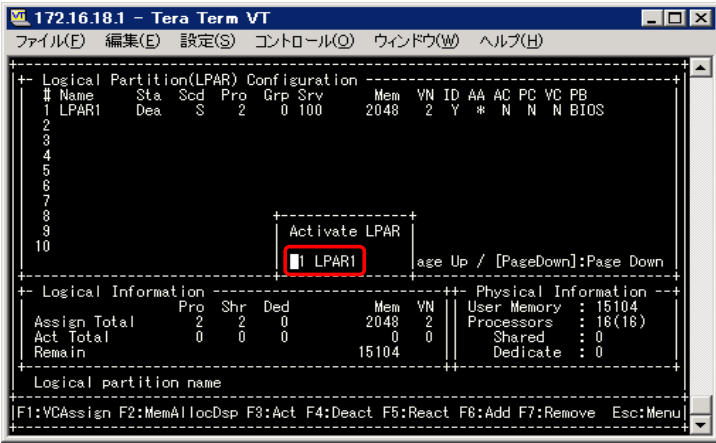
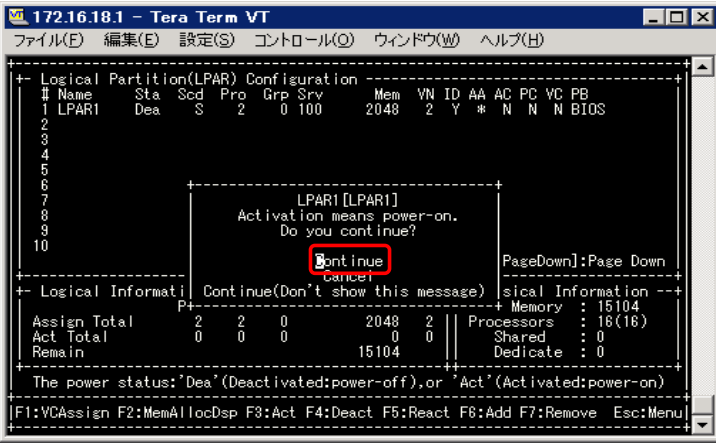
1. 4. 3 LPARの構築(HVM_Ver(58-40-58-84)、(78-40-78-84)を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
2		<ul style="list-style-type: none"> ・「F6」キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択します。 	<input type="checkbox"/>
3		<p>■LPAR名称の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Name」列を選択します。 ・「LPAR名称」を入力します。 <p>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。</p>	<input type="checkbox"/>
4		<p>■スケジューリングモードの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Scd」列を選択します。 ・任意のスケジューリングモードを選択します。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
5		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Pro」列を選択します。 ・任意のプロセッサ数を選択します。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mem」列を選択します。 ・任意のメモリサイズを選択します。 	<input type="checkbox"/>
7		<p>■共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「VNIC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

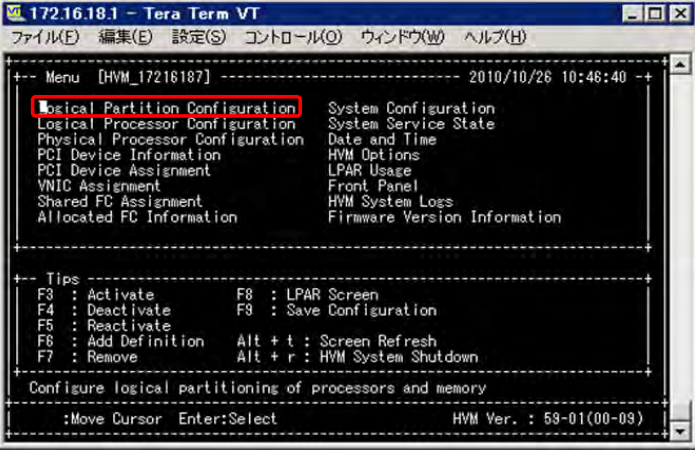
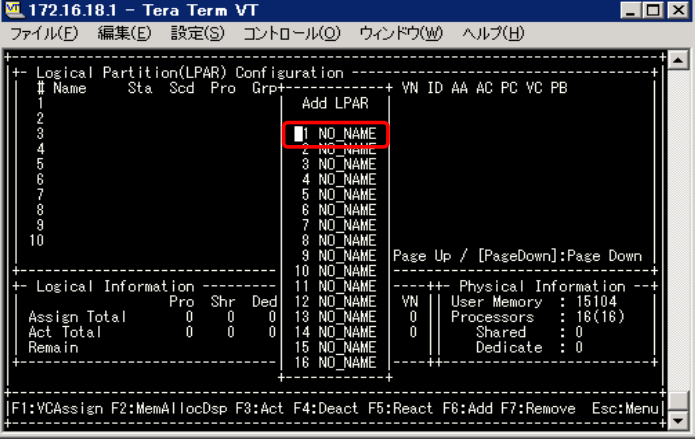
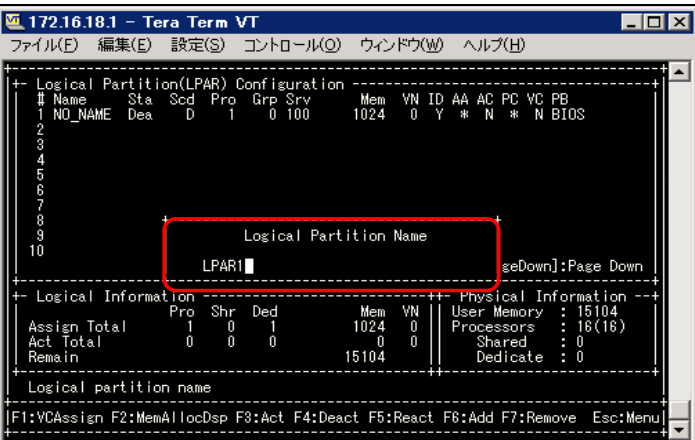
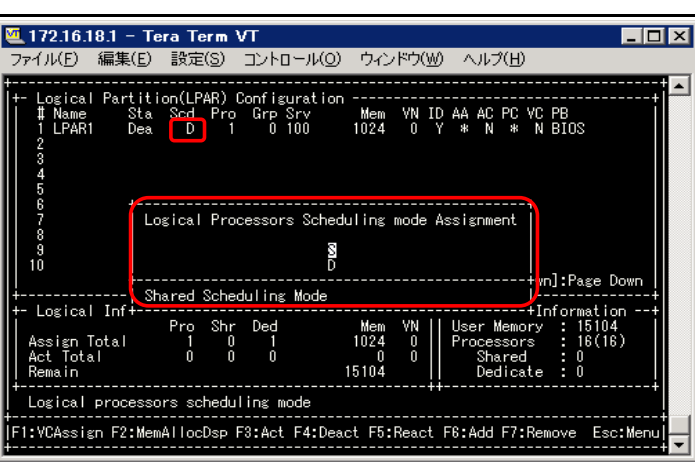
No.	画面	操作	チェック
9		・任意の割り当て先を選択します。	<input type="checkbox"/>
10		※共有NICが設定されます。	<input type="checkbox"/>
11		■共有FCポートの設定 ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Shared FC Assignment」を選択します。	<input type="checkbox"/>
12		・「Shared FC」の「*」を選択します。	<input type="checkbox"/>

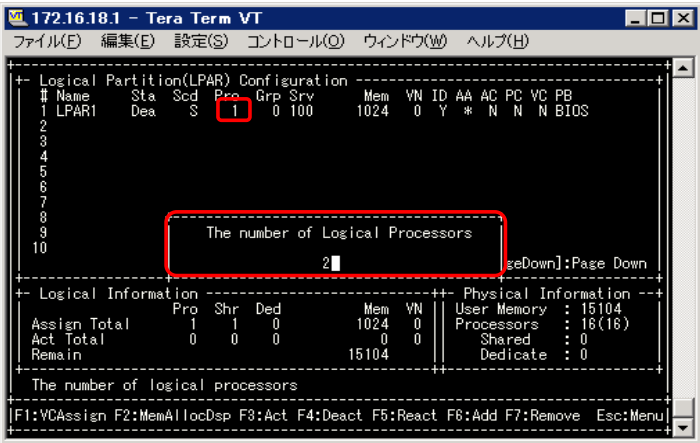
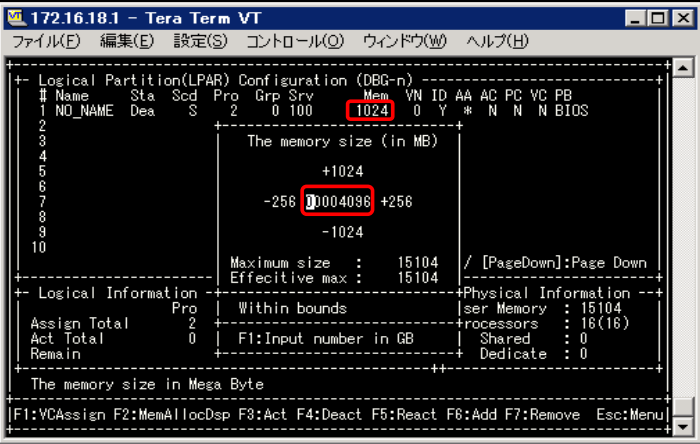
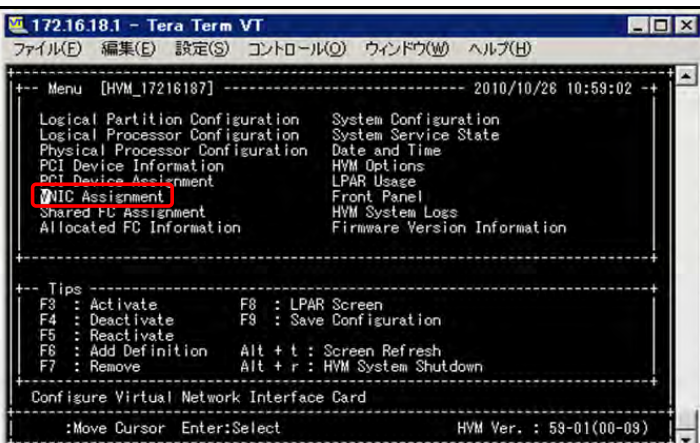
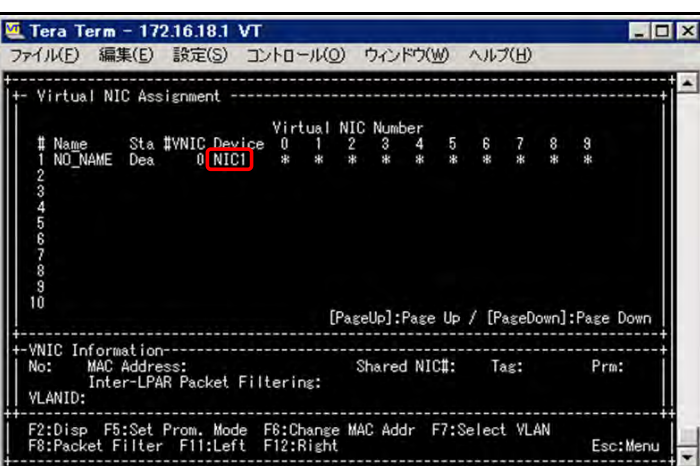
No.	画面	操作	チェック
13		<p>・任意の割り当て先を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
14		<p>※共有FCポートが設定されます。</p>	<input type="checkbox"/>
15		<p>■HVM構成情報の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。 <p>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。</p>	<input type="checkbox"/>
16		<p>※HVM構成情報が保存されます。</p>	<input type="checkbox"/>

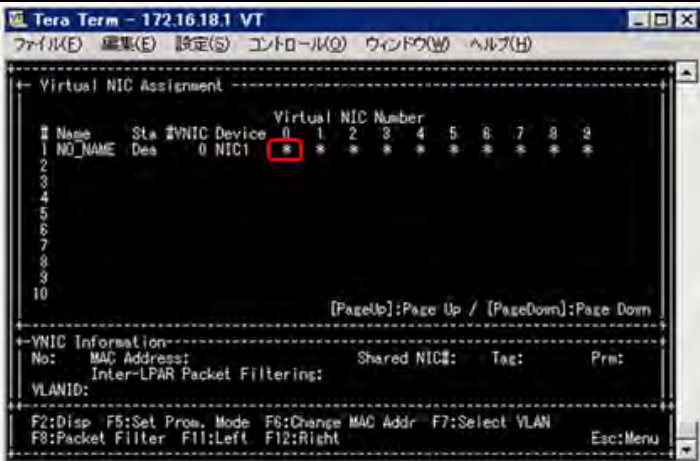
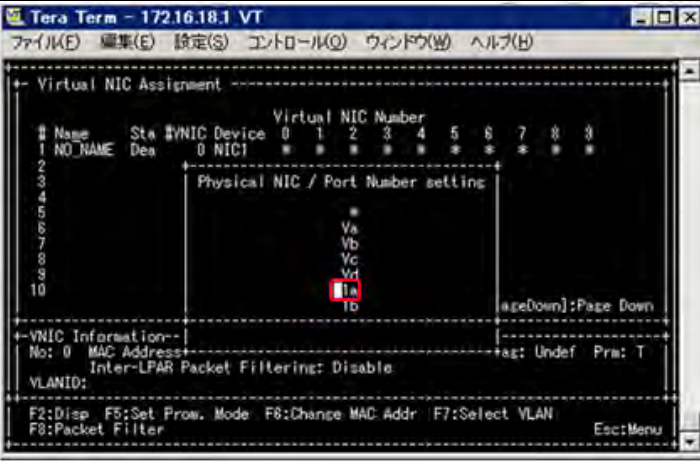
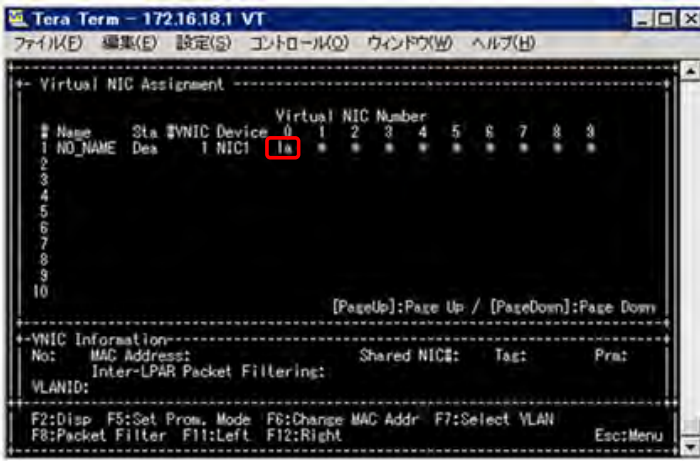
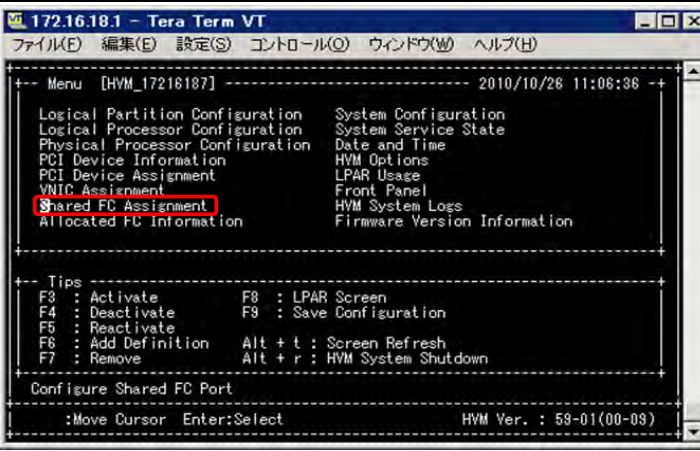
No.	画面	操作	チェック
17		<ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
18		<ul style="list-style-type: none"> ■ LPARの起動 ・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 	<input type="checkbox"/>
19		<ul style="list-style-type: none"> ・「Continue」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

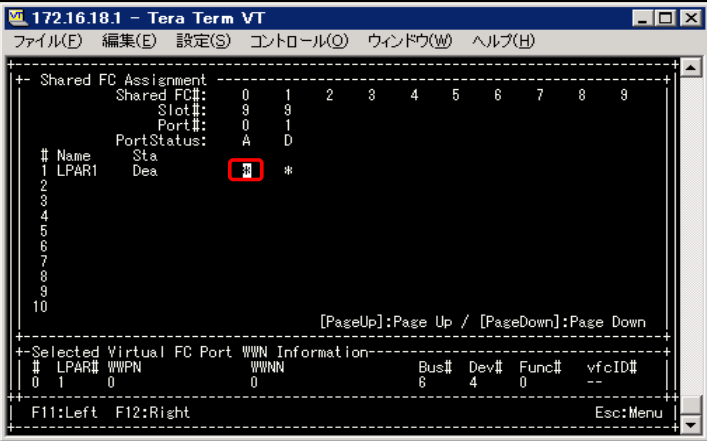
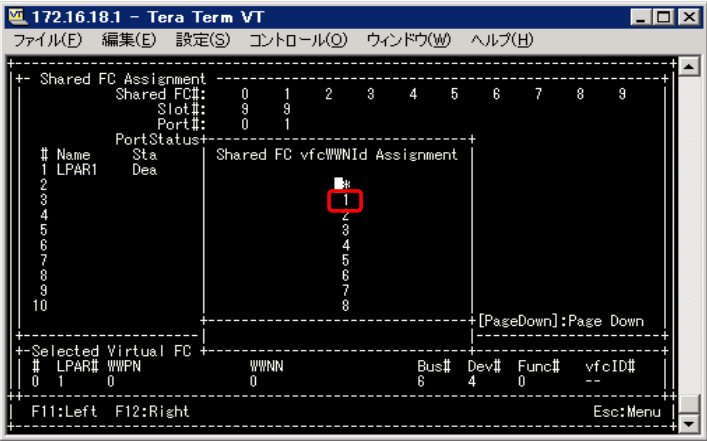
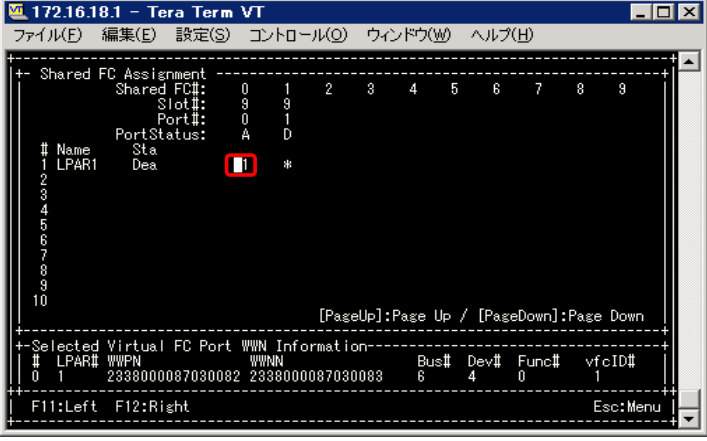
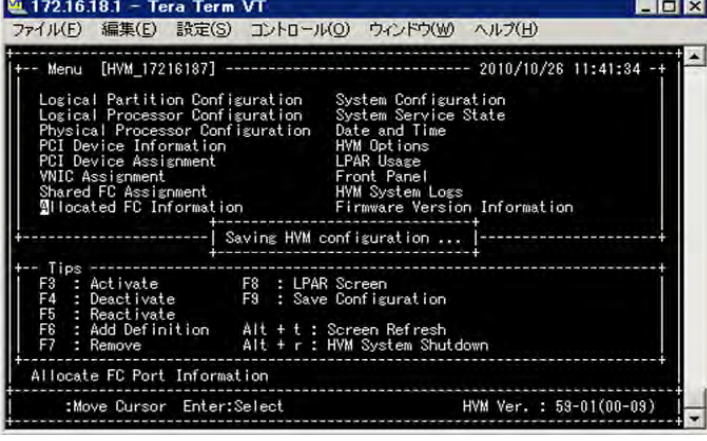
1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストールに進みます。

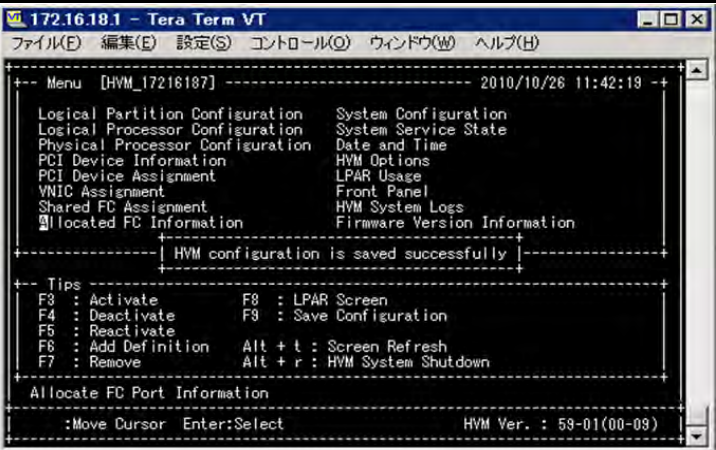
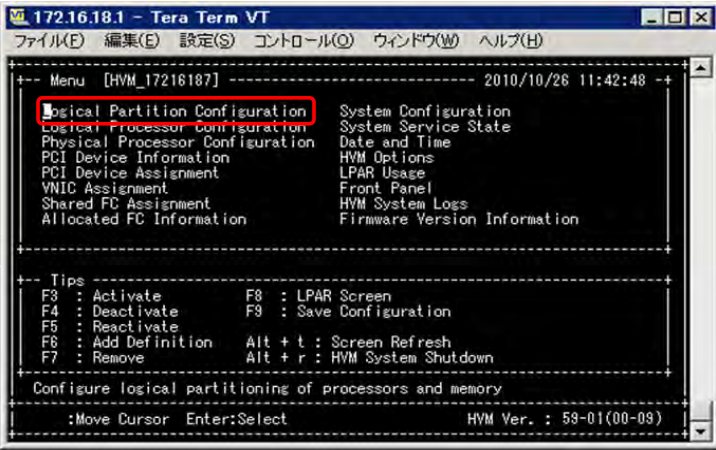
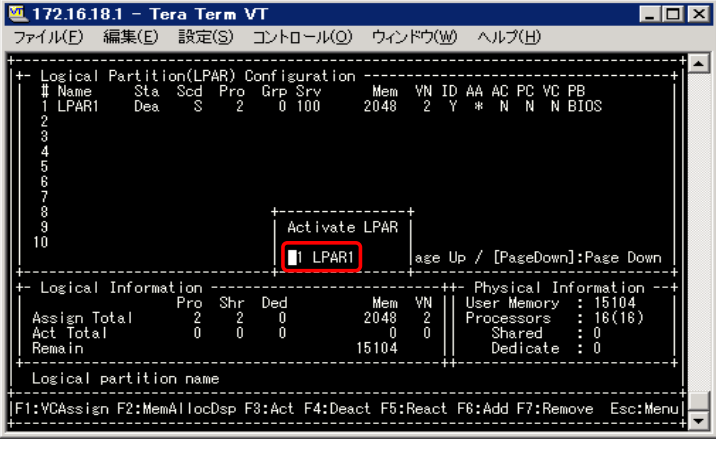
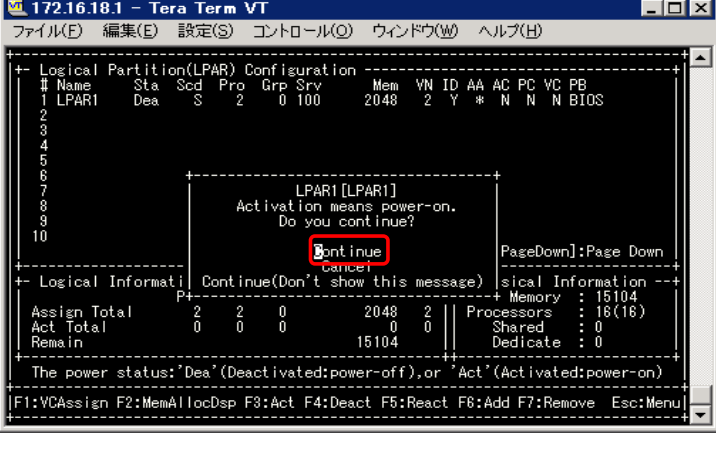
1. 4. 4 LPARの構築(HVM_Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	□
2		<ul style="list-style-type: none"> ・「F6」キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択します。 	□
3		<p>■LPAR名称の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Name」列を選択します。 ・「LPAR名称」を入力します。 <p>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。</p>	□
4		<p>■スケジューリングモードの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Scd」列を選択します。 ・任意のスケジューリングモードを選択します。 	□

No.	画面	操作	チェック
5		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Pro」列を選択します。 ・任意のプロセッサ数を選択します。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mem」列を選択します。 ・任意のメモリサイズを選択します。 	<input type="checkbox"/>
7		<p>■共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「VNIC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
8		<p>・作成したLPARが「NIC1」になっていることを確認します。</p> <p>※Windows Server 2003 R2 SP2ではNIC2はサポートされませんので、NIC1を設定してください。</p>	<input type="checkbox"/>

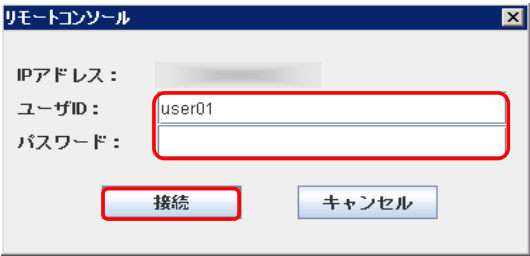
No.	画面	操作	チェック
9		<p>・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
10		<p>・任意の割り当て先を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
11		<p>※共有NICが設定されます。</p>	<input type="checkbox"/>
12		<p>■ 共有FCポートの設定</p> <p>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。</p> <p>・「Shared FC Assignment」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>

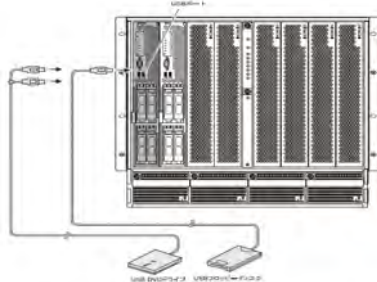
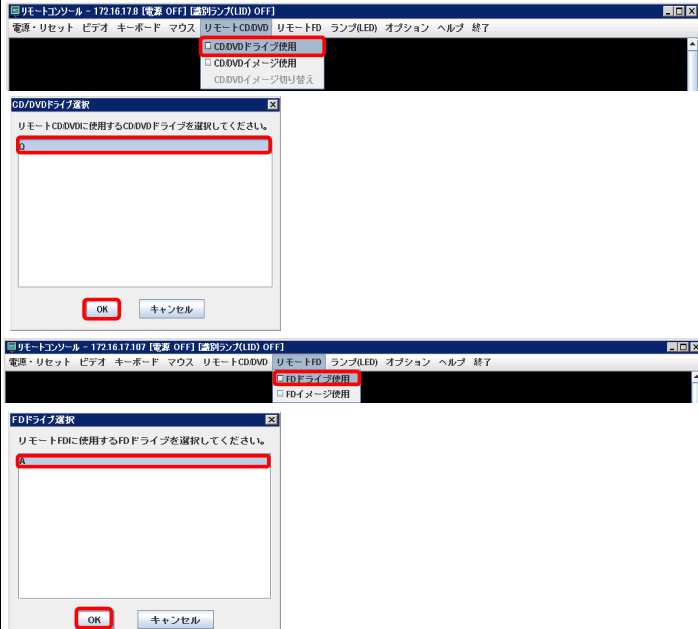
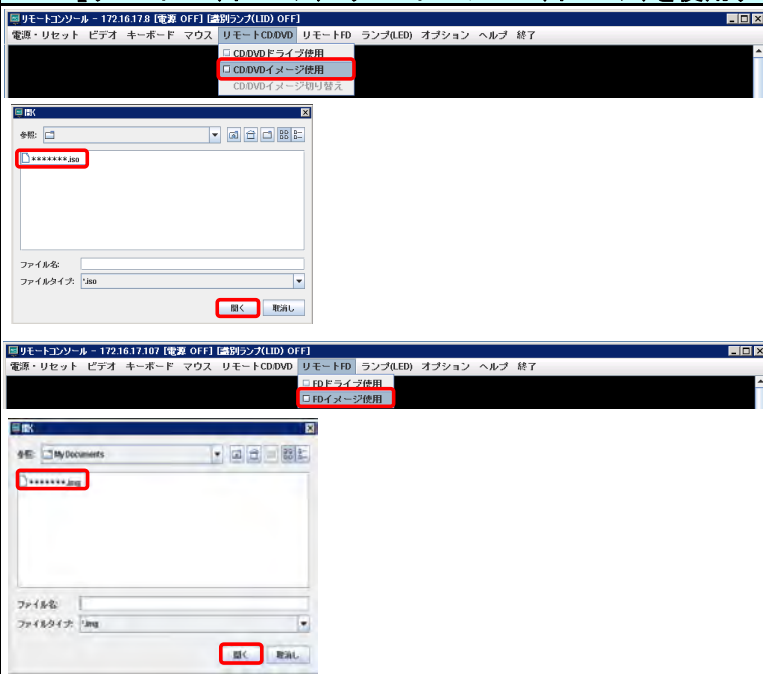
No.	画面	操作	チェック
13		<p>・「Shared FC」の「*」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
14		<p>・任意の割り当て先を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
15		<p>※共有FCポートが設定されます。</p>	<input type="checkbox"/>
16		<p>■HVM構成情報の保存</p> <p>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。</p> <p>・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。</p> <p>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。</p>	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
17		※HVM構成情報が保存されます。	<input type="checkbox"/>
18		・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。	<input type="checkbox"/>
19		■LPARの起動 ・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。	<input type="checkbox"/>
20		・「Continue」を選択します。	<input type="checkbox"/>

1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストールに進みます。

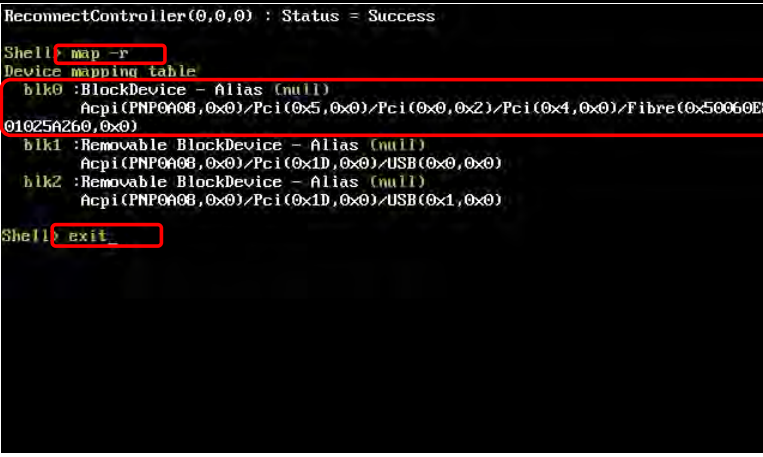
1. 5 Windows Server 2003 R2 SP2のインストール

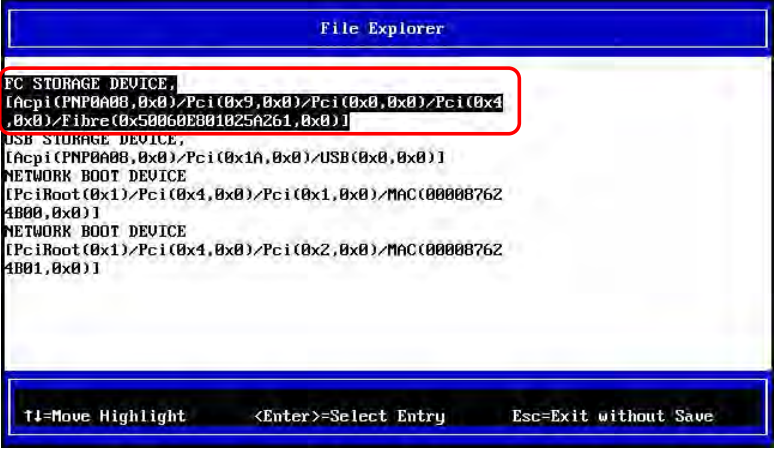
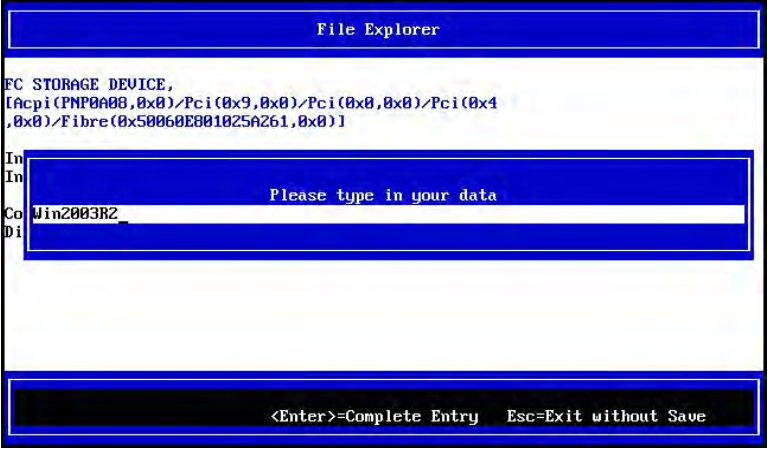
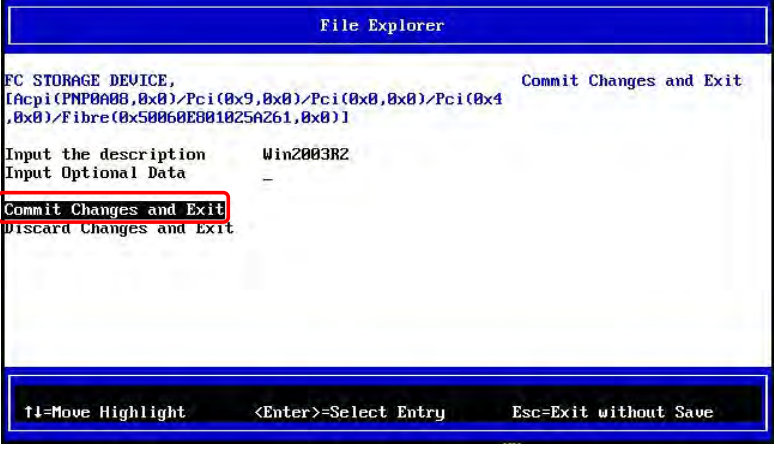

No.	画面	操作	チェック
1	コンソールの切替:リモートコンソール	<p>■リモートコンソールに接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートコンソールを起動します。 <p><u>※リモートコンソールが既に起動している場合は、手順3に進んでください。</u></p> <p>※Windows Server 2003 R2については、32bit版/64bit版双方のインストールに対応しています。</p> <p>※リモートコンソール起動後、InternetExplorerの設定によっていくつかの警告が出力する場合があります。その場合は、すべて[はい]もしくは[実行]を押してください。</p> <p>※インストール対象となるディスクアレイ装置のLUは、ストレージ側であらかじめフォーマットしておいてください。</p> <p>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。</p>	□
2		<ul style="list-style-type: none"> ・「ユーザID」、「パスワード」を入力します。 ・「接続」ボタンをクリックします。 <p><u>※リモートコンソールが既に起動している場合は、手順3に進んでください。</u></p>	□

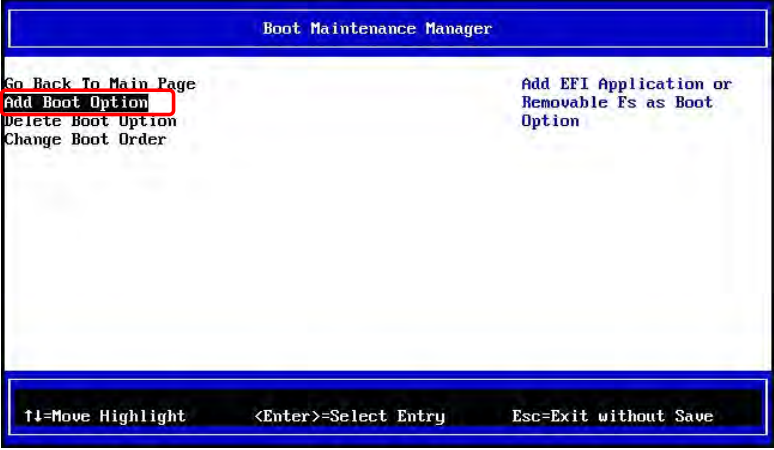
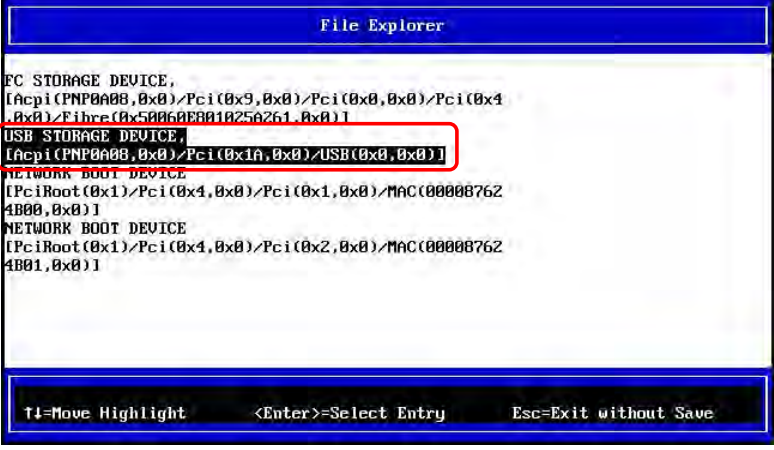
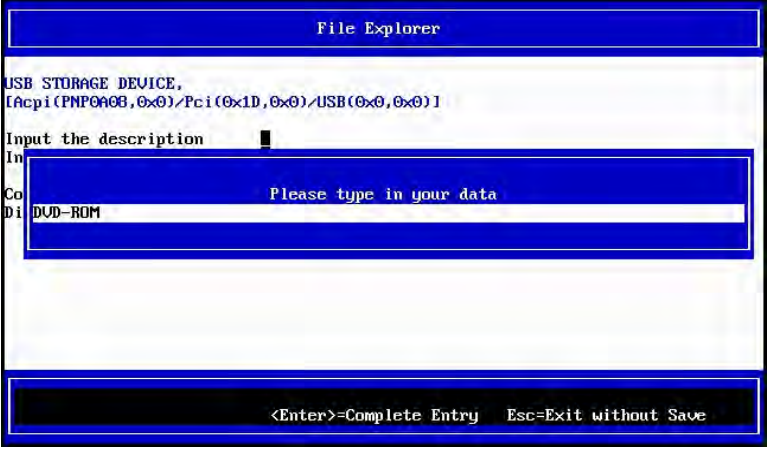
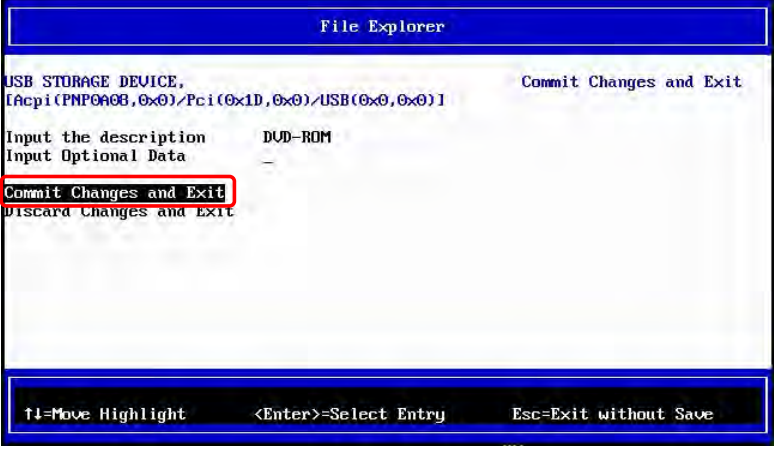
No.	画面	操作	チェック	
項目3はCase1～3のいずれか1つを実施してください。				
3	3-1	Case1【フロント USBを使用する場合】 	<ul style="list-style-type: none">・フロント USBにDVDドライブを挿し、Windows Server 2003 R2メディア(1/2)を入れます。・フロント USBにFDドライブを挿し、ドライバFDを入れます。 <p>※DVDドライブの灰色のプラグをサーバブレードに挿してください。</p>	□
	3-2	Case2【リモートFD(ドライブ)&リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 	<ul style="list-style-type: none">・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。・「CD/DVDドライブ使用」をクリックします。・コンソール端末のCD/DVDドライブに「Windows Server 2003 R2メディア(1/2)」を入れます。・[Q]をクリックします。・[OK]ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none">・[リモートFD]タブをクリックします。・「FDドライブ使用」をクリックします。・コンソール端末のFDドライブに「ドライバFD」を入れます。・[A]をクリックします。・[OK]ボタンをクリックします。 <p>※バージョンによってリモートコンソールの表示が異なる場合があります。</p>	□
	3-3	Case3【リモートFD(イメージ)&リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 	<ul style="list-style-type: none">・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。・「CD/DVDイメージ使用」をクリックします。・「Windows Server 2003 R2メディア(1/2)(ISOイメージ)」をクリックします。・[開く]ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none">・「リモートFD」タブをクリックします。・「FDイメージ使用」をクリックします。・「ドライバFD(imgイメージ)」をクリックします。・[開く]ボタンをクリックします。 <p>※バージョンによってリモートコンソールの表示が異なる場合があります。</p> <p>※イメージファイルの作成方法は、「BS2000 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。</p>	□

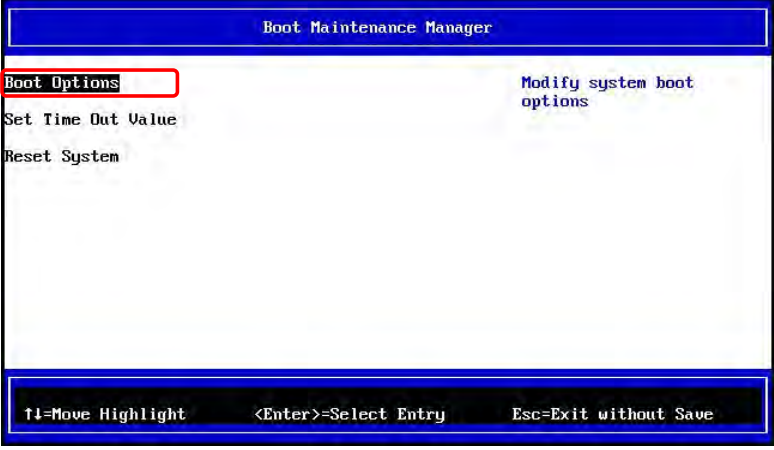
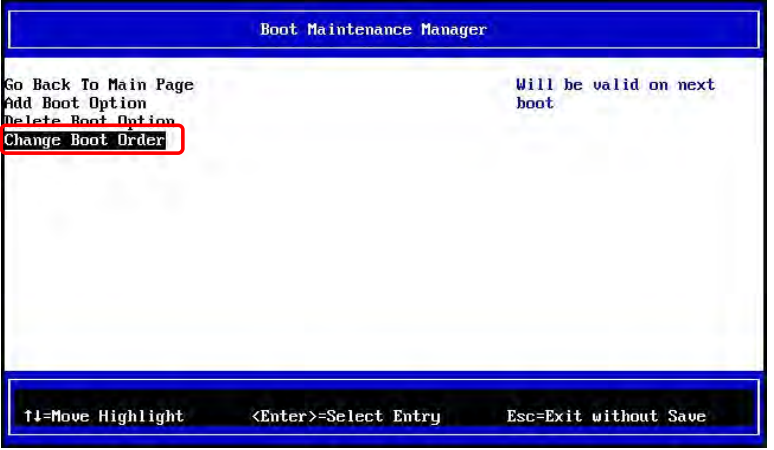
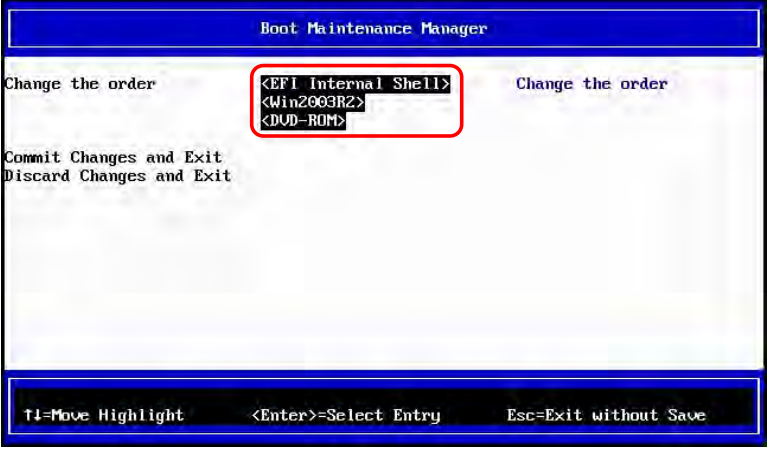
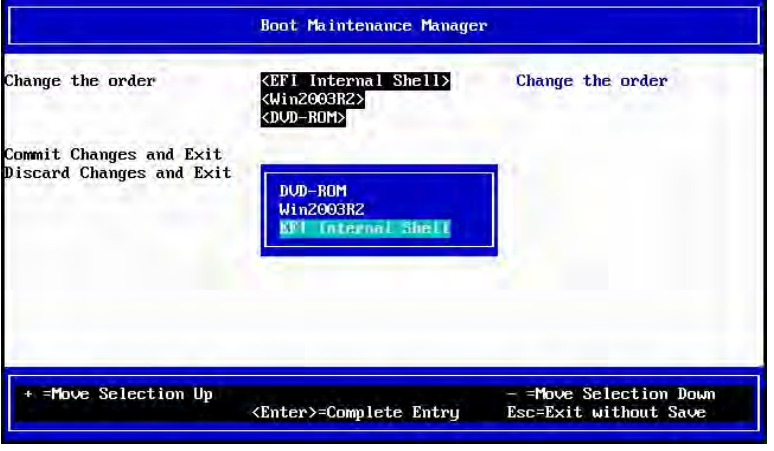
No.	画面	操作	チェック
4		<p>■共有FCの設定 ・「Continue」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
5		・「drivers」を入力します。	<input type="checkbox"/>
6		・「drvcfg [ドライバハンドル]」を入力します。	<input type="checkbox"/>
7		・「drvcfg -s [ドライバハンドル] [コントローラハンドル]」を入力します。	<input type="checkbox"/>

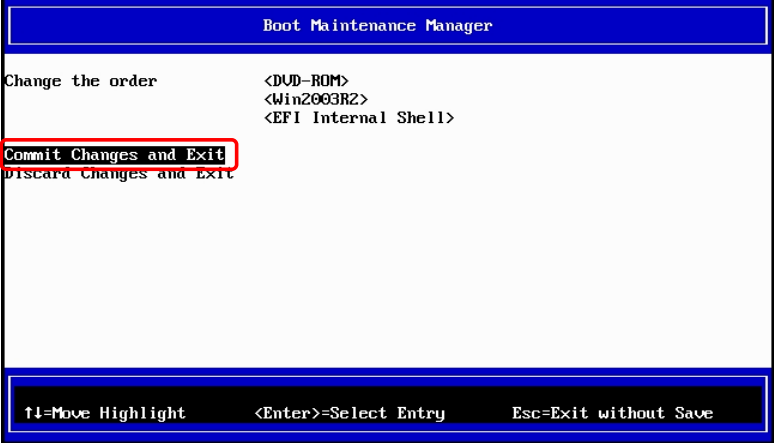
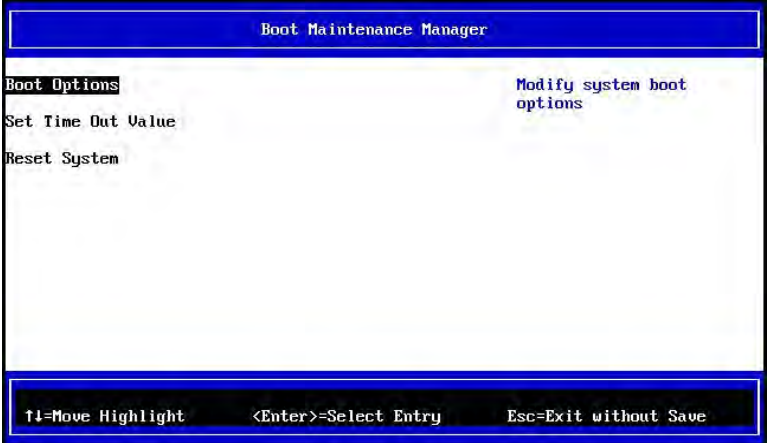
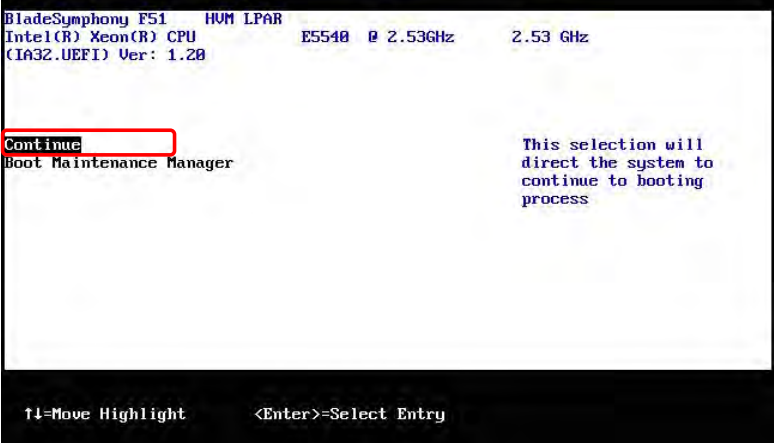

No.	画面	操作	チェック
8		<p>・「select」を入力します。</p> <p>・左記のように入力します。</p> <p>・「exit」を入力します。</p> <p>※設定を行っても[Boot Device List]項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。</p>	<input type="checkbox"/>
9		<p>・「reconnect -r」を入力します。</p>	<input type="checkbox"/>



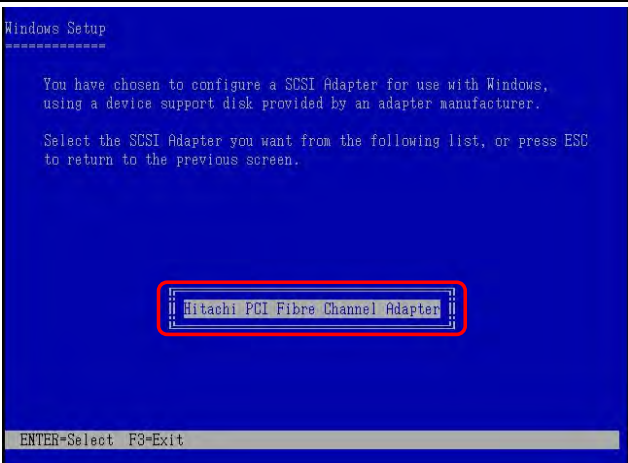

No.	画面	操作	チェック
10	 <pre> ReconnectController(0,0,0) : Status = Success Shell> map -r Device mapping table: blk0 :BlockDevice - Alias (null) Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x5,0x0)/Pci(0x0,0x2)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E8 01025A260,0x0) blk1 :Removable BlockDevice - Alias (null) Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x1D,0x0)/USB(0x0,0x0) blk2 :Removable BlockDevice - Alias (null) Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x1D,0x0)/USB(0x1,0x0) Shell> exit </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「map -r」を入力します。 ・FCデバイスが認識されていることを確認します。 ・「exit」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
11	 <pre> BladeSymphony F51 HMM LPAR Intel(R) Xeon(R) CPU X5570 @ 2.93GHz 2.93 GHz (1a32.UEFI) Ver: 1.20 Continue Boot Maintenance Manager This selection will take you to the Boot Maintenance Manager ↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry </pre>	<p>■ブートオーダーの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
12	 <pre> Boot Maintenance Manager Boot Options Modify system boot options Set Time Out Value Reset System ↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Boot Options」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
13	 <pre> Boot Maintenance Manager Go Back To Main Page Add EFI Application or Add Boot Option Removable Fs as Boot Delete Boot Option Option Change Boot Order ↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Add Boot Option」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
14	 <p>File Explorer</p> <p>FC STORAGE DEVICE, [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E801025A261,0x0)]</p> <p>USB STORAGE DEVICE, [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x1A,0x0)/USB(0x0,0x0)]</p> <p>NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x1,0x0)/MAC(000087624B00,0x0)]</p> <p>NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x2,0x0)/MAC(000087624B01,0x0)]</p> <p>↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</p>	<p>・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
15	 <p>File Explorer</p> <p>FC STORAGE DEVICE, [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E801025A261,0x0)]</p> <p>Input the description Input Optional Data</p> <p>Please type in your data</p> <p>Win2003R2</p> <p><Enter>=Complete Entry Esc=Exit without Save</p>	<p>・「Input the description」を選択します。</p> <p>・ブートデバイス名を入力します。</p> <p>※左記記載は例として、「Win2003R2」と入力しています。</p>	<input type="checkbox"/>
16	 <p>File Explorer</p> <p>FC STORAGE DEVICE, Commit Changes and Exit [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E801025A261,0x0)]</p> <p>Input the description Win2003R2 Input Optional Data -</p> <p>Commit Changes and Exit</p> <p>Discard Changes and Exit</p> <p>↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</p>	<p>・「Commit Changes and Exit」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
17	 <p>Boot Maintenance Manager</p> <p>Boot Options Modify system boot options</p> <p>Set Time Out Value</p> <p>Reset System</p> <p>↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</p>	<p>・「Boot Options」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
18		<p>・「Add Boot Option」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
19		<p>・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
20		<p>・「Input the description」を選択します。 ・ブートデバイス名を入力します。</p> <p>※左記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。</p>	<input type="checkbox"/>
21		<p>・「Commit Changes and Exit」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>

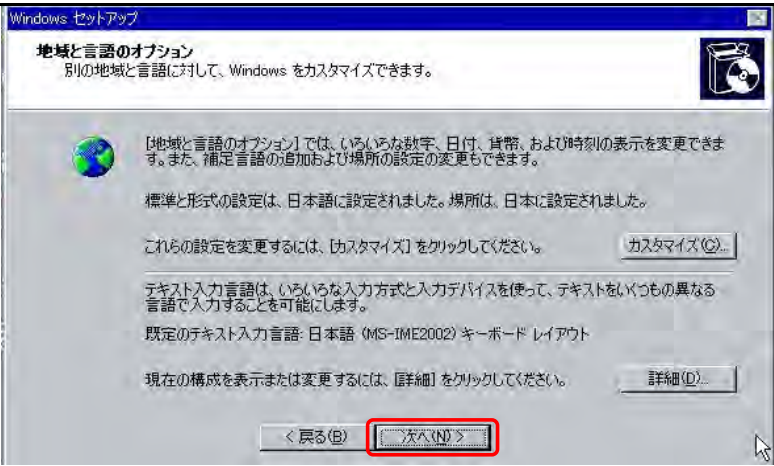
No.	画面	操作	チェック
22		<p>・「Boot Options」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
23		<p>・「Change Boot Order」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
24		<p>・[Enter]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>
25		<p>・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。</p> <p>DVD-ROM Win2003R2 EFI Internal Shell</p>	<input type="checkbox"/>

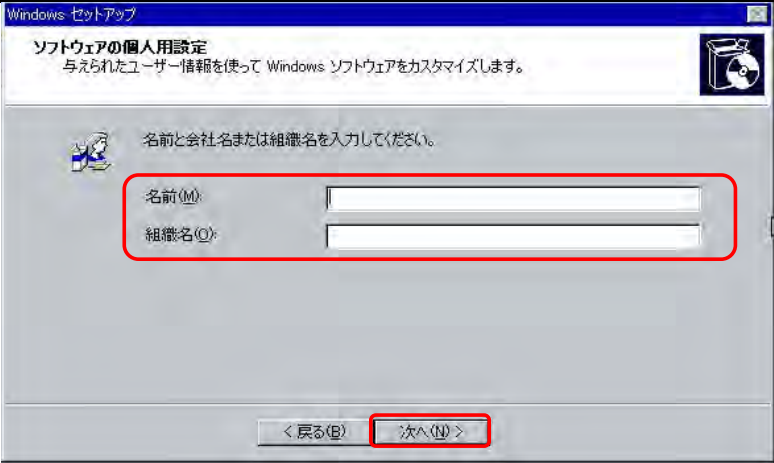
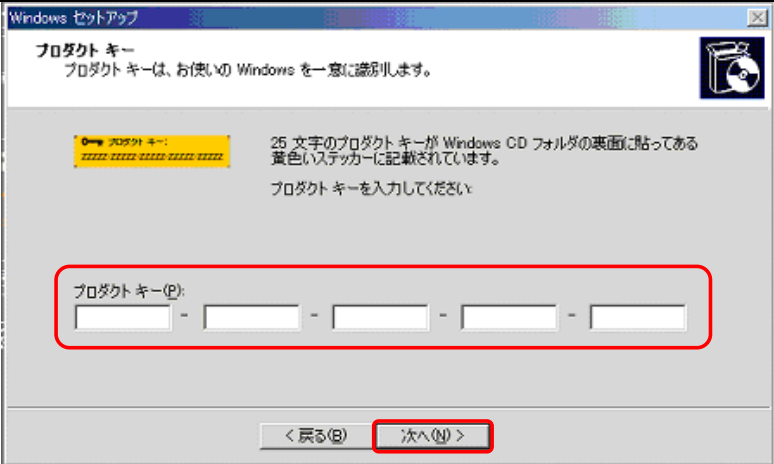
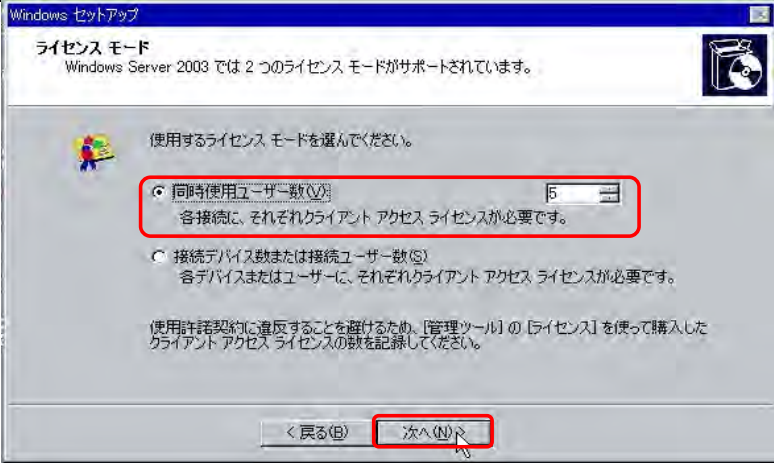
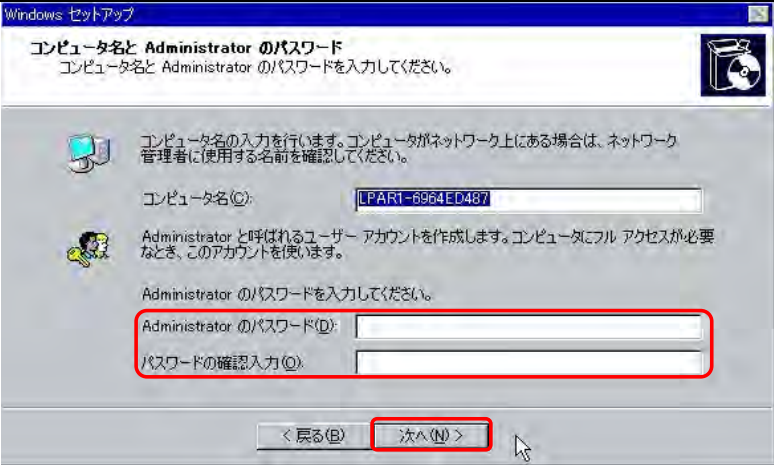
No.	画面	操作	チェック
26		<ul style="list-style-type: none"> ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
27		<ul style="list-style-type: none"> ・[Esc]キーを押します。 	<input type="checkbox"/>
28		<ul style="list-style-type: none"> ・[Continue]を選択します。 	<input type="checkbox"/>
29		<p>■OSのインストール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記の画面が表示されるまで、約1分かかります。 ・「Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...」と表示されたら、[F5]⇒[F6]キーの順に押します。 	<input type="checkbox"/>

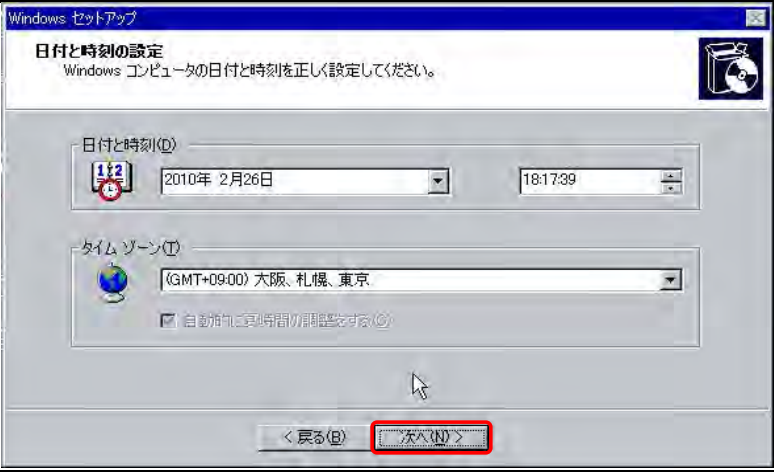

No.	画面	操作	チェック
30		<p>・「ACPI Multiprocessor PC」を選択します。</p> <p>※x64の場合は、 「ACPI Multiprocessor x64」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
31		<p>※左記の画面が表示されるまで、約8分かかります。</p> <p>・[S]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>
32		<p>・「Hitachi PCI Fibre Channel Adapter」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
33		<p>※左記の画面が表示されるまで、約1分かかります。</p> <p>・[Enter]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>

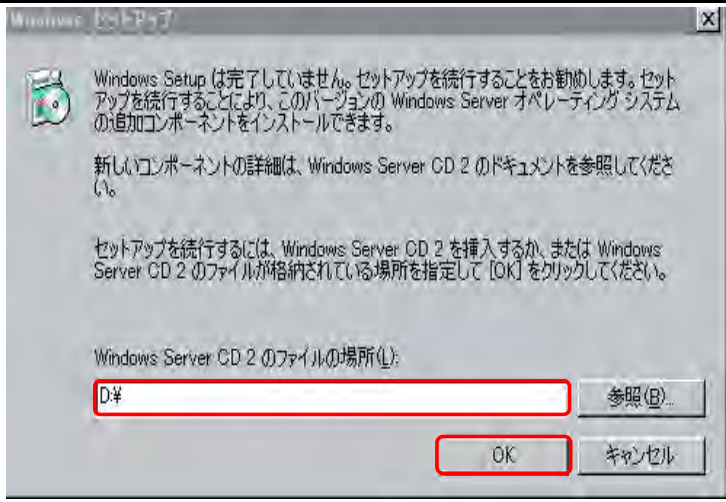

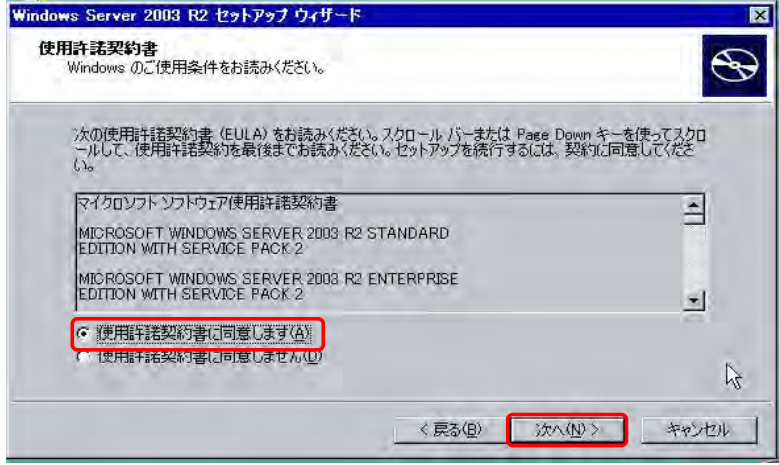
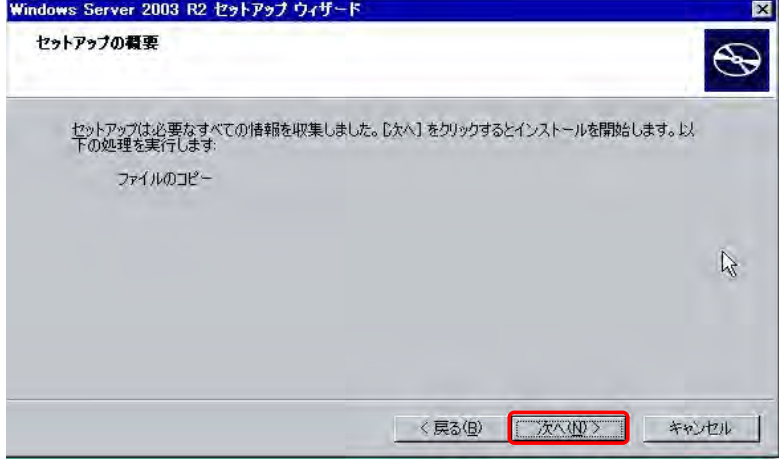
No.	画面	操作	チェック
34	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p><u>セットアップの開始</u></p> <p>セットアップ プログラムのこの部分では、Microsoft(R) Windows(R) のインストールと設定を準備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows のセットアップを開始するには、Enter キーを押してください。 インストール済みの Windows を回復コンソールを使って修復するには、R キーを押してください。 Windows をインストールしないでセットアップを終了するには、F3 キーを押してください。 <p>Enter=続行 R=修復 F3=終了</p>	<p>※左記の画面が表示されるまで、約6分かかります。</p> <p>・[Enter]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>
35	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p>Windows セットアップではインストールの大部分を自動的に構成できます。セットアップ間、ユーザーが入力を要求されることはほとんどないか、またはまったくありません。ローカル モニタまたはキーボードを使わずにコンピュータを構成している場合は、この機能を使ってください。使わない場合、セットアップは完了しません。</p> <p>この機能を使う場合は、Enter キーを押してください。</p> <p>手動のインストールを続行する場合は、C キーを押してください。</p> <p>Enter=高速セットアップ C=カスタム セットアップ F3=終了</p>	<p>・[C]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>
36	<p>Windows ライセンス契約</p> <p>マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書</p> <p>MICROSOFT WINDOWS SERVER 2003 R2 STANDARD EDITION WITH SERVICE PACK 2</p> <p>MICROSOFT WINDOWS SERVER 2003 R2 ENTERPRISE EDITION WITH SERVICE PACK 2</p> <p>MICROSOFT WINDOWS SERVER 2003 R2 STANDARD x64 EDITION WITH SERVICE PACK 2</p> <p>MICROSOFT WINDOWS SERVER 2003 R2 ENTERPRISE x64 EDITION WITH SERVICE PACK 2</p> <p>本使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）の条項は、お客様と以下のいずれかの業者との契約を構成します。</p> <p>F8=同意します Esc=同意しません PageDown=次のページ</p>	<p>・[F8]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>
37	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p>以下のいずれかのキーを押して、キーボードの種類を特定してください。</p> <p>半角/全角 キー : 106 日本語キーボードの場合 スペース キー : 101 英語キーボードの場合 'S' キー : その他のキーボードの場合</p> <p>・セットアップを終了するには、F3 キーを押してください。</p>	<p>・[半角/全角]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>


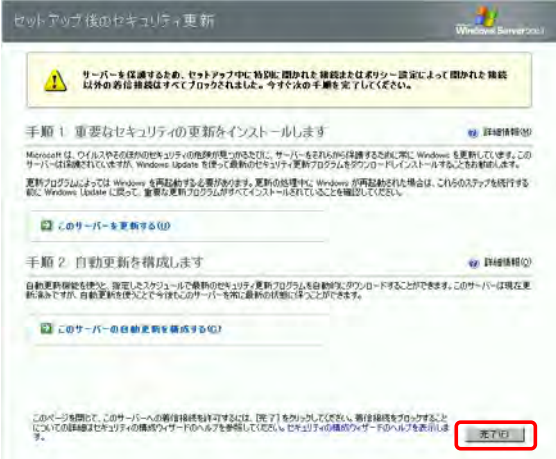

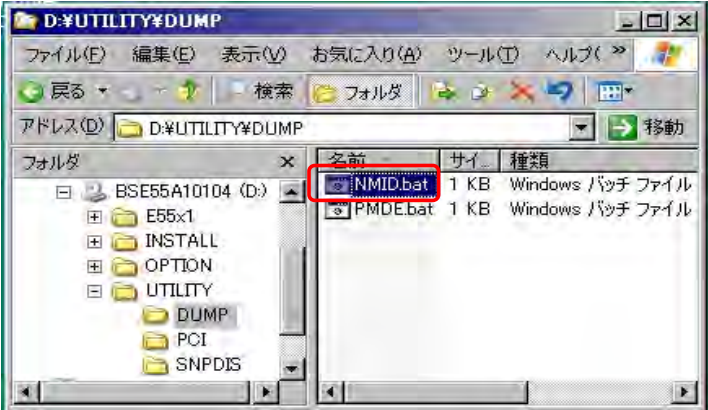
No.	画面	操作	チェック
38	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p>以下のキーボードが選択されました。</p> <p>106 Japanese Keyboard (Including USB)</p> <p>・ よろしいですか? (Y/N)</p>	・[Y]キーを押します。	<input type="checkbox"/>
39	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p>次の一覧には、このコンピュータ上の既存のパーティションと未使用の領域が表示されています。</p> <p>上下の方向キーを使って、一覧からパーティションを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択したパーティションに Windows をセットアップするには、Enter キーを押してください。 ・ 未使用の領域にパーティションを作成するには、C キーを押してください。 ・ 選択したパーティションを削除するには、D キーを押してください。 <p>20474 MB ディスク 0 Id 0 (バス 0 hfcwdd 上) [MBR]</p> <p>未使用の領域 20473MB</p> <p>Enter=インストール C=パーティションの作成 F3=終了</p>	・[C]キーを押します。	<input type="checkbox"/>
40	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p>20474 MB ディスク 0 Id 0 (バス 0 hfcwdd 上) [MBR] に新しいパーティションを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいパーティションを作成するには、サイズを入力して Enter キーを押してください。 ・ パーティションを作成しないで前の画面に戻るには、Esc キーを押してください。 <p>新しいパーティションの最小サイズは 8 MB です。 新しいパーティションの最大サイズは 20466 MB です。 作成するパーティションのサイズ (MB): 20466</p> <p>Enter=作成 Esc=取り消し</p>	・[Enter]キーを押します。	<input type="checkbox"/>
41	<p>Windows Server 2003, Enterprise Edition セットアップ</p> <p>次の一覧には、このコンピュータ上の既存のパーティションと未使用の領域が表示されています。</p> <p>上下の方向キーを使って、一覧からパーティションを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択したパーティションに Windows をセットアップするには、Enter キーを押してください。 ・ 未使用の領域にパーティションを作成するには、C キーを押してください。 ・ 選択したパーティションを削除するには、D キーを押してください。 <p>20474 MB ディスク 0 Id 0 (バス 0 hfcwdd 上) [MBR]</p> <p>C:パーティション1:[未フォーマット] 20466MB(20465MB 空き)</p> <p>未使用の領域 6MB</p> <p>Enter=インストール D=パーティションの削除 F3=終了</p>	・[Enter]キーを押します。	<input type="checkbox"/>

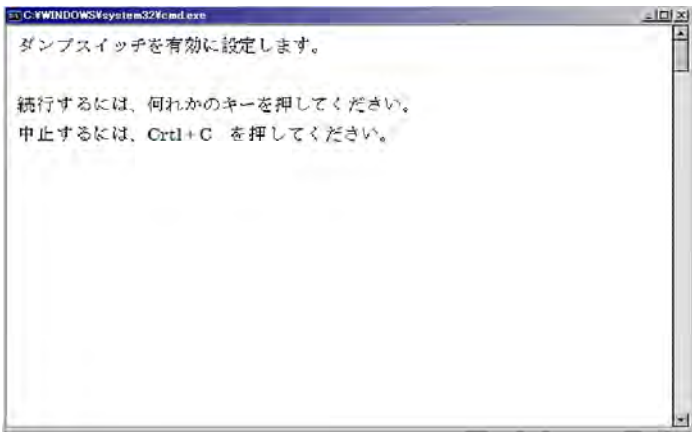
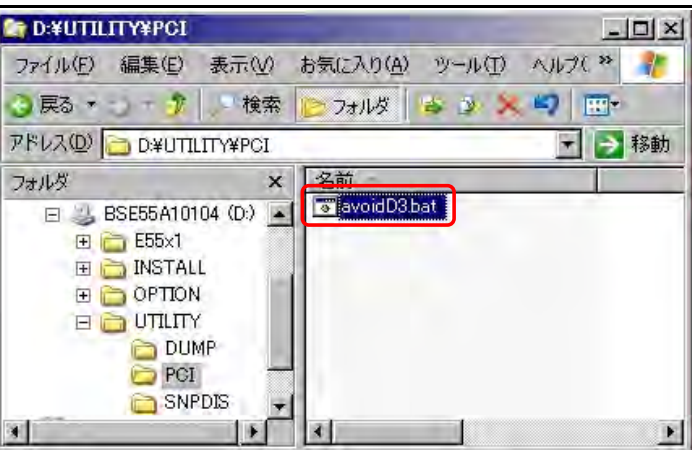
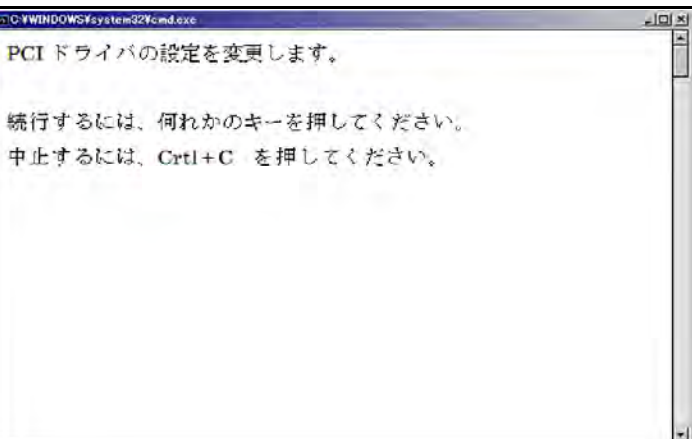
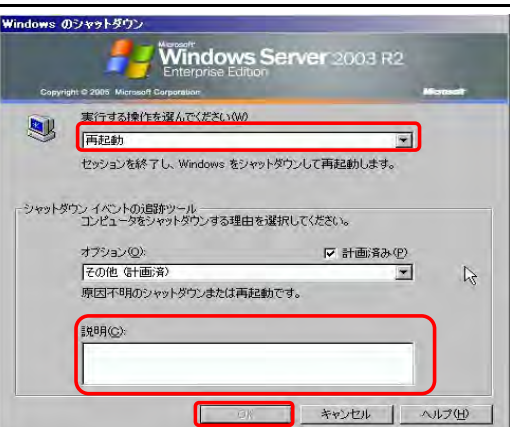
No.	画面	操作	チェック
42		<p>・左記のように選択し、[Enter]キーを押します。</p>	<input type="checkbox"/>
43		<p>※フォーマット後、ファイルのコピーが完了するまで、約15分かかります。</p> <p>・完了すると、Windowsが再起動します。</p>	<input type="checkbox"/>
44		<p>・[OK]ボタンをクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
45		<p>※再起動後、左記の画面が表示されるまで、約5分かかります。</p> <p>・[次へ(N)]ボタンをクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>



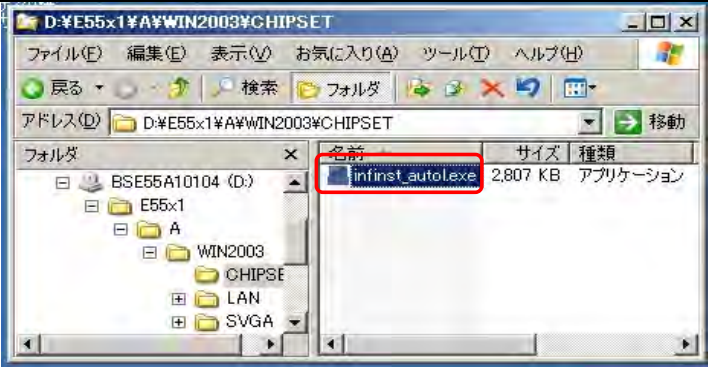

No.	画面	操作	チェック
46		<p>・「名前(M):」と「組織名(O):」を入力し、[次へ(N)] ボタンをクリックします。</p>	□
47		<p>・プロダクトキーを入力します。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。</p>	□
48		<p>・ライセンスモードを選択します。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。</p>	□
49		<p>・パスワードを入力します。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。</p>	□

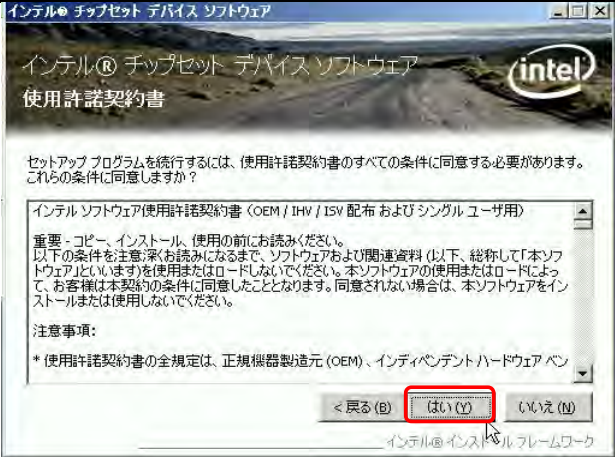

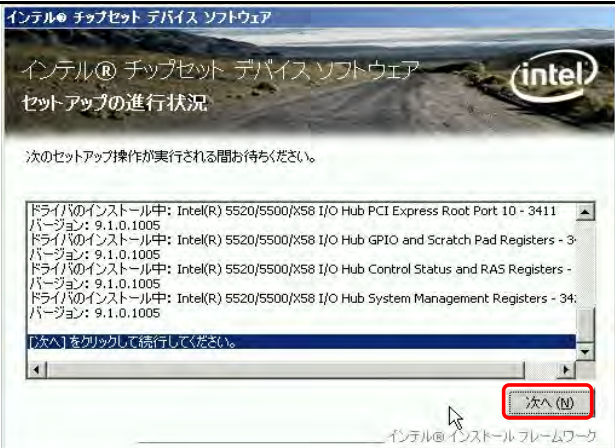
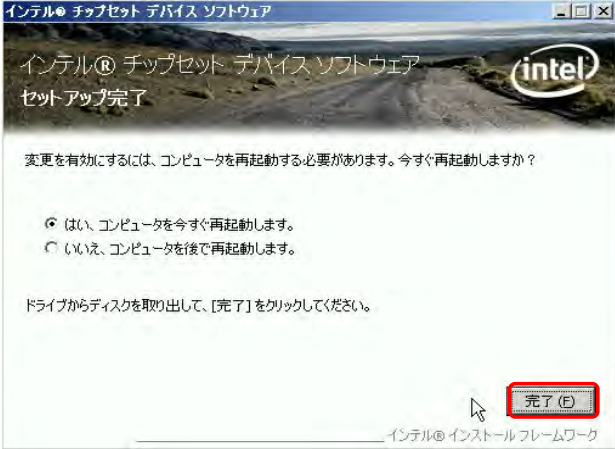
No.	画面	操作	チェック
50		<p>・[次へ(N)]ボタンをクリックします。</p>	□
51		<p>※インストールが完了するまで、約12分かかります。</p> <p>・完了すると、Windowsが再起動します。</p>	□
52		<p>・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。</p> <p>・「キーボード」タブをクリックします。</p> <p>・「Ctrl+Alt+Delキー入力」をクリックします。</p>	□
53		<p>・Windowsにログオンします。</p>	□



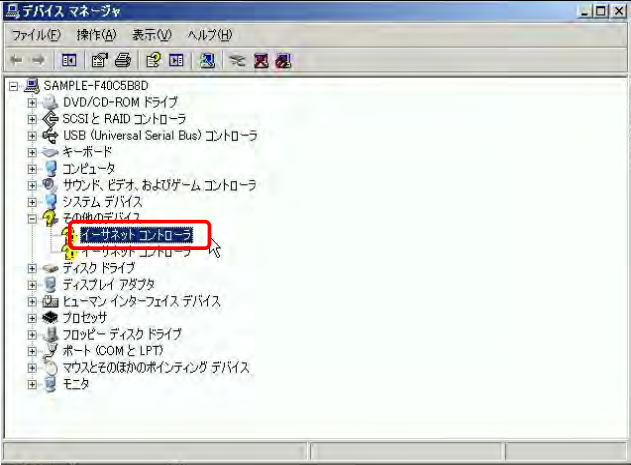
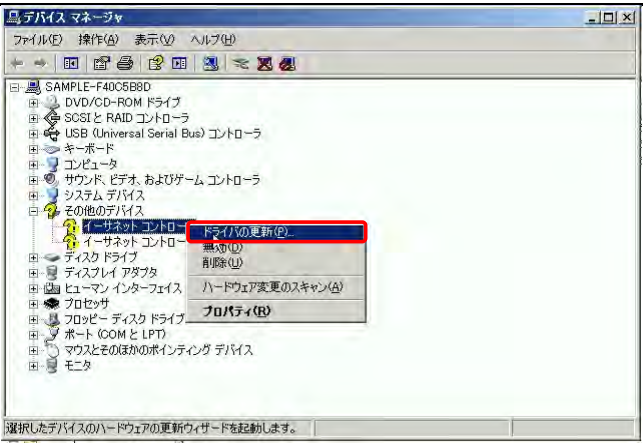
No.	画面	操作	チェック
54		<p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Windows Server 2003 R2メディア(2/2)」に入れ替えます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Windows Server 2003 R2メディア(2/2)」に入れ替えます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ切り替え]をクリックします。 ・「Windows Server 2003 R2メディア(2/2)(ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p>	□
55		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
56		<ul style="list-style-type: none"> ・「使用許諾契約書に同意します(A)」をクリックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
57		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
58		<p>・[完了]ボタンをクリックします。</p>	□
59		<p>・「セットアップ後のセキュリティ更新」を設定します。</p> <p>・[完了(E)]ボタンをクリックします。</p>	□
60		<p>・デスクトップ上で右クリックします。</p> <p>・[プロパティ]-[設定]で左記のように設定します。</p> <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p>	□
61		<p>■レジストリの更新</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <p>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。</p> <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <p>・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。</p> <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <p>・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。</p> <p>・[CD/DVDイメージ切り替え]をクリックします。</p> <p>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。</p> <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p> <p>・D:\UTILITY\DUMP\NMID.batをクリックします。</p>	□

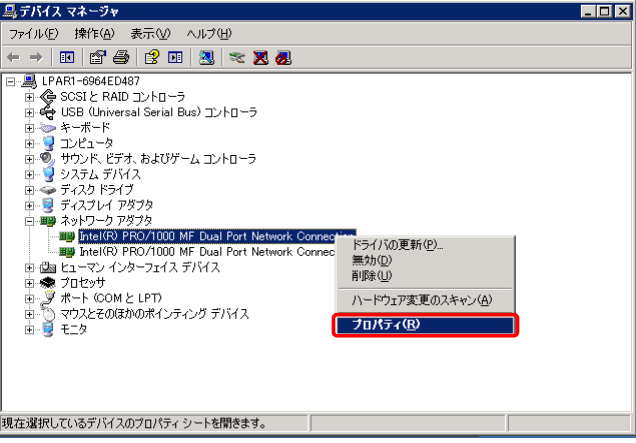
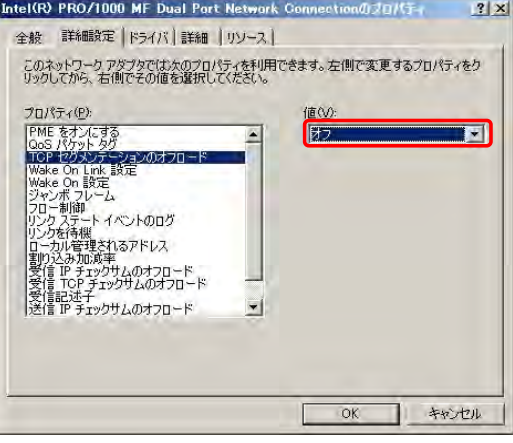
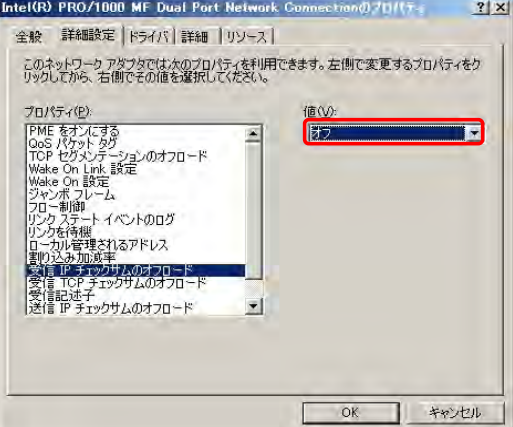
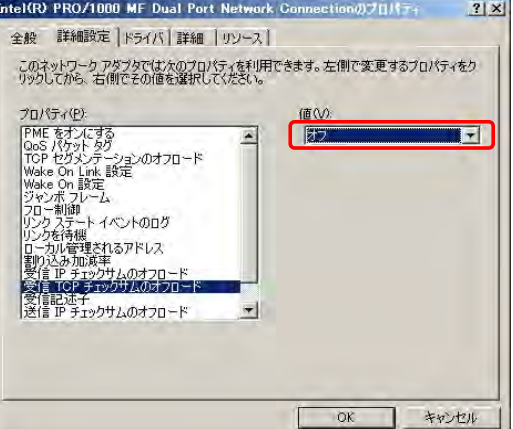
No.	画面	操作	チェック
62		・任意のキーを押します。	<input type="checkbox"/>
63		・D:\UTILITY\PCI\avoidD3.batをクリックします。	<input type="checkbox"/>
64		・任意のキーを押します。	<input type="checkbox"/>
65		【フロント USBを使用する場合】 ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。 ・実行する操作にて再起動を選択します。 ・任意の文字列を説明欄に入力します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ・Windowsが再起動します。	<input type="checkbox"/>

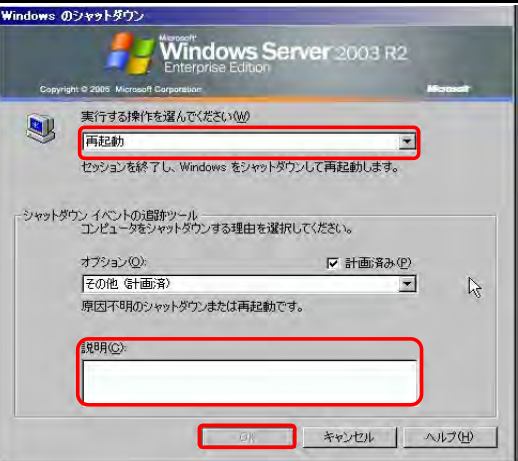
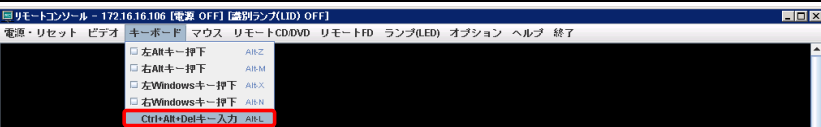
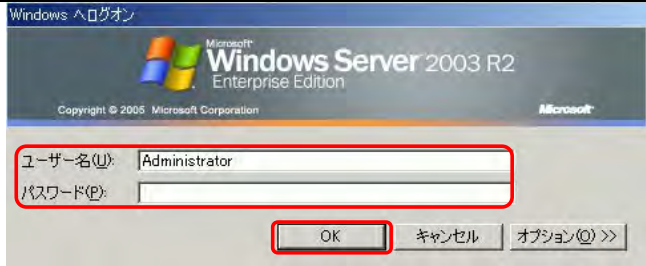
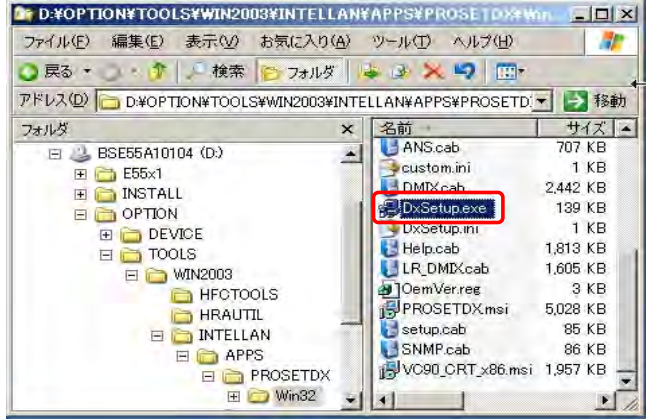
No.	画面	操作	チェック
66		<ul style="list-style-type: none"> ・ウィンドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。 ・「キーボード」タブをクリックします。 ・「Ctrl+Alt+Delキー入力」をクリックします。 	□
67		<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsにログオンします。 	□
68		<p>■チップセットドライバのインストール</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <p>・D:¥ブレードモデル名 ¥A¥WIN2003¥CHIPSET¥infinst_autol.exeをクリックします。 例) ブレードモデル名・・・E55A2</p>	□
69		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
70		・[はい(Y)]ボタンをクリックします。	<input type="checkbox"/>
71		・[次へ(N)]ボタンをクリックします。	<input type="checkbox"/>
72		・[次へ(N)]ボタンをクリックします。	<input type="checkbox"/>
73		<div>【フロント USBを使用する場合】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 <div>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 <div>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 	<input type="checkbox"/>
		・[完了(F)]ボタンをクリックします。	

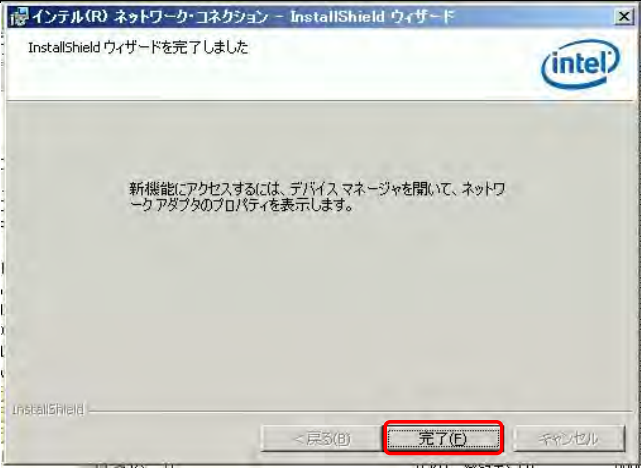
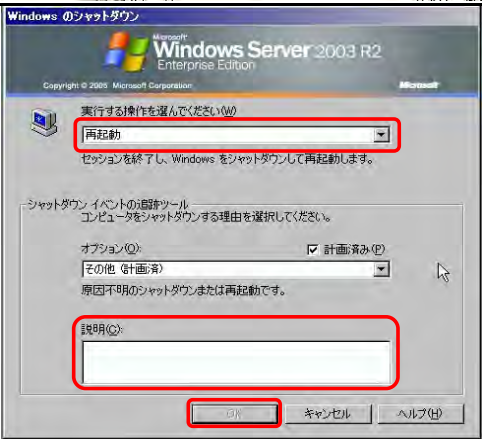


No.	画面	操作	チェック
74		<ul style="list-style-type: none"> ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。 ・「キーボード」タブをクリックします。 ・「Ctrl+Alt+Delキー入力」をクリックします。 	<input type="checkbox"/>
75		<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsにログオンします。 	<input type="checkbox"/>
76		<p>■LANドライバのインストール</p> <p>【フロントUSBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <p>・[スタート]-[コントロールパネル]-[システム]をクリックします。</p> <p>・[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
77		<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークアダプタをクリックし、右クリックで「ドライバの更新(P)」をクリックします。 	<input type="checkbox"/>

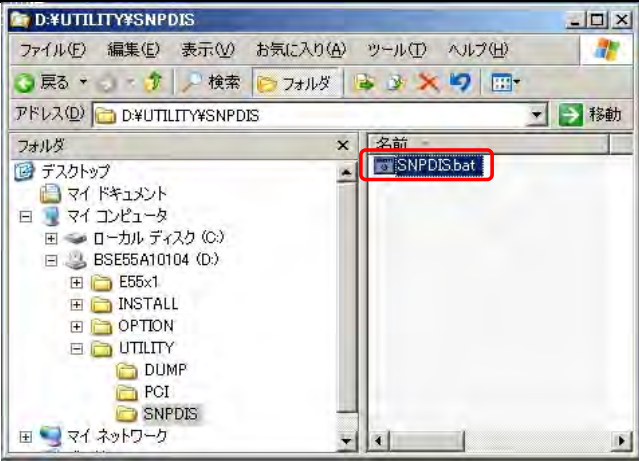
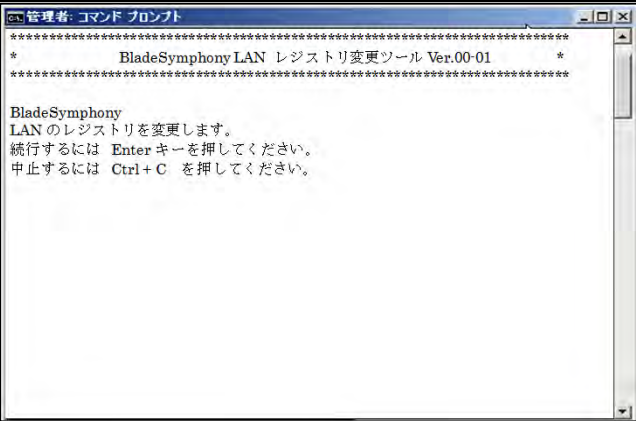
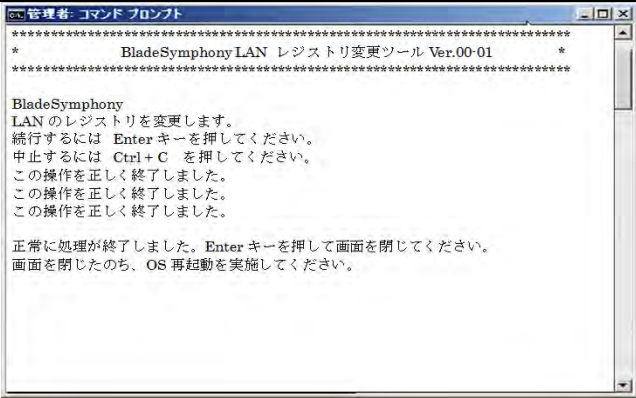
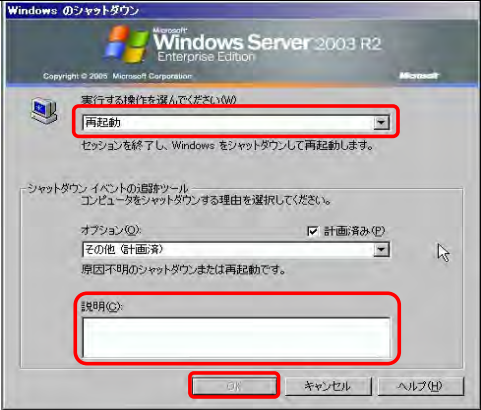
No.	画面	操作	チェック
78		<ul style="list-style-type: none"> ・「いいえ、今回は接続しません(I)」をクリックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
79		<ul style="list-style-type: none"> ・「一覧または特定の場所からインストールする (詳細)(S)」をクリックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
80		<ul style="list-style-type: none"> ・「次の場所を含める(Q):」をクリックします。 ・D:\¥"ブレードモデル名"¥A¥WIN2003¥LANをクリックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 <p>※x64の場合は、 ・D:\¥"ブレードモデル名"¥A¥WIN2003x64¥LAN を選択します。</p> <p>例) ブレードモデル名・・・E55A2</p>	□
81		<ul style="list-style-type: none"> ・[完了]ボタンをクリックします。 <p>※LANドライバの更新をしていないネットワークアダプタが残っている場合は同様の手順を繰り返します。</p>	□

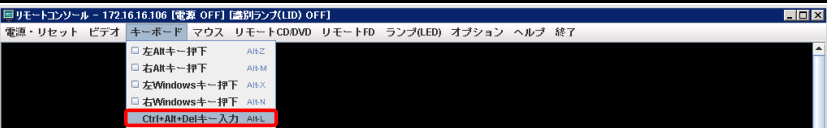
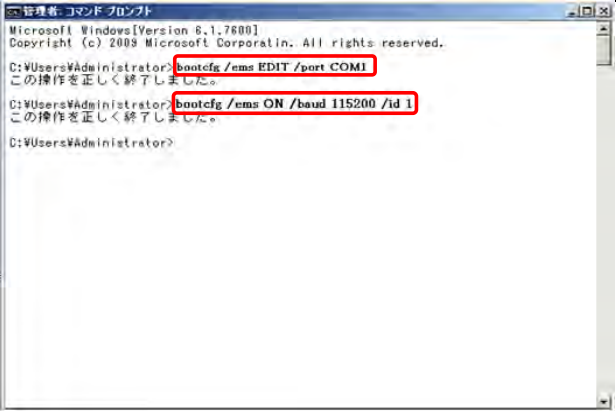
No.	画面	操作	チェック
82		<p>■TCP/IPオフロードオプションの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークアダプタをクリックし、右クリックで「プロパティ(R)」をクリックします。 	□
83		<ul style="list-style-type: none"> ・[詳細設定]タブをクリックします。 ・[TCPセグメンテーションのオフロード]を「オフ」に設定します。 	□
84		<ul style="list-style-type: none"> ・[受信 IPチェックサムのオフロード]を「オフ」に設定します。 	□
85		<ul style="list-style-type: none"> ・[受信 TCPチェックサムのオフロード]を「オフ」に設定します。 <p>※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。</p>	□

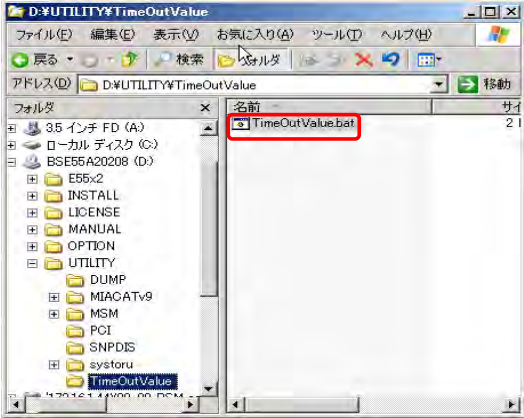
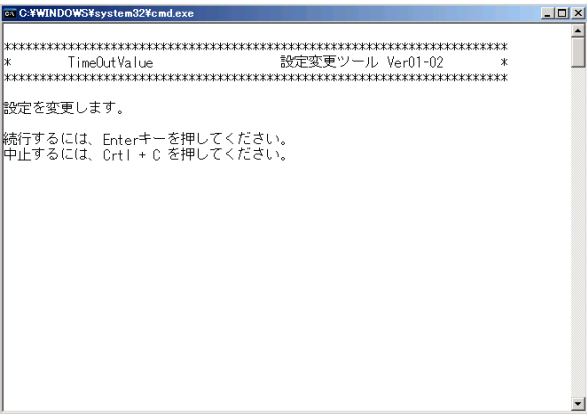
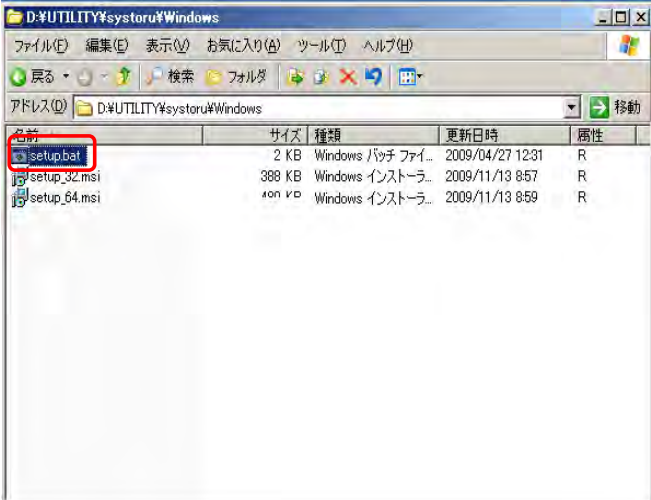
No.	画面	操作	チェック
86		<p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。 ・実行する操作にて再起動を選択します。 ・任意の文字列を説明欄に入力します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ・Windowsが再起動します。 	□
87		<ul style="list-style-type: none"> ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。 ・「キーボード」タブをクリックします。 ・「Ctrl+Alt+Delキー入力」をクリックします。 	□
88		<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsにログオンします。 	□
89		<p>■Intel(R) PROSetのインストール</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <p>・D:\OPTION\TOOLS\WIN2003\INTELLAN\APPS\PROSETDX\Win32\DxSetup.exeをクリックします。</p> <p>※x64の場合は、 D:\OPTION\TOOLS\WIN2003x64\INTELLAN\APPS\PROSETDX\Winx64\DxSetup.exeをクリックします。</p>	□

No.	画面	操作	チェック
90		・[次へ(N)]ボタンをクリックします。	□
91		・「使用許諾契約の条項に同意します(A)」をクリックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。	□
92		・[次へ(N)]ボタンをクリックします。	□
93		・[インストール(I)]ボタンをクリックします。	□

No.	画面	操作	チェック
94		<ul style="list-style-type: none"> ・[完了(F)]ボタンをクリックします。 	□
95		<ul style="list-style-type: none"> ・【フロント USBを使用する場合】 ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 ・【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 ・【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。 ・実行する操作にて再起動を選択します。 ・任意の文字列を説明欄に入力します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ・Windowsが再起動します。 	□
96		<ul style="list-style-type: none"> ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。 ・「キーボード」タブをクリックします。 ・「Ctrl+Alt+Delキー入力」をクリックします。 	□
97		<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsにログオンします。 	□

No.	画面	操作	チェック
98		<p>■ SNP無効化</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <p>・D:\UTILITY\SNPDIS\SNPDIS.batをクリックします。</p>	□
99		<p>・任意のキーを押します。</p>	□
100		<p>・任意のキーを押します。</p>	□
101		<p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 ・スタートメニューにてシャットダウンをクリックします。 ・実行する操作にて再起動を選択します。 ・任意の文字列を説明欄に入力します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ・Windowsが再起動します。 	□

No.	画面	操作	チェック
102		<ul style="list-style-type: none"> ・ウインドウ「Ctrl+Alt+Delキーを押して開始してください」が表示されます。 ・「キーボード」タブをクリックします。 ・「Ctrl+Alt+Delキー入力」をクリックします。 	□
103		<p>■シリアルコンソールの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。 「bootcfg /ems EDIT /port COM1」 「bootcfg /ems ON /baud 115200 /id 1」 	□
104	各ドライバのバージョン情報確認	<p>■各ドライバのバージョン情報確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。 http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/ “導入後のサポート” - “サポート製品ダウンロード” - “ダウンロード最新情報一覧” からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。 ※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。 	□
105	インストールに使用したドライバにあった修正モジュールの適用	<p>■OS修正モジュールの適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OS の修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWeb ページで発信しています。 <p>また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。</p> <p>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/</p> <p>“導入後のサポート” - “サポート製品ダウンロード” - “ダウンロード最新情報一覧” - “OS 修正モジュール” を参照してください。</p> <p>OS 修正モジュール適用が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。</p>	□

No.	画面	操作	チェック
106	JP1/ServerConductorとハードウェア保守エージェントのインストール	<p>■ JP1/ServerConductorとハードウェア保守エージェントのインストール</p> <p>・各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS2000 ソフトウェアガイドの「付属ソフトウェアの使いかた」をご参照ください。</p> <p>※「構成マネージャ」からインストールする場合は、先にJP1/ServerConductor/Agent をインストールしてから、ハードウェア保守エージェントをインストールしてください。</p>	□
107		<p>■ レジストリの更新(その2)</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <p>・「SystemInstaller CD」を入れます。</p> <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <p>・「SystemInstaller CD」を入れます。</p> <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <p>・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。</p> <p>・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。</p> <p>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。</p> <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p> <p>・D:\UTILITY\TimeOutValue\TimeOutValue.batをクリックします。</p>	□
108		<p>・任意のキーを押します。</p>	□
109		<p>以下の場合手順109～112を実施 E55A2モデル: SystemInstallerバージョン02-04以降 E57A1/E57E1モデル: SystemInstallerバージョン01-03以降</p> <p>■ システム情報採取ツールのインストール</p> <p>・D:\UTILITY\systoru\Windows\setup.batをクリックします。</p>	□

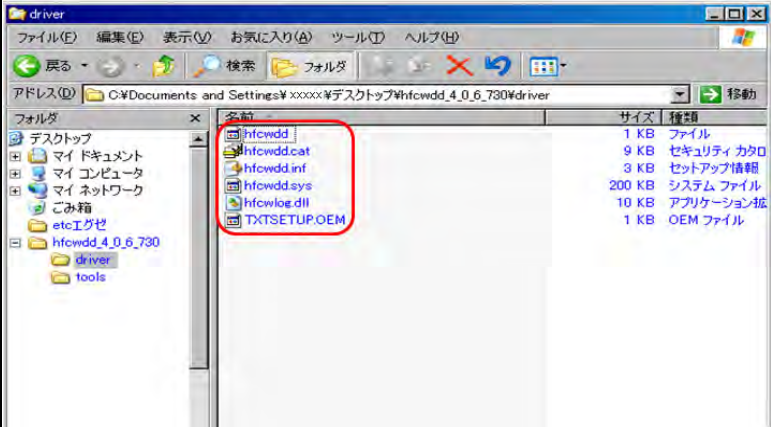
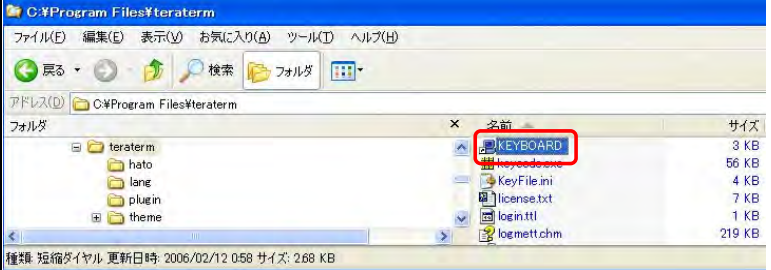
No.	画面	操作	チェック
110		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	<input type="checkbox"/>
111		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	<input type="checkbox"/>
112		<ul style="list-style-type: none"> ・[閉じる(C)]ボタンをクリックします。 【フロント USBを使用する場合】 ・「ドライブFD」を取り出します。 ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 ・FDドライブ、CD/DVDドライブを取り外します。 【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 ・「ドライブFD」を取り出します。 ・「SystemInstaller CD」を取り出します。 【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・[CD/DVDイメージ使用]をクリックします。 	<input type="checkbox"/>
113		<ul style="list-style-type: none"> ■リモートコンソールの終了 ・[終了]タブをクリックします。 ・[終了]をクリックします。 <p>以上でOSインストールは完了です。</p>	<input type="checkbox"/>

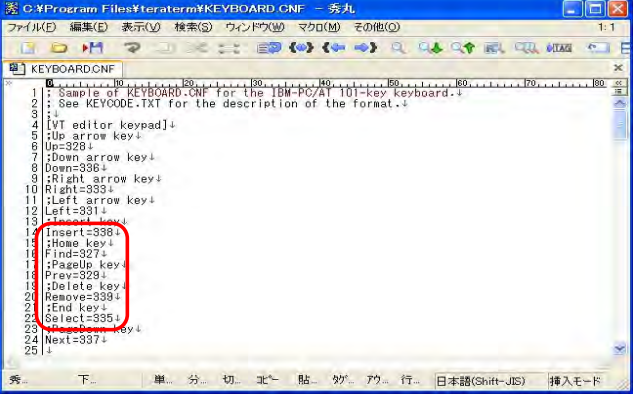
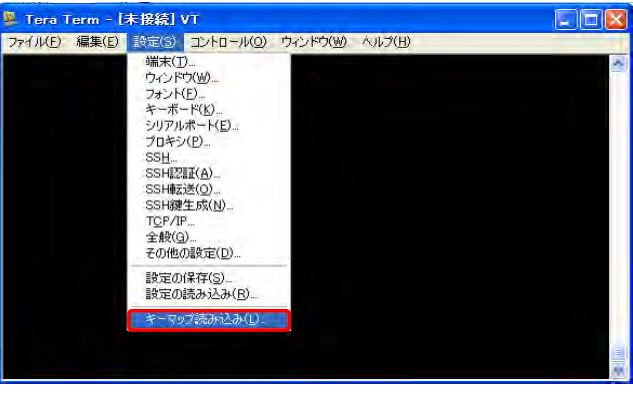
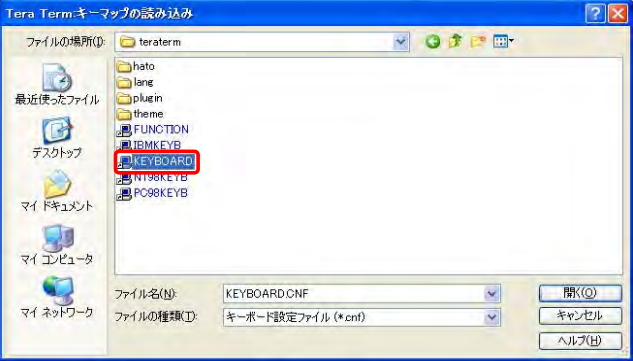
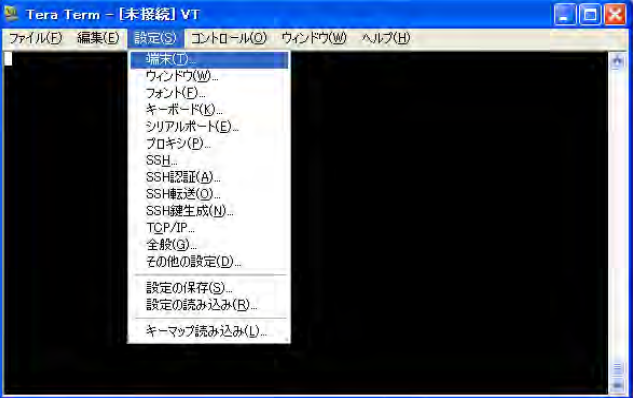
2. Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1 インストール手順


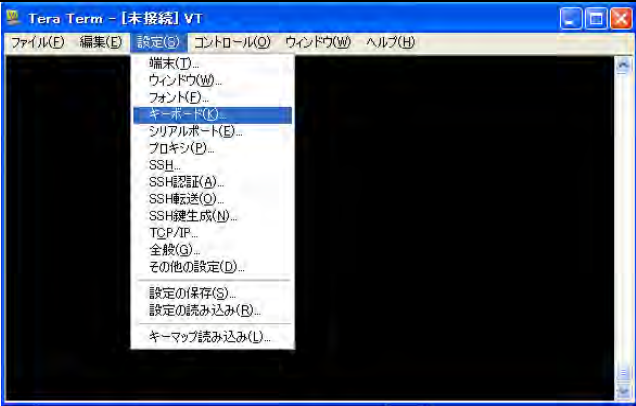
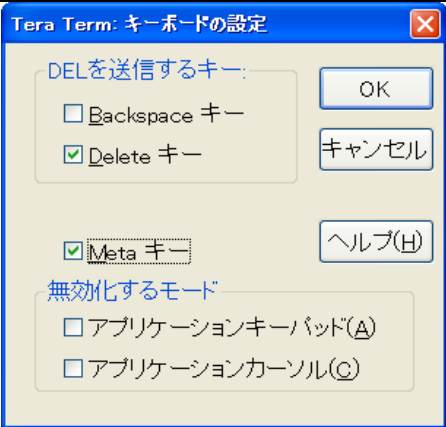
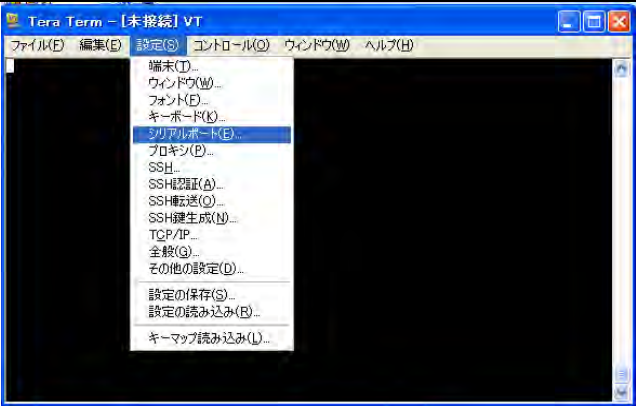
インストール所要時間


	所要時間
2. 1 準備	5分
2. 2 HVMの起動	10分
2. 3 HVMの設定	10分
2. 4 LPARの構築 (2. 4. 1 or 2. 4. 2 or 2. 4. 3 or 2. 4. 4の内の1つを選択)	10分
2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール	100分
合計時間	135分

2. 1 準備

No.	画面	操作	チェック
1	事前準備	<p>■事前に準備するものについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のものを準備します。 <ul style="list-style-type: none"> ・CD/DVDドライブ または USB DVDドライブ ・SystemInstaller CD ※1 ・Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1メディア ・JP1/ServerConductorメディア ・ハードウェア保守エージェントメディア ・CD-R ※2 ・サービスパックDVD※3 <p>※1 本書では、SystemInstaller CDは以下に記載したバージョンを前提にしています。お客様の環境もしくは、ご使用されているSystemInstallerによって動作が若干異なる場合があります。</p> <p>E55A1モデル: 11-04以降 E55A2モデル: 12-00以降 E55R3/E55S3モデル: 21-00以降 E57A1モデル: 11-00以降 E57E1モデル: 11-01以降 E57A2/E57E2モデル: 20-00以降</p> <p>※2 Webからドライバをダウンロードする手順のみに使用します。</p> <p>※3 OSメディアによってサービスパックDVDがない場合があります。</p>	<input type="checkbox"/>
2		<p>SystemInstaller CDに対応したドライバがある場合は手順3に進みます。</p> <p>■WebからダウンロードしたドライバのCD作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDをCDドライブに入れます。 ・ダウンロードした圧縮ファイルを解凍します。 ・C:\¥.....¥"ドライババージョン"¥driver¥にあるすべてのファイルをCDにコピーします。 <p>※CDにはディレクトリなしでコピーしてください。フォルダを作成するとインストールの際にドライバを読み込むことができなくなります。</p>	<input type="checkbox"/>
3		<p>■Tera Termの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KEYBOARD.CNFをクリックします。 	<input type="checkbox"/>

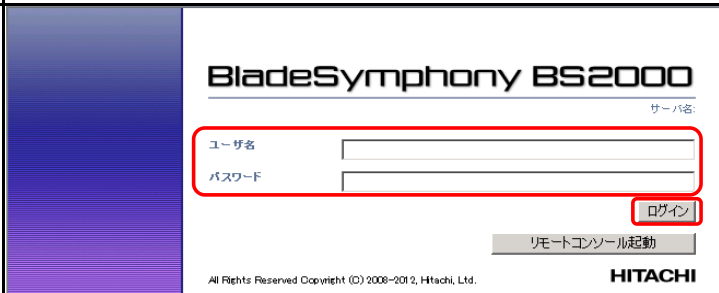

No.	画面	操作	チェック
4		<p>・以下の設定になっていることを確認します。</p> <p>Insert=338 Find=327 Prev=329 Remove=339 Select=335</p>	<input type="checkbox"/>
5		<p>・[設定(S)]-[キーマップ読み込み(L)]をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
6		<p>・KEYBOARD.CNFをクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
7		<p>・[設定(S)]-[端末(T)]をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>


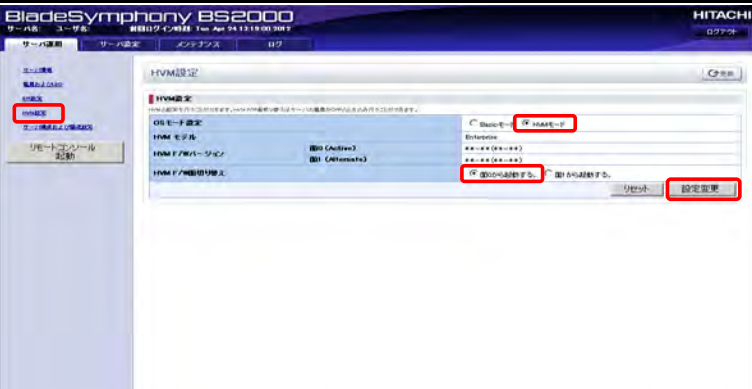

No.	画面	操作	チェック
8		・左記の設定となっていることを確認します。	□
9		・[設定(S)]-[キーボード(K)]をクリックします。	□
10		・左記の設定となっていることを確認します。	□
11		・[設定(S)]-[シリアルポート(E)]をクリックします。	□


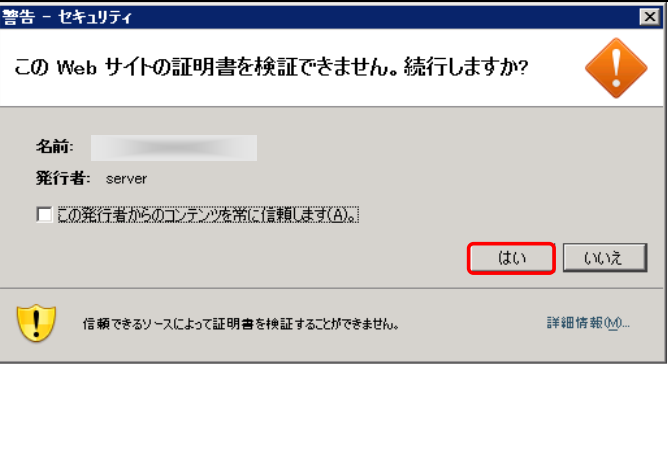

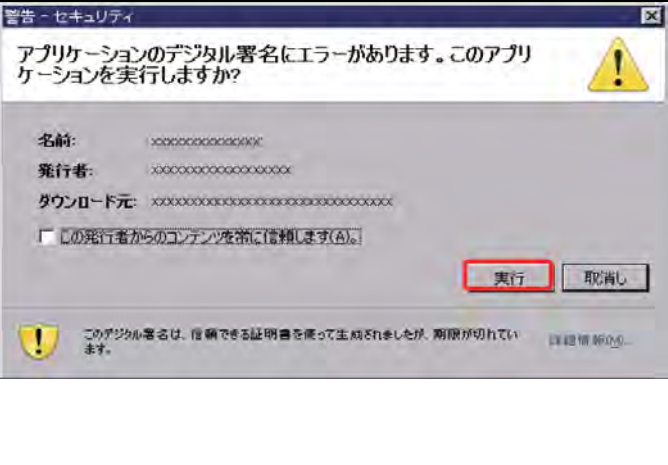
No.	画面	操作	チェック
12		・左記の設定となっていることを確認します。	<input type="checkbox"/>
13	<p align="center">SystemInstaller CD内のドライバ確認</p>	<p>■SystemInstaller内の拡張カード用ドライバ、ユーティリティの確認</p> <p>SystemInstaller CDに含まれている拡張カード用ドライバについては、SystemInstaller CD 内の readme.html を参照します。 インストールに使用するデバイスのドライバが SystemInstaller CDに無い場合はドライバをWebからダウンロードしてください。</p> <p>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/ ” 導入後のサポート” -” サポート製品ダウンロード”-” ダウンロード最新情報一覧”</p>	<input type="checkbox"/>



2. 2 HVMの起動 に進みます。

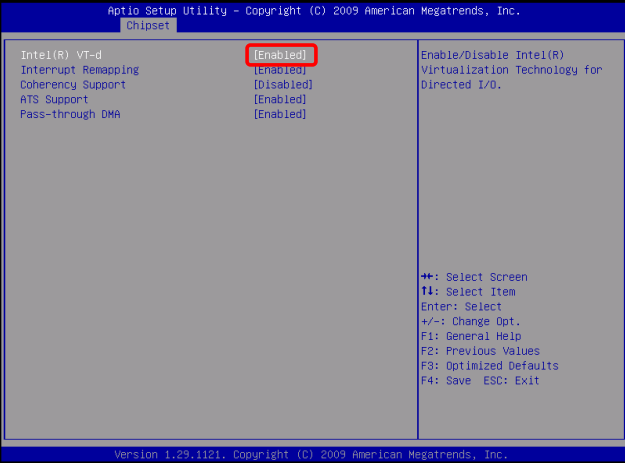
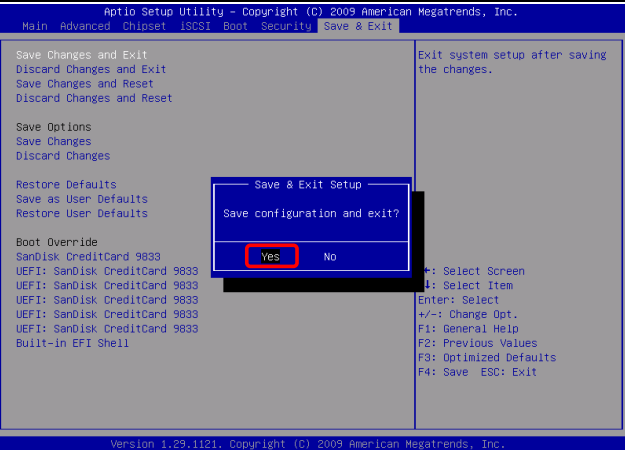
2.2 HVMの起動

No.	画面	操作	チェック																														
1	事前確認	<p>■動作条件確認</p> <p>・リモートコンソールアプリケーション(Reclient)を使用する場合 リモートコンソールアプリケーション(Reclient)の使用方法について、「BS2000用 リモートコンソールアプリケーションユーザズガイド」を参照してください。</p> <p>・リモートコンソールアプリケーション(Javaアプリケーション)を使用する場合 動作条件があります。動作条件を満たしているかご確認ください。 「BS2000ユーザズガイド」-「装置の接続と電源投入」-「システム装置の接続」-「リモートコンソールの接続」、「リモートコンソールアプリケーション(Javaアプリケーション)」を参照してください。</p> <p>※以降の手順は、例としてリモートコンソールアプリケーション(Javaアプリケーション)を記載します。</p>	□																														
2		<p>■サーバブレード Webコンソールにログイン</p> <p>・「ユーザ名」、「パスワード」を入力します。</p> <p>・「ログイン」ボタンをクリックします。</p>	□																														
3		<p>■EFIの設定</p> <p>・「EFI設定」タブをクリックします。</p> <p>・以下の設定になっていることを確認します。</p> <table><thead><tr><th>項目</th><th>設定値</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>SMT(Simultaneous Multi-Threading)</td><td>Disable</td><td>HVMファームウェアバージョン 57-24以前</td></tr><tr><td></td><td>Disable/Enable</td><td>HVMファームウェアバージョン 57-30以降</td></tr><tr><td>APIC Mode</td><td>xAPIC</td><td>高性能サーバブレードかつBMCファームウェアバージョン 04-48以降</td></tr><tr><td>Socket Interleave</td><td>Non-NUMA</td><td>-</td></tr><tr><td>PCI Error Handling Mode</td><td>Legacy</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-60/78-60以前</td></tr><tr><td></td><td>Legacy/PCIe Error Isolation</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以降</td></tr><tr><td>PCI Error Isolation</td><td>Disable</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前</td></tr><tr><td></td><td>Disable/Enable</td><td>HVMファームウェアバージョン 58-80/78-80以降</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>Default</td><td>-</td></tr></tbody></table> <p>※PCIe Error Isolation を使用する場合は、以下のバージョンを使用してください。</p> <p>標準サーバブレード</p> <ul style="list-style-type: none">・E55A1、E55A2の場合 EFI:03-43/04-43 以降 BMC:03-78 以降・E55R3、E55S3の場合 EFI:09-01 以降 BMC:05-01 以降 <p>高性能サーバブレード</p> <ul style="list-style-type: none">・E57A1、E57E1の場合 EFI:03-17/04-17 以降 BMC:04-33 以降・E57A2、E57E2の場合 EFI:07-12 以降 BMC:04-33 以降 <p>・「設定変更」ボタンをクリックします。</p>	項目	設定値	備考	SMT(Simultaneous Multi-Threading)	Disable	HVMファームウェアバージョン 57-24以前		Disable/Enable	HVMファームウェアバージョン 57-30以降	APIC Mode	xAPIC	高性能サーバブレードかつBMCファームウェアバージョン 04-48以降	Socket Interleave	Non-NUMA	-	PCI Error Handling Mode	Legacy	HVMファームウェアバージョン 58-60/78-60以前		Legacy/PCIe Error Isolation	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以降	PCI Error Isolation	Disable	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前		Disable/Enable	HVMファームウェアバージョン 58-80/78-80以降	上記以外	Default	-	□
項目	設定値	備考																															
SMT(Simultaneous Multi-Threading)	Disable	HVMファームウェアバージョン 57-24以前																															
	Disable/Enable	HVMファームウェアバージョン 57-30以降																															
APIC Mode	xAPIC	高性能サーバブレードかつBMCファームウェアバージョン 04-48以降																															
Socket Interleave	Non-NUMA	-																															
PCI Error Handling Mode	Legacy	HVMファームウェアバージョン 58-60/78-60以前																															
	Legacy/PCIe Error Isolation	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以降																															
PCI Error Isolation	Disable	HVMファームウェアバージョン 58-70/78-70以前																															
	Disable/Enable	HVMファームウェアバージョン 58-80/78-80以降																															
上記以外	Default	-																															

No.	画面	操作	チェック
4		<p>・「確認」ボタンをクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
5		<p>■HVMの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「HVM設定」タブをクリックします。 ・「HVMモード」を選択します。 ・起動する面番号を選択します。 ・「設定変更」ボタンをクリックします。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>・「確認」ボタンをクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
7	<p>コンソールの切替: リモートコンソール</p>	<p>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。 BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。</p>	<input type="checkbox"/>

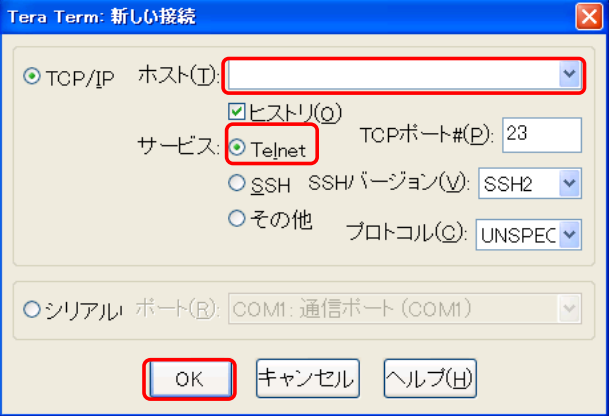
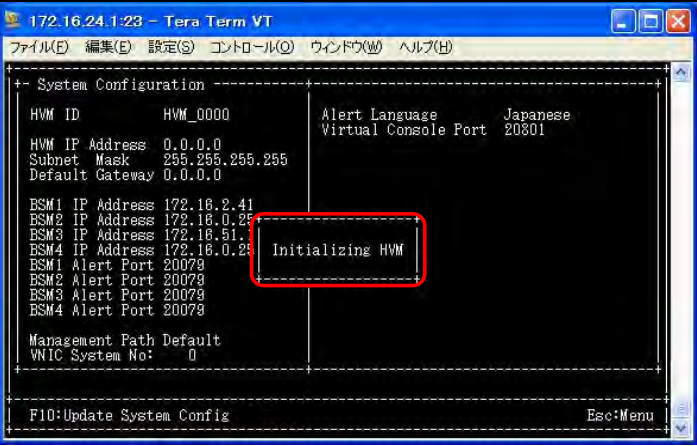
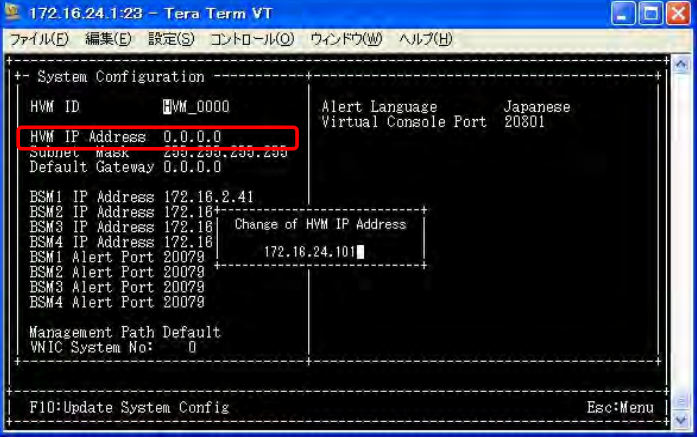
No.	画面	操作	チェック
8		<p>■リモートコンソールに接続</p> <p>・「リモートコンソール起動」ボタンをクリックします。</p>	□
9		<p>・「はい」ボタンをクリックします。</p> <p>※左記画面が出力されない場合があります。この場合は手順10に進んでください。</p>	□
10		<p>・「実行」ボタンをクリックします。</p> <p>※左記画面が出力されない場合があります。この場合は手順11に進んでください。</p>	□
11		<p>・「実行」ボタンをクリックします。</p> <p>※左記画面が出力されない場合があります。この場合は手順12に進んでください。</p>	□

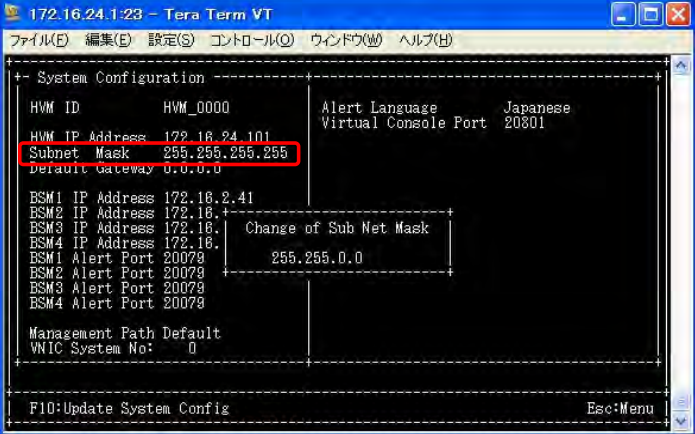
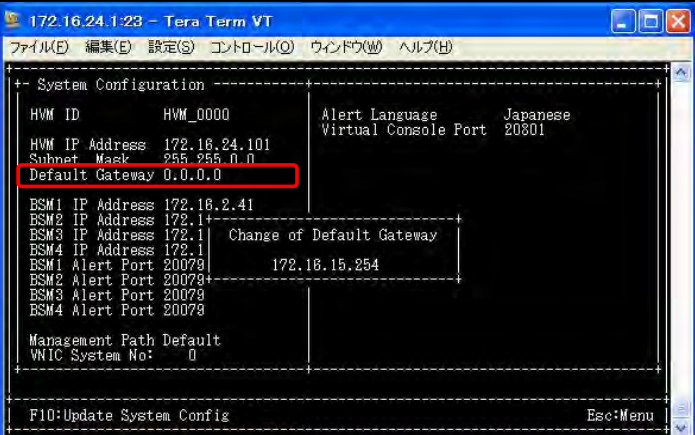
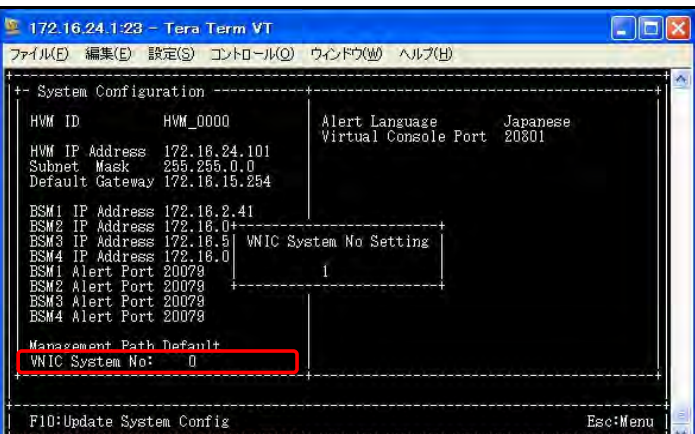
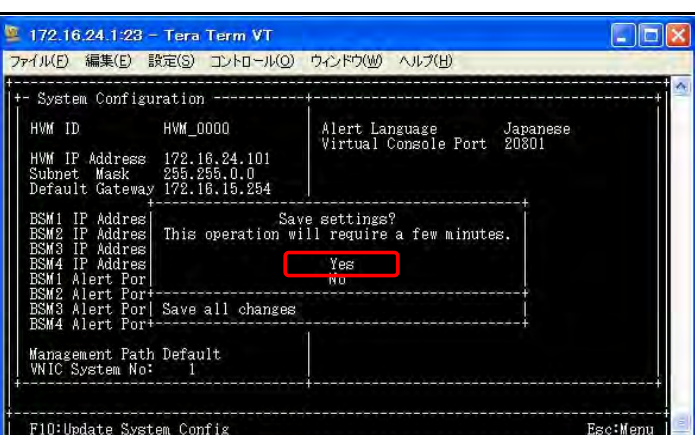
No.	画面	操作	チェック
12		<ul style="list-style-type: none"> ・「ユーザID」、「パスワード」を入力します。 ・「接続」ボタンをクリックします。 	□
13		<p>■電源の投入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバブレード Webコンソールの「電源およびLED」タブをクリックします。 ・「電源ON」ボタンをクリックします。 	□
14		<ul style="list-style-type: none"> ・「確認」ボタンをクリックします。 	□
15		<ul style="list-style-type: none"> ・リモートコンソールで左記画面が出力した時に、「DEL」キーもしくは「F2」キーを押します。 	□

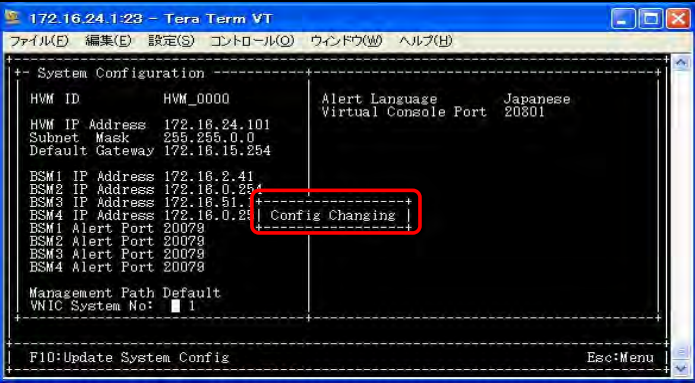
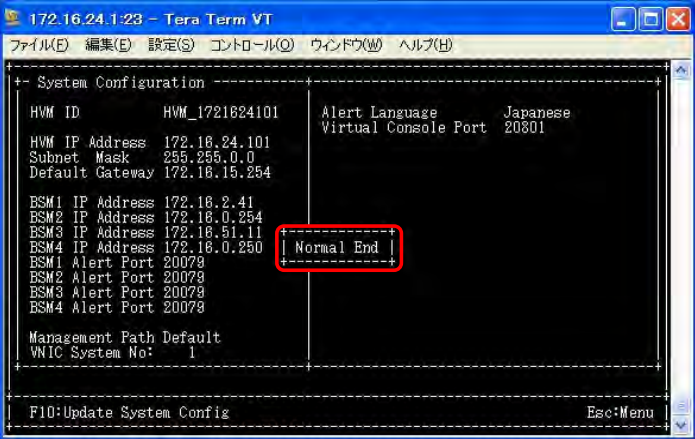
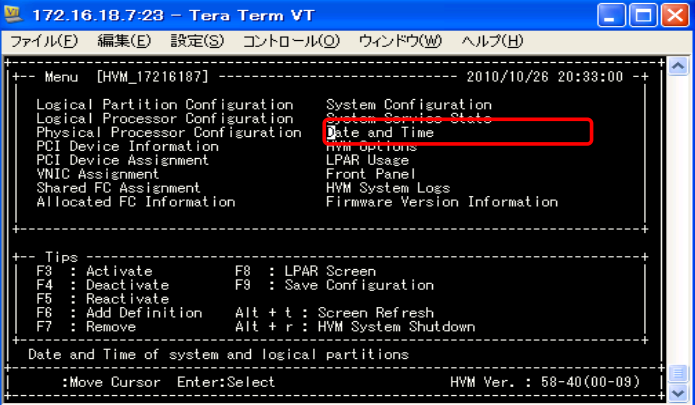
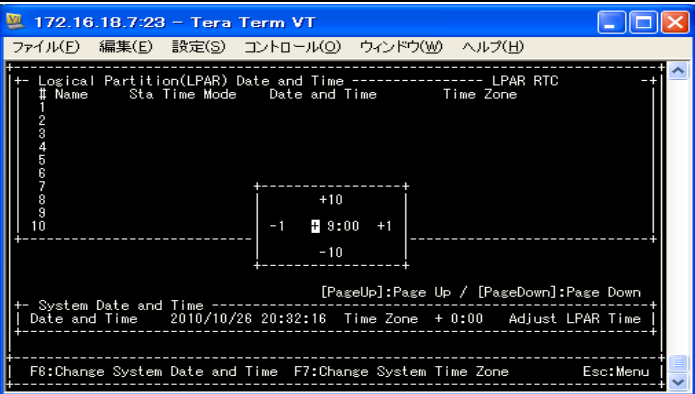
No.	画面	操作	チェック
16		<ul style="list-style-type: none">•[Chipset]タブを選択します。•[North Bridge]-[Tylersburg IOH Configuration]-[Intel® VT for Directed I/O Configuration]-[Intel® VT-d]の設定値[Enabled]を選択します。	<input type="checkbox"/>
17		<ul style="list-style-type: none">•[Save & Exit]タブを選択します。•[Save Changes and Exit]を選択します。•[Yes]を選択します。	<input type="checkbox"/>

2. 3 HVMの設定に進みます。

2.3 HVMの設定

No.	画面	操作	チェック
1	HVMコンソールの接続	※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。 BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。	<input type="checkbox"/>
2		■Tera Termへの接続 ・Tera Termを起動しBMCのIPアドレスを入力します。 ・Telnet接続を選択します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ・ユーザID、パスワードを入力します。	<input type="checkbox"/>
3		■HVMの設定 ・[Alt] + [t]を入力します。 ※Bladeの電源をONにしてから、約7分でSystem Configurationが表示されます。また、「Initializing HVM」の表示が消えるまで、約3分かかります。	<input type="checkbox"/>
4		・「HVM IP Address」を選択します。 ・「HVM IP Address」を入力します。	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
5		<ul style="list-style-type: none"> 「Subnet Mask」を選択します。 「Subnet Mask」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
6		<ul style="list-style-type: none"> 「Default Gateway」を選択します。 「Default Gateway」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
7		<ul style="list-style-type: none"> 「VNIC System No」を選択します。 「VNIC System No」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ■システム構成情報の更新 ・[F10]キーを押します。 ・[Yes]を選択します。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
9		※「Config Changing」が消えるまで、約3分かかります。	<input type="checkbox"/>
10		※システム構成情報が更新されます。	<input type="checkbox"/>
11		■TimeZoneの設定 ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Date and Time」を選択します。	<input type="checkbox"/>
12		・[F7](Change System Time Zone) を押します。 ・矢印キー ([↑], [↓], [←], [→]) を押し、システムタイムゾーンを+9:00にします。	<input type="checkbox"/>

2. 4 LPARの構築に進みます。

JP1/SC/BSMを使用する場合 2. 4. 1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合) に進みます。

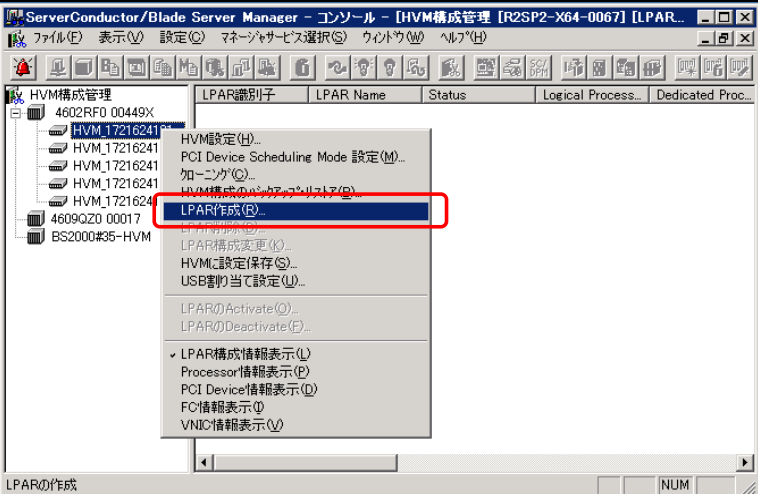
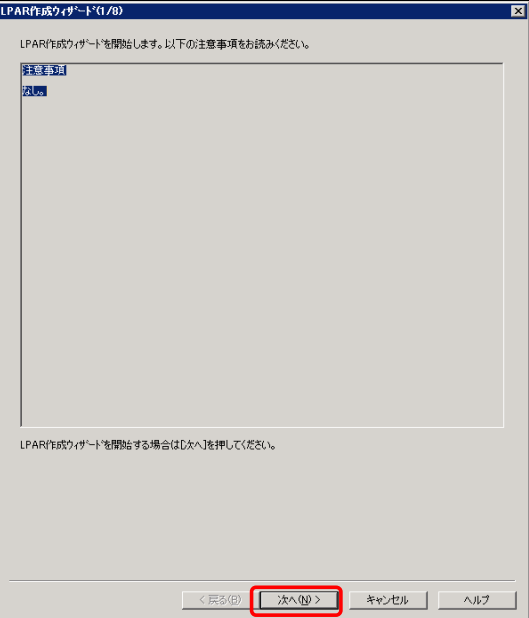
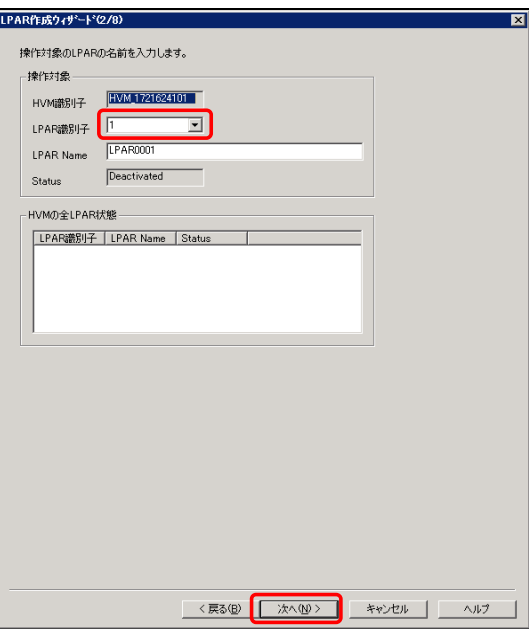
HVM Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合 2. 4. 2 LPARの構築(HVM Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合) に進みます。

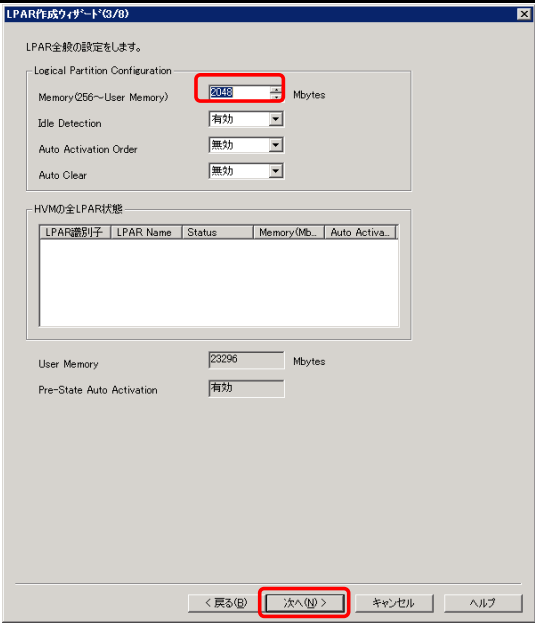
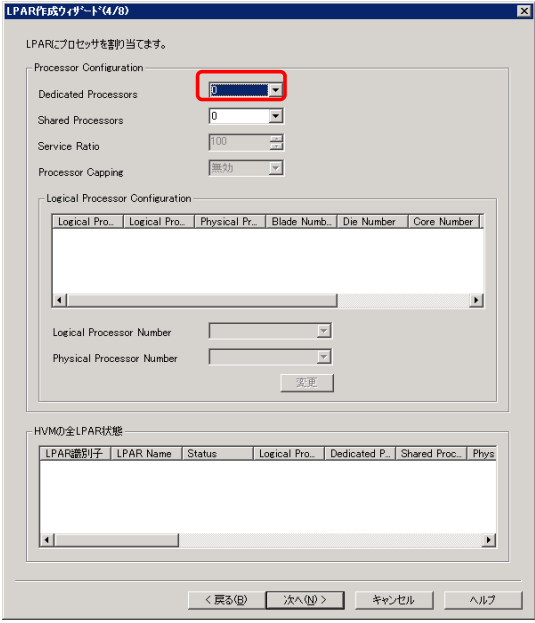
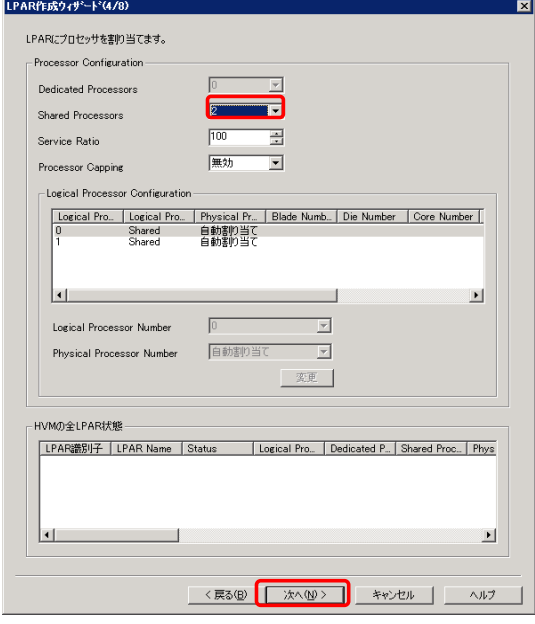
HVM Ver(58-40～58-84)、(78-40～78-84)を使用する場合 2. 4. 3 LPARの構築(HVM Ver(58-40～58-84)、(78-40～78-84)を使用する場合) に進みます。

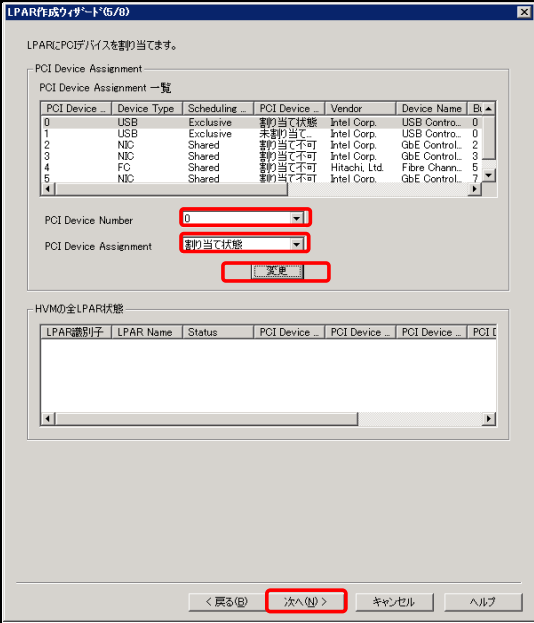
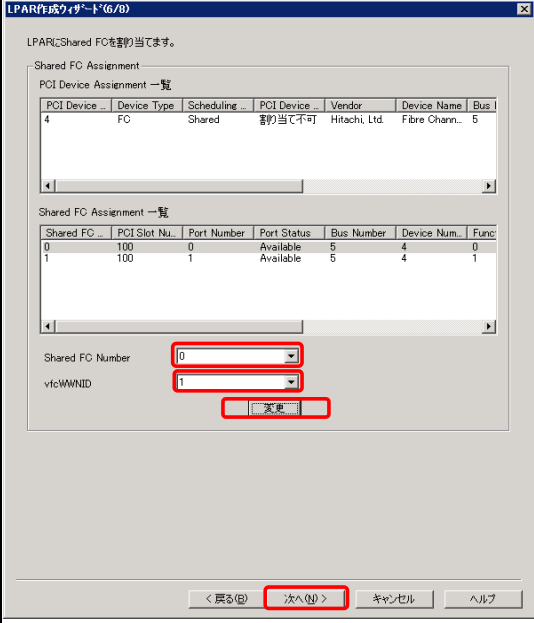
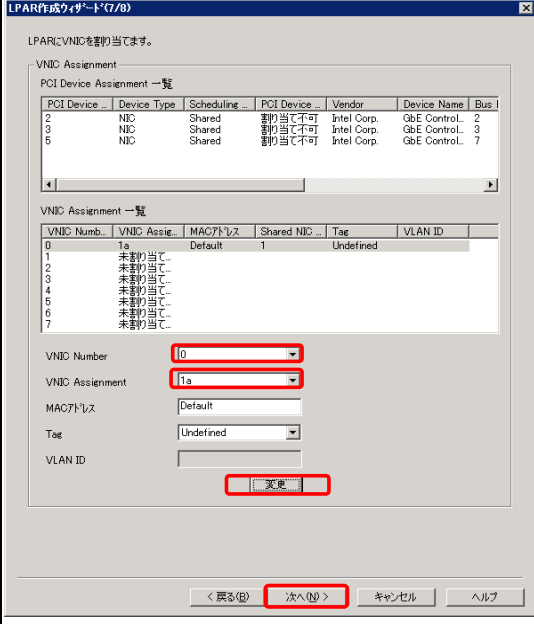
HVM Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合 2. 4. 4 LPARの構築(HVM Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合) に進みます。

2. 4 LPARの構築

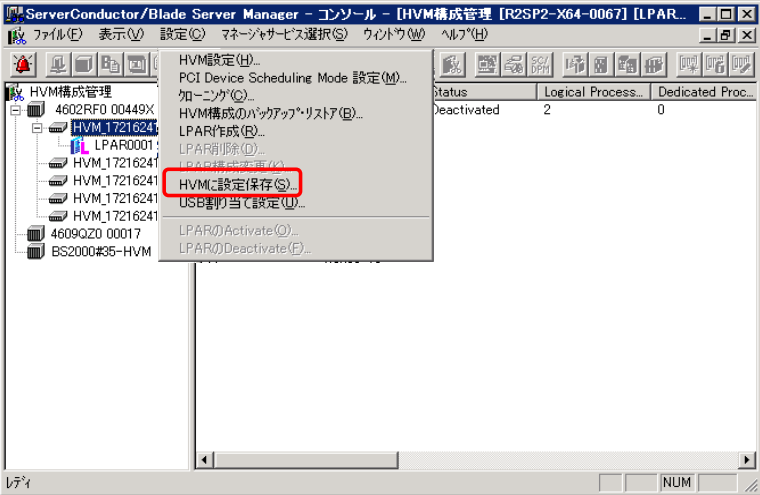
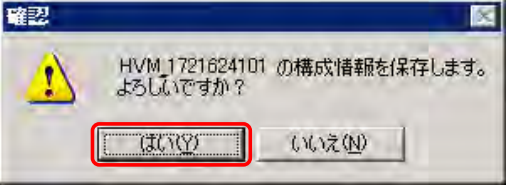
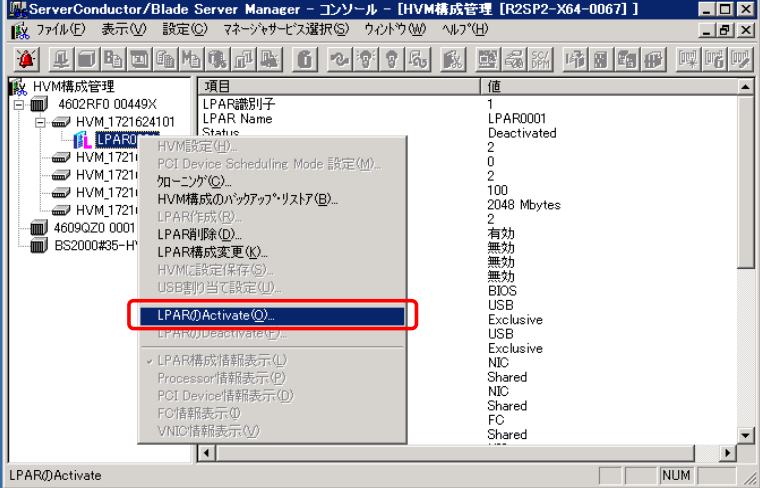
2. 4. 1 LPARの構築(JP1/SC/BSMを使用する場合)

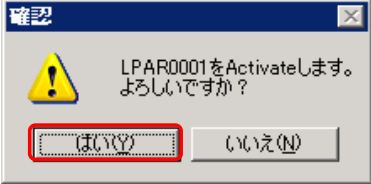
No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HVM構成管理でLPARを作成するHVM IDをクリックします。 ・マウスで右クリックし「LPAR作成(R)」をクリックします。 	□
2		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
3		<ul style="list-style-type: none"> ・LPAR識別子を選択します。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
4		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 任意のメモリサイズを選択します。 [次へ(N)]をクリックします。 	□
5		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 占有プロセッサが「0」であることを確認します。 	□
6		<ul style="list-style-type: none"> 共有プロセッサで、任意のプロセッサ数を選択します。 [次へ(N)]をクリックします。 	□

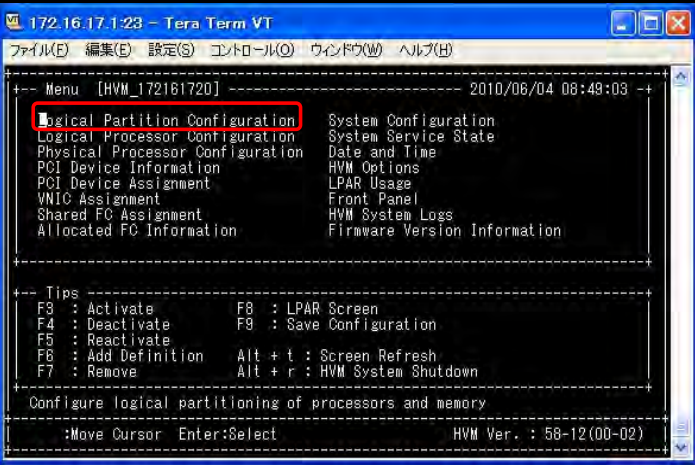
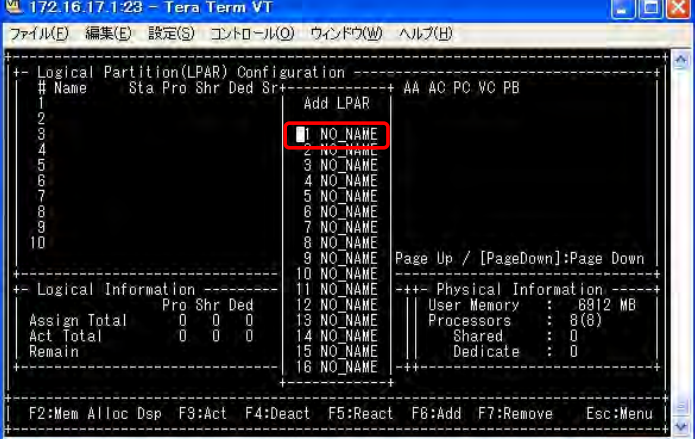
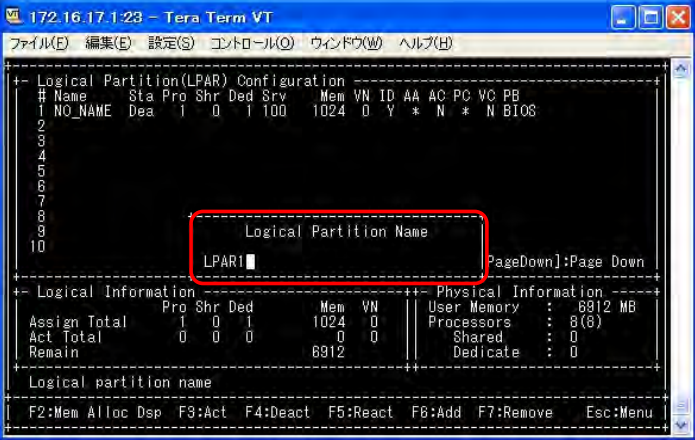
No.	画面	操作	チェック
7		<p>■ PCIデバイスの割り当て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「0」を選択します。 ・「割り当て状態」を選択します。 ・[変更]をクリックします。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
8		<p>■ 共有FCポートの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意のポートを選択します。 ・任意のIDを選択します。 ・[変更]をクリックします。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□
9		<p>■ 共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意のVNIC Numberを選択します。 ・任意の割り当て先を選択します。 ・[変更]をクリックします。 ・[次へ(N)]をクリックします。 	□

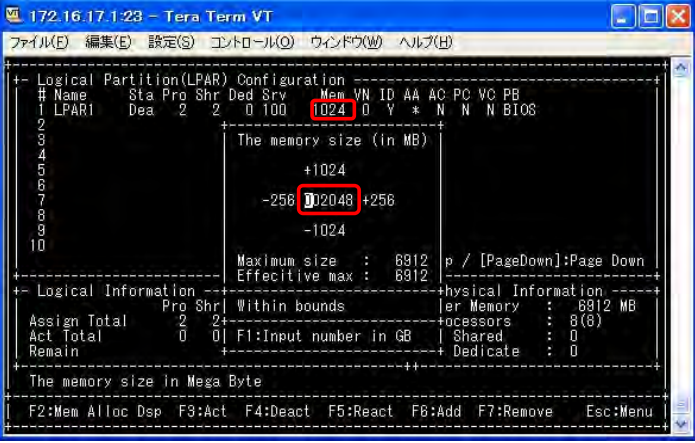
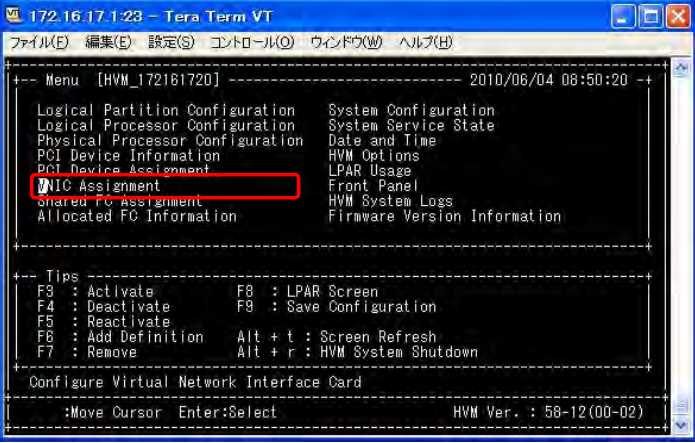
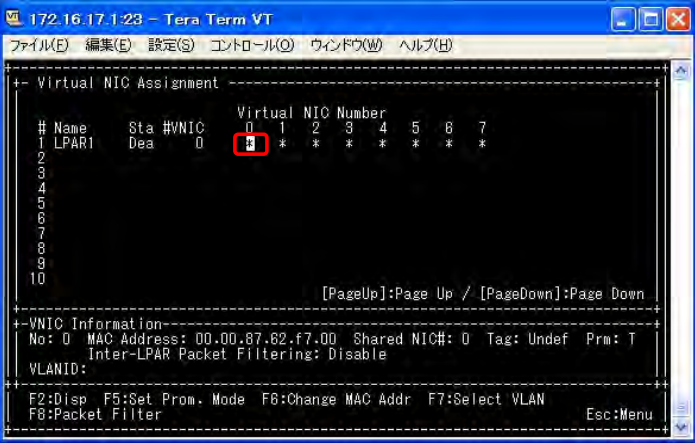
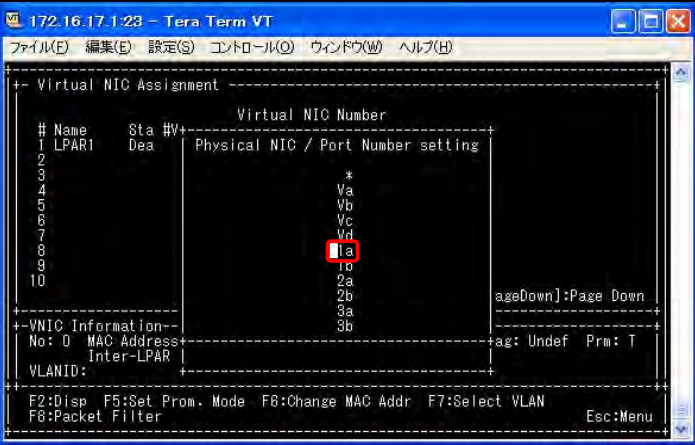
No.	画面	操作	チェック																																																																
10	<div><div>LPAR作成ウィザード⑧/⑧</div><div>以下の構成でLPARを作成します。</div><div>LPAR構成</div><table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>LPAR識別子</td><td>1</td></tr><tr><td>LPAR Name</td><td>LPAR0001</td></tr><tr><td>Status</td><td>Deactivated</td></tr><tr><td>Memory</td><td>2048 Mbytes</td></tr><tr><td>Idle Detection</td><td>有効</td></tr><tr><td>Auto Activation Order</td><td>無効</td></tr><tr><td>Auto Clear</td><td>無効</td></tr><tr><td>Dedicated Processors</td><td>0</td></tr><tr><td>Shared Processors</td><td>2</td></tr><tr><td>Service Ratio</td><td>100</td></tr><tr><td>Processor Capping</td><td>無効</td></tr><tr><td>PCD Type</td><td>USB</td></tr><tr><td>PCD Scheduling Mode</td><td>Exclusive</td></tr><tr><td>PCD1 Type</td><td>USB</td></tr><tr><td>PCD1 Scheduling Mode</td><td>Exclusive</td></tr><tr><td>PCD2 Type</td><td>NIC</td></tr><tr><td>PCD2 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>PCD3 Type</td><td>NIC</td></tr><tr><td>PCD3 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>PCD4 Type</td><td>FC</td></tr><tr><td>PCD4 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>PCD5 Type</td><td>NIC</td></tr><tr><td>PCD5 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>SFC0 Slot Number</td><td>100</td></tr><tr><td>SFC0 Port Number</td><td>0</td></tr><tr><td>SFC0 Port Status</td><td>Available</td></tr><tr><td>SFC0 Bus Number</td><td>5</td></tr><tr><td>SFC0 Device Number</td><td>4</td></tr><tr><td>SFC0 Function Number</td><td>0</td></tr><tr><td>SFC0 vfcWWNID</td><td>1</td></tr><tr><td>SFC0 WWPNN</td><td>2348000087000310</td></tr></tbody></table><div>LPARを作成する場合は[完了]を押してください。</div><div><div>< 戻る(B)</div><div>完了</div><div>キャンセル</div><div>ヘルプ</div></div></div> <td><div>・[完了]をクリックします。</div></td> <td><div></div></td>	項目	値	LPAR識別子	1	LPAR Name	LPAR0001	Status	Deactivated	Memory	2048 Mbytes	Idle Detection	有効	Auto Activation Order	無効	Auto Clear	無効	Dedicated Processors	0	Shared Processors	2	Service Ratio	100	Processor Capping	無効	PCD Type	USB	PCD Scheduling Mode	Exclusive	PCD1 Type	USB	PCD1 Scheduling Mode	Exclusive	PCD2 Type	NIC	PCD2 Scheduling Mode	Shared	PCD3 Type	NIC	PCD3 Scheduling Mode	Shared	PCD4 Type	FC	PCD4 Scheduling Mode	Shared	PCD5 Type	NIC	PCD5 Scheduling Mode	Shared	SFC0 Slot Number	100	SFC0 Port Number	0	SFC0 Port Status	Available	SFC0 Bus Number	5	SFC0 Device Number	4	SFC0 Function Number	0	SFC0 vfcWWNID	1	SFC0 WWPNN	2348000087000310	<div>・[完了]をクリックします。</div>	<div></div>
項目	値																																																																		
LPAR識別子	1																																																																		
LPAR Name	LPAR0001																																																																		
Status	Deactivated																																																																		
Memory	2048 Mbytes																																																																		
Idle Detection	有効																																																																		
Auto Activation Order	無効																																																																		
Auto Clear	無効																																																																		
Dedicated Processors	0																																																																		
Shared Processors	2																																																																		
Service Ratio	100																																																																		
Processor Capping	無効																																																																		
PCD Type	USB																																																																		
PCD Scheduling Mode	Exclusive																																																																		
PCD1 Type	USB																																																																		
PCD1 Scheduling Mode	Exclusive																																																																		
PCD2 Type	NIC																																																																		
PCD2 Scheduling Mode	Shared																																																																		
PCD3 Type	NIC																																																																		
PCD3 Scheduling Mode	Shared																																																																		
PCD4 Type	FC																																																																		
PCD4 Scheduling Mode	Shared																																																																		
PCD5 Type	NIC																																																																		
PCD5 Scheduling Mode	Shared																																																																		
SFC0 Slot Number	100																																																																		
SFC0 Port Number	0																																																																		
SFC0 Port Status	Available																																																																		
SFC0 Bus Number	5																																																																		
SFC0 Device Number	4																																																																		
SFC0 Function Number	0																																																																		
SFC0 vfcWWNID	1																																																																		
SFC0 WWPNN	2348000087000310																																																																		
11	<div><div>LPAR作成ウィザード⑧/⑧</div><div>以下の構成でLPARを作成します。</div><div>LPAR構成</div><table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>LPAR識別子</td><td>1</td></tr><tr><td>LPAR Name</td><td>LPAR0001</td></tr><tr><td>Status</td><td>Deactivated</td></tr><tr><td>Memory</td><td>2048 Mbytes</td></tr><tr><td>Idle Detection</td><td>有効</td></tr><tr><td>Auto Activation Order</td><td>無効</td></tr><tr><td>Auto Clear</td><td>無効</td></tr><tr><td>Dedicated Processors</td><td>0</td></tr><tr><td>Shared Processors</td><td>2</td></tr><tr><td>Service Ratio</td><td>100</td></tr><tr><td>Processor Capping</td><td>無効</td></tr><tr><td>PCD Type</td><td>USB</td></tr><tr><td>PCD Scheduling Mode</td><td>Exclusive</td></tr><tr><td>PCD1 Type</td><td>USB</td></tr><tr><td>PCD1 Scheduling Mode</td><td>Exclusive</td></tr><tr><td>PCD2 Type</td><td>NIC</td></tr><tr><td>PCD2 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>PCD3 Type</td><td>NIC</td></tr><tr><td>PCD3 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>PCD4 Type</td><td>FC</td></tr><tr><td>PCD4 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>PCD5 Type</td><td>NIC</td></tr><tr><td>PCD5 Scheduling Mode</td><td>Shared</td></tr><tr><td>SFC0 Slot Number</td><td>100</td></tr><tr><td>SFC0 Port Number</td><td>0</td></tr><tr><td>SFC0 Port Status</td><td>Available</td></tr><tr><td>SFC0 Bus Number</td><td>5</td></tr><tr><td>SFC0 Device Number</td><td>4</td></tr><tr><td>SFC0 Function Number</td><td>0</td></tr><tr><td>SFC0 vfcWWNID</td><td>1</td></tr><tr><td>SFC0 WWPNN</td><td>2348000087000310</td></tr></tbody></table><div>LPARを作成する場合は[完了]を押してください。</div><div><div>< 戻る(B)</div><div>完了</div><div>キャンセル</div><div>ヘルプ</div></div></div> <div><div>作成したLPARは、ニューの[設定]→[HVM]に設定[保存]を実行するまで保存されません。設定を保存しない場合、ハードウェア電源OFF時に設定が失われます。</div><div>OK</div></div>	項目	値	LPAR識別子	1	LPAR Name	LPAR0001	Status	Deactivated	Memory	2048 Mbytes	Idle Detection	有効	Auto Activation Order	無効	Auto Clear	無効	Dedicated Processors	0	Shared Processors	2	Service Ratio	100	Processor Capping	無効	PCD Type	USB	PCD Scheduling Mode	Exclusive	PCD1 Type	USB	PCD1 Scheduling Mode	Exclusive	PCD2 Type	NIC	PCD2 Scheduling Mode	Shared	PCD3 Type	NIC	PCD3 Scheduling Mode	Shared	PCD4 Type	FC	PCD4 Scheduling Mode	Shared	PCD5 Type	NIC	PCD5 Scheduling Mode	Shared	SFC0 Slot Number	100	SFC0 Port Number	0	SFC0 Port Status	Available	SFC0 Bus Number	5	SFC0 Device Number	4	SFC0 Function Number	0	SFC0 vfcWWNID	1	SFC0 WWPNN	2348000087000310	<div>・[OK]をクリックします。</div>	<div></div>
項目	値																																																																		
LPAR識別子	1																																																																		
LPAR Name	LPAR0001																																																																		
Status	Deactivated																																																																		
Memory	2048 Mbytes																																																																		
Idle Detection	有効																																																																		
Auto Activation Order	無効																																																																		
Auto Clear	無効																																																																		
Dedicated Processors	0																																																																		
Shared Processors	2																																																																		
Service Ratio	100																																																																		
Processor Capping	無効																																																																		
PCD Type	USB																																																																		
PCD Scheduling Mode	Exclusive																																																																		
PCD1 Type	USB																																																																		
PCD1 Scheduling Mode	Exclusive																																																																		
PCD2 Type	NIC																																																																		
PCD2 Scheduling Mode	Shared																																																																		
PCD3 Type	NIC																																																																		
PCD3 Scheduling Mode	Shared																																																																		
PCD4 Type	FC																																																																		
PCD4 Scheduling Mode	Shared																																																																		
PCD5 Type	NIC																																																																		
PCD5 Scheduling Mode	Shared																																																																		
SFC0 Slot Number	100																																																																		
SFC0 Port Number	0																																																																		
SFC0 Port Status	Available																																																																		
SFC0 Bus Number	5																																																																		
SFC0 Device Number	4																																																																		
SFC0 Function Number	0																																																																		
SFC0 vfcWWNID	1																																																																		
SFC0 WWPNN	2348000087000310																																																																		
12	<div><div>ServerConductor/Blade Server Manager - コンソール - [HVM構成管理 [R2SP2-X64-0067] [LPAR...</div><div>ファイル(F) 表示(V) 設定(O) マネージャサービス選択(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)</div><div>HVM構成管理</div><div><div>4602RF0 00449X</div><div><div>HVM_1721624101</div><div>LPAR0001</div><div>HVM_1721624102</div><div>HVM_1721624108</div><div>HVM_1721624109</div><div>HVM_1721624110</div><div>4609QZ0 00017</div><div>BS2000#35-HVM</div></div></div><div><table><thead><tr><th>LPAR識別子</th><th>LPAR Name</th><th>Status</th><th>Logical Process...</th><th>Dedicated Proc...</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>LPAR0001</td><td>Deactivated</td><td>2</td><td>0</td></tr></tbody></table></div><div>NUM</div></div> <td><div>・LPARが作成されます。</div></td> <td><div></div></td>	LPAR識別子	LPAR Name	Status	Logical Process...	Dedicated Proc...	1	LPAR0001	Deactivated	2	0	<div>・LPARが作成されます。</div>	<div></div>																																																						
LPAR識別子	LPAR Name	Status	Logical Process...	Dedicated Proc...																																																															
1	LPAR0001	Deactivated	2	0																																																															

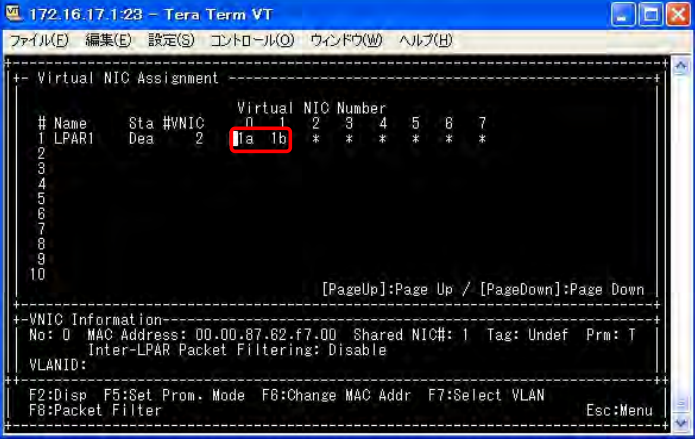
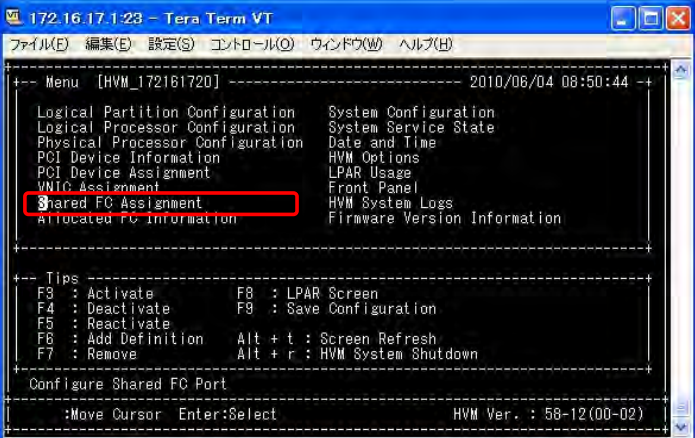
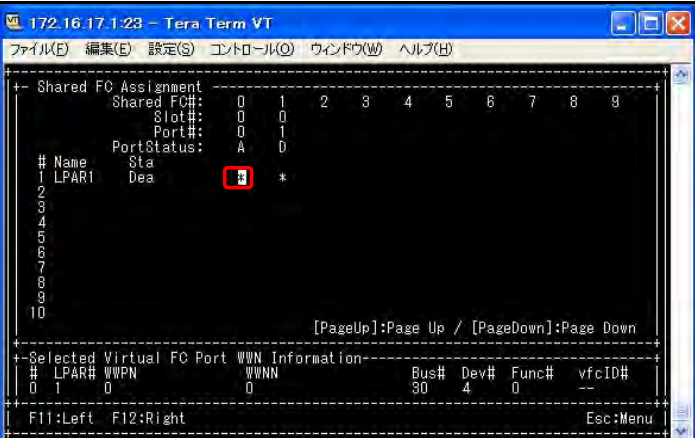
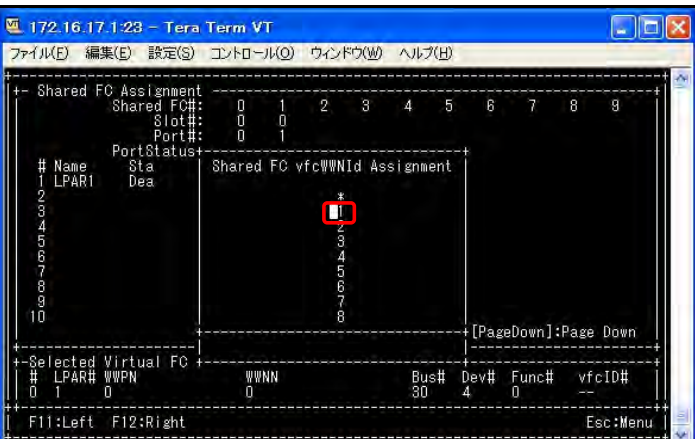
No.	画面	操作	チェック
13		<p>■構成定義の保存</p> <p>・「HVMに設定保存(S)」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
14		<p>・「はい(Y)」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>
15		<p>■LPARの起動</p> <p>・「LPARのActivate(O)」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>

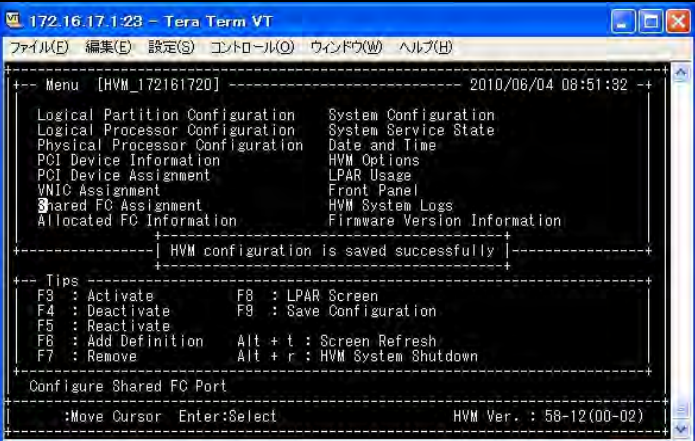
No.	画面	操作	チェック
16		・[はい(Y)]をクリックします。	□
2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール に進みます。			

2. 4. 2 LPARの構築(HVM_Ver(58-22)以前、(78-22)以前を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
2		<ul style="list-style-type: none"> 「F6」キーを押します。 作成するLPAR番号を選択します。 	<input type="checkbox"/>
3		<p>■LPAR名称の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Name」列を選択します。 「LPAR名称」を入力します。 <p>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。</p>	<input type="checkbox"/>
4		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Shr」列を選択します。 任意のプロセッサ数を入力します。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
5		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mem」列を選択します。 ・任意のメモリサイズを選択します。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>■共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「VNIC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
7		<ul style="list-style-type: none"> ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ・任意の割り当て先を選択します。 	<input type="checkbox"/>

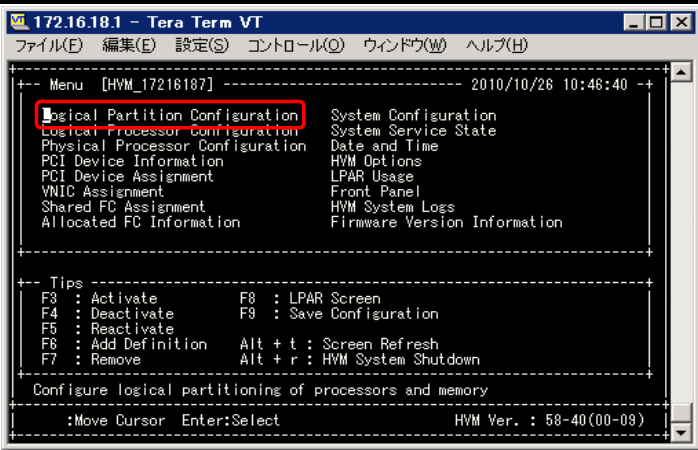
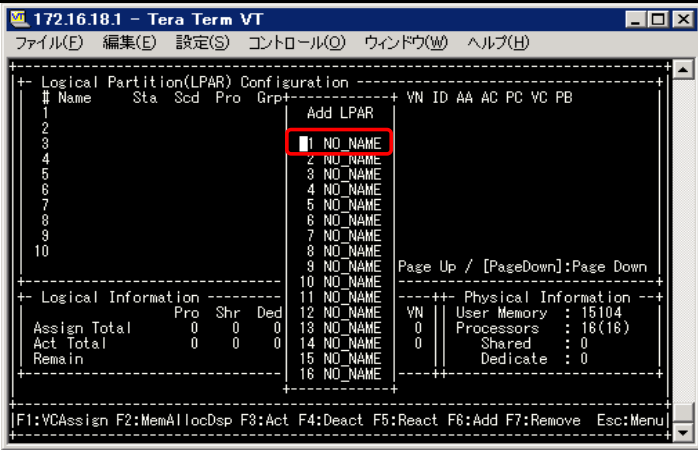
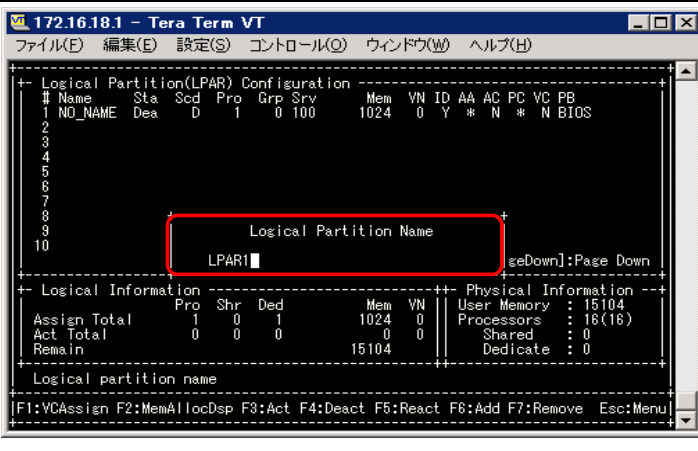
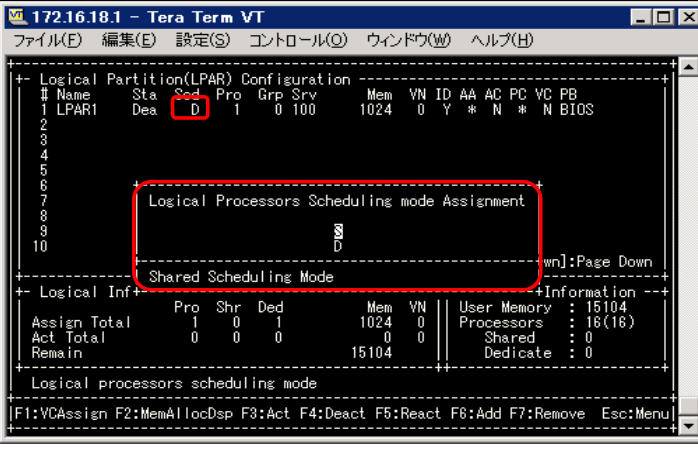
No.	画面	操作	チェック
9		※共有NICが設定されます。	<input type="checkbox"/>
10		■共有FCポートの設定 ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Shared FC Assignment」を選択します。	<input type="checkbox"/>
11		・「Shared FC」の「*」を選択します。	<input type="checkbox"/>
12		・任意の割り当て先を選択します。	<input type="checkbox"/>

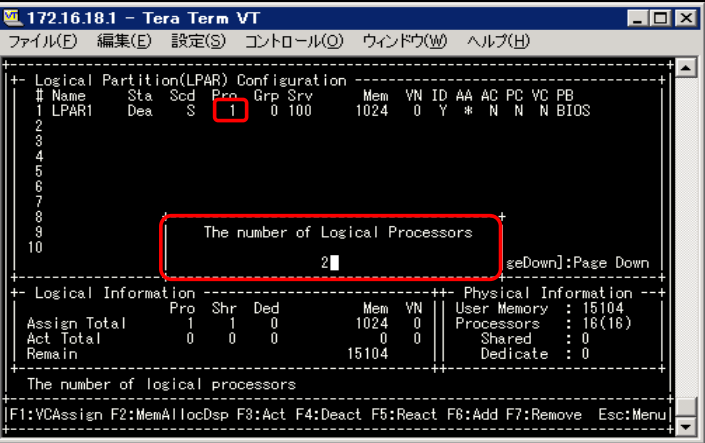
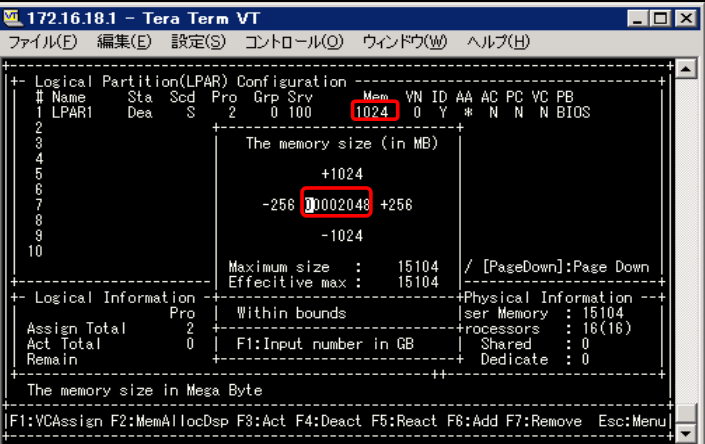
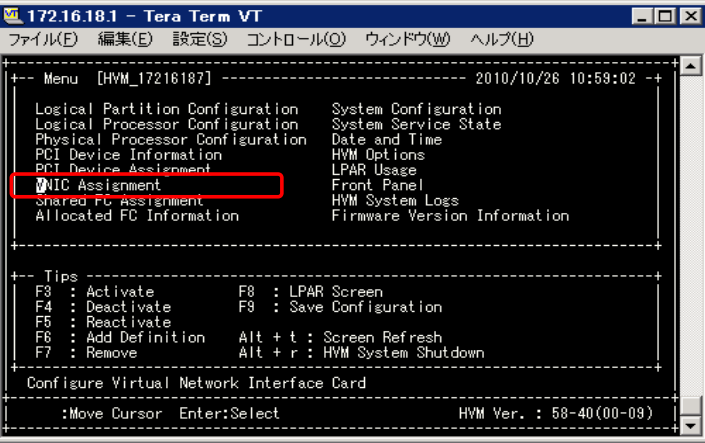
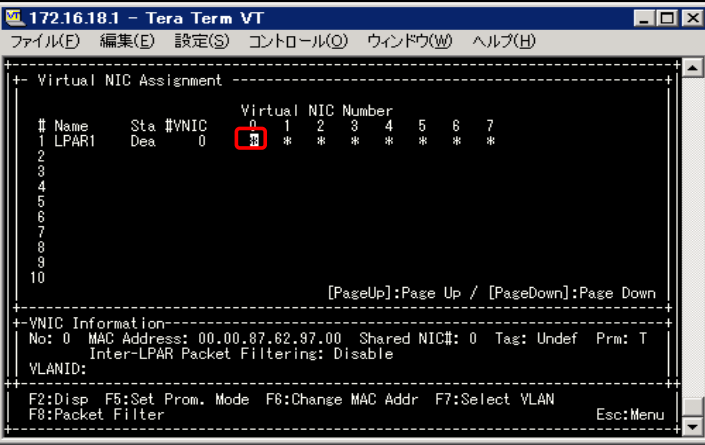
No.	画面	操作	チェック
13		※共有FCポートが設定されます。	<input type="checkbox"/>
14		<p>■HVM構成情報の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。 <p>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。</p>	<input type="checkbox"/>
15		※HVM構成情報が保存されます。	<input type="checkbox"/>
16		<ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

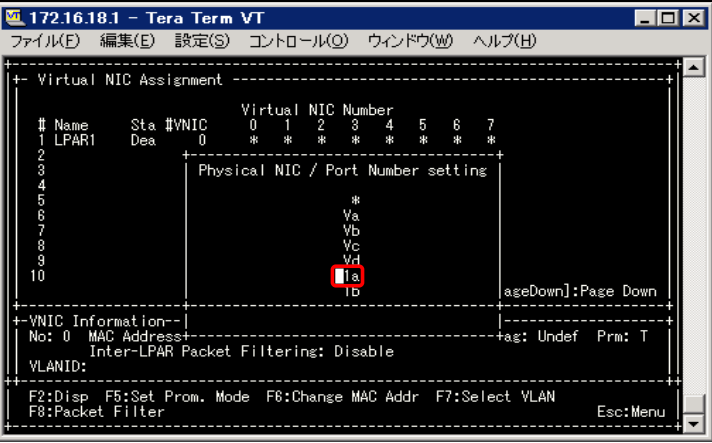
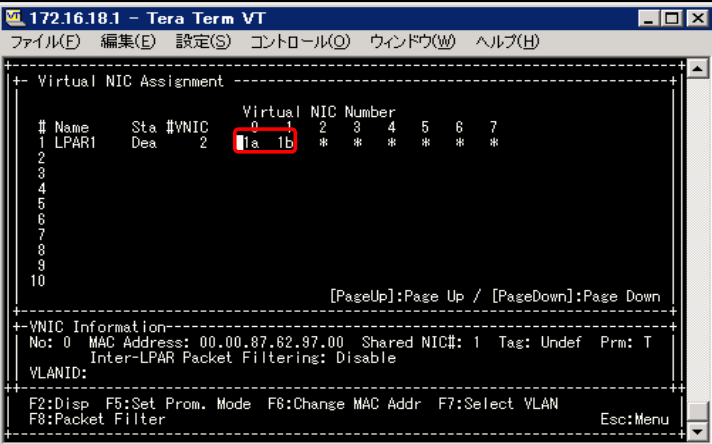
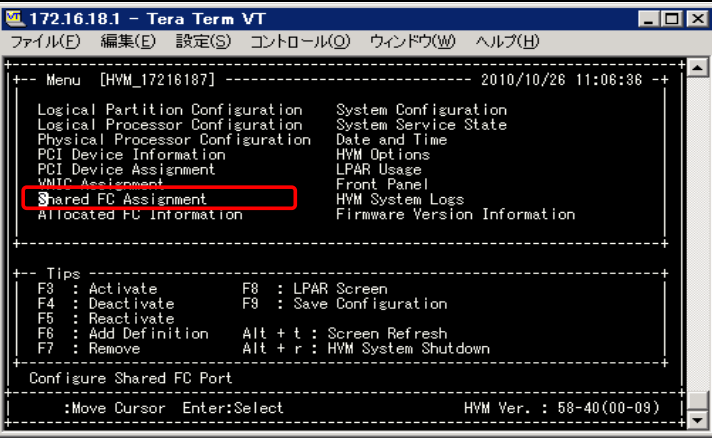
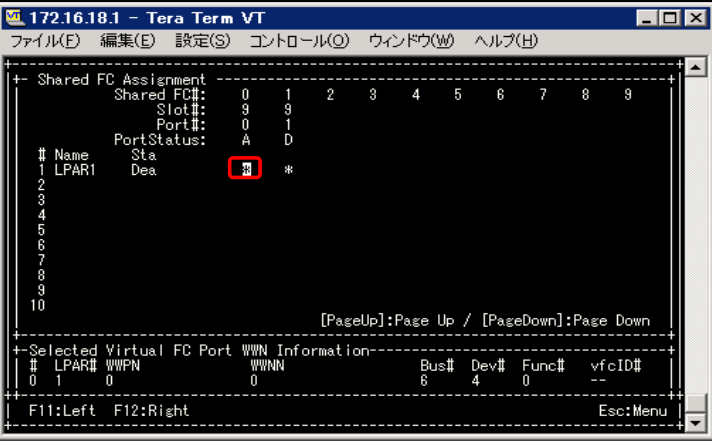
No.	画面	操作	チェック
17		<p>■ LPARの起動</p> <p>・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。</p>	<input type="checkbox"/>
18		<p>・「Continue」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>

2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール に進みます。

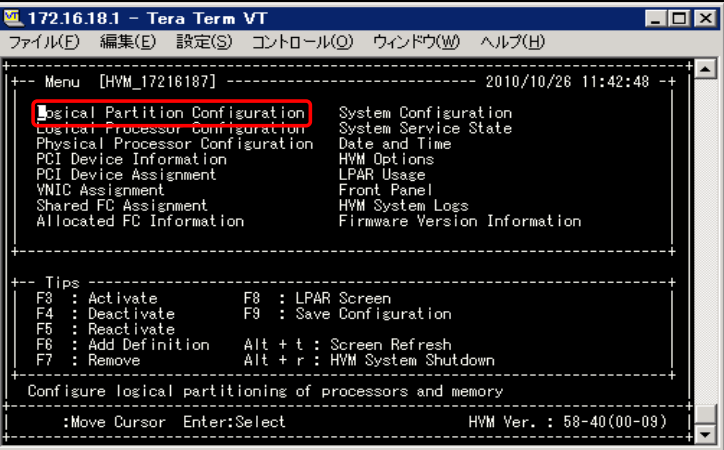
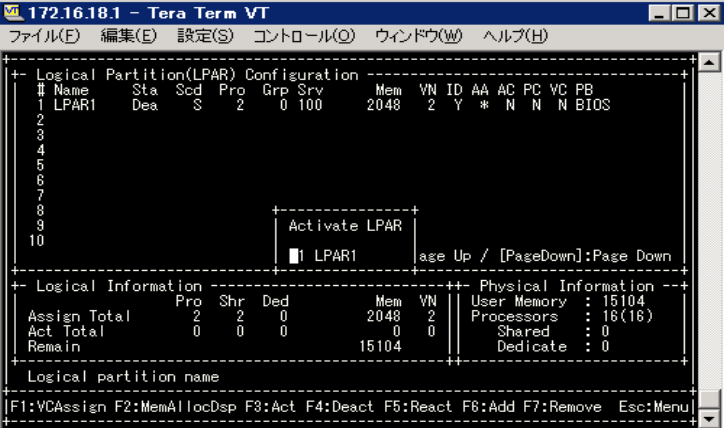
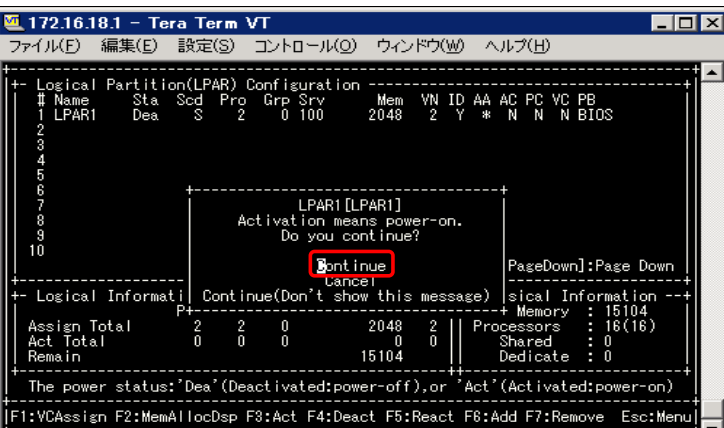
2. 4. 3 LPARの構築(HVM_Ver(58-40-58-84)、(78-40-78-84)を使用する場合)

No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	□
2		<ul style="list-style-type: none"> ・「F6」キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択します。 	□
3		<p>■LPAR名称の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Name」列を選択します。 ・「LPAR名称」を入力します。 <p>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。</p>	□
4		<p>■スケジューリングモードの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Scd」列を選択します。 ・任意のスケジューリングモードを選択します。 	□

No.	画面	操作	チェック
5		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Pro」列を選択します。 ・任意のプロセッサ数を選択します。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mem」列を選択します。 ・任意のメモリサイズを選択します。 	<input type="checkbox"/>
7		<p>■共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「VNIC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

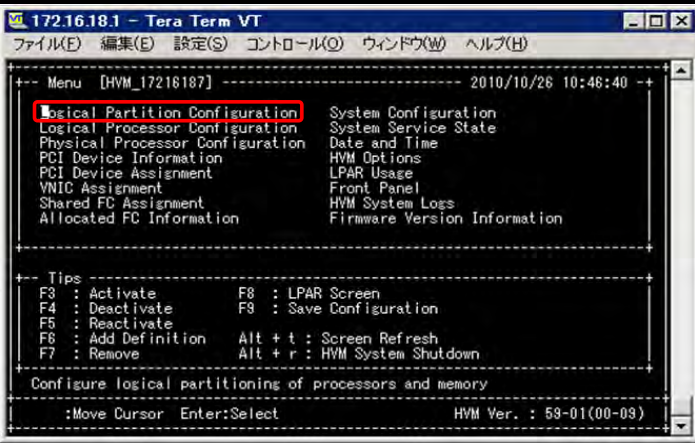
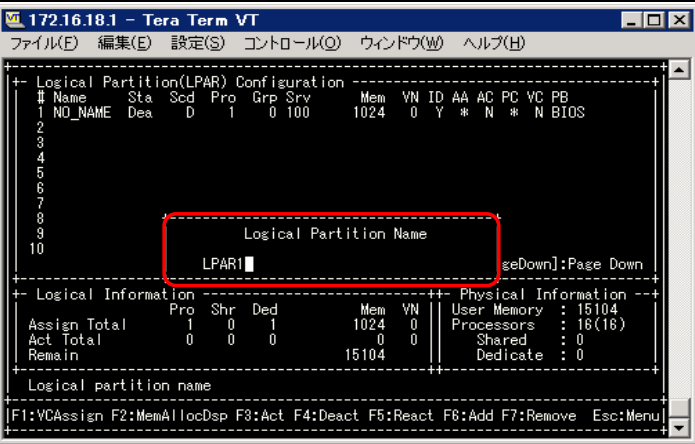
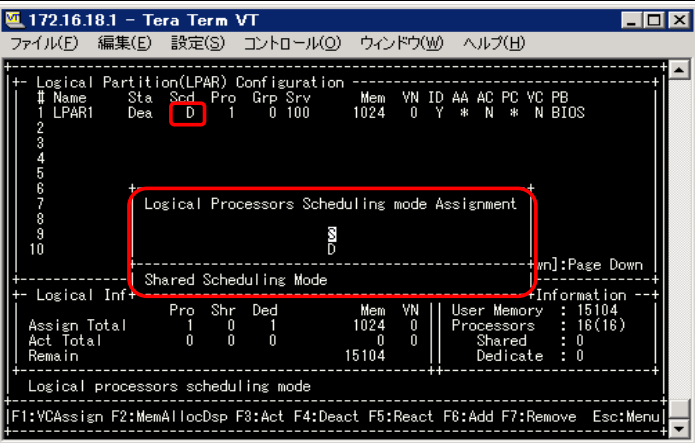
No.	画面	操作	チェック
9		<p>・任意の割り当て先を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
10		<p>※共有NICが設定されます。</p>	<input type="checkbox"/>
11		<p>■共有FCポートの設定</p> <p>・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。</p> <p>・「Shared FC Assignment」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
12		<p>・「Shared FC」の「*」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>

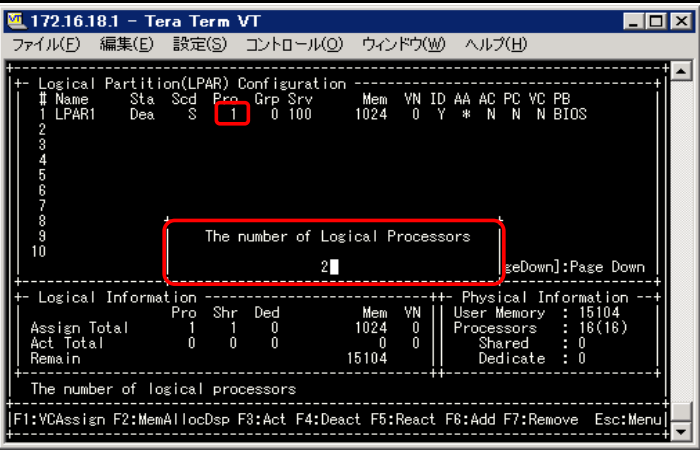
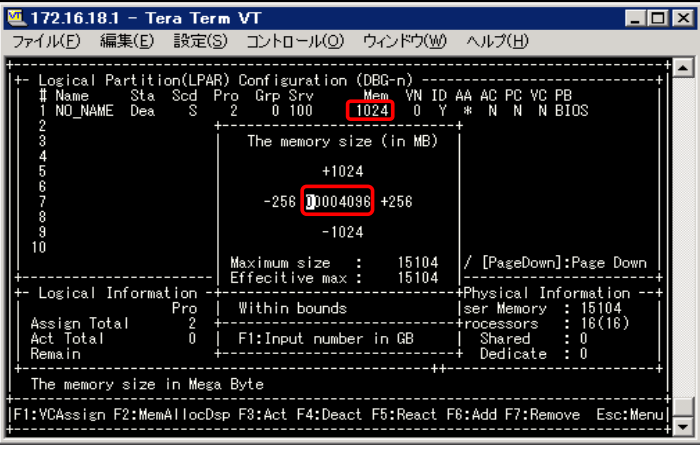
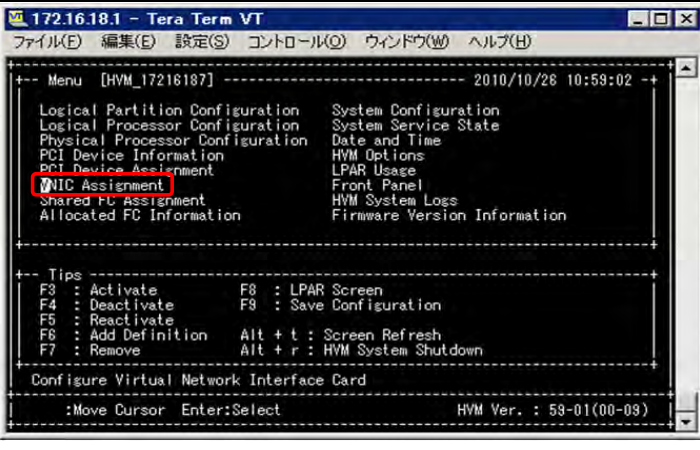
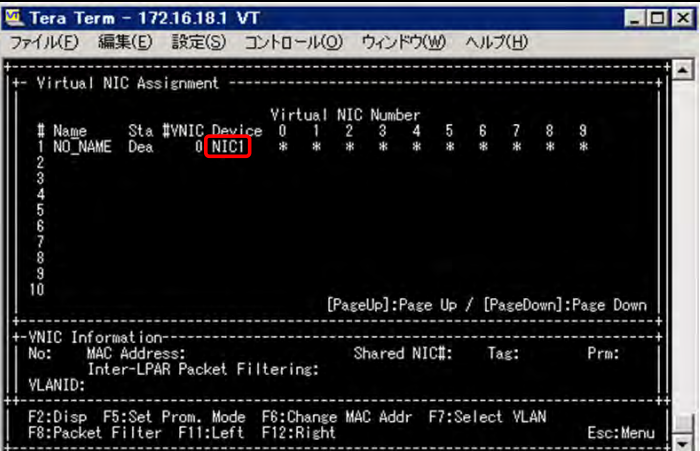
No.	画面	操作	チェック
13		<p>・任意の割り当て先を選択します。</p>	□
14		<p>※共有FCポートが設定されます。</p>	□
15		<p>■HVM構成情報の保存 ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。</p> <p>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。</p>	□
16		<p>※HVM構成情報が保存されます。</p>	□

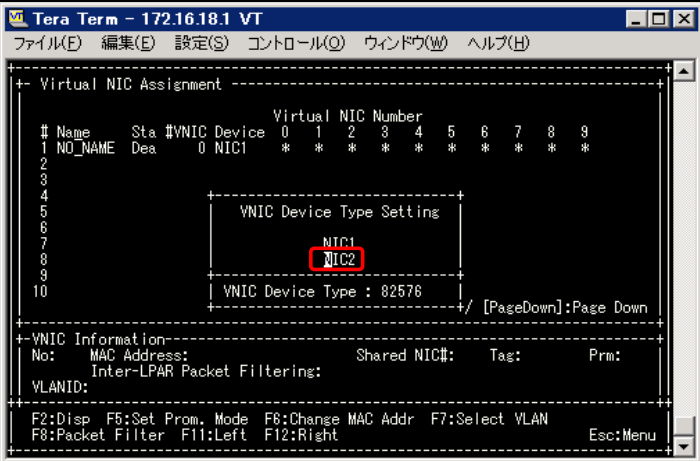
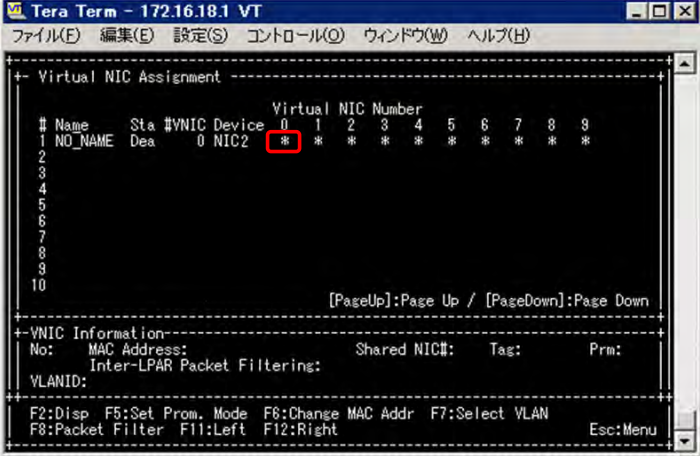
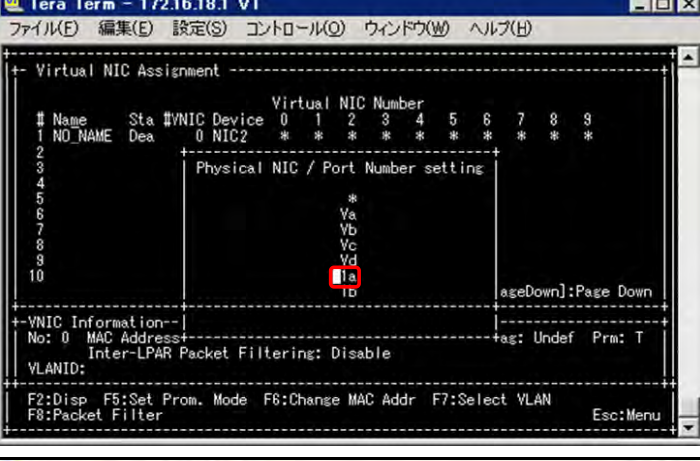
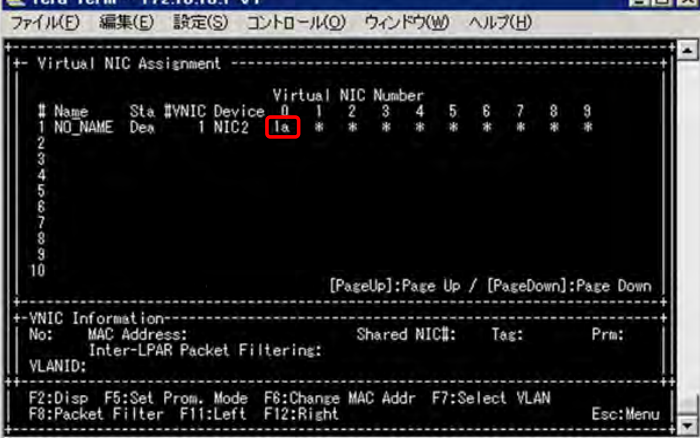
No.	画面	操作	チェック
17		<ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
18		<p>■ LPARの起動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 	<input type="checkbox"/>
19		<ul style="list-style-type: none"> ・「Continue」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

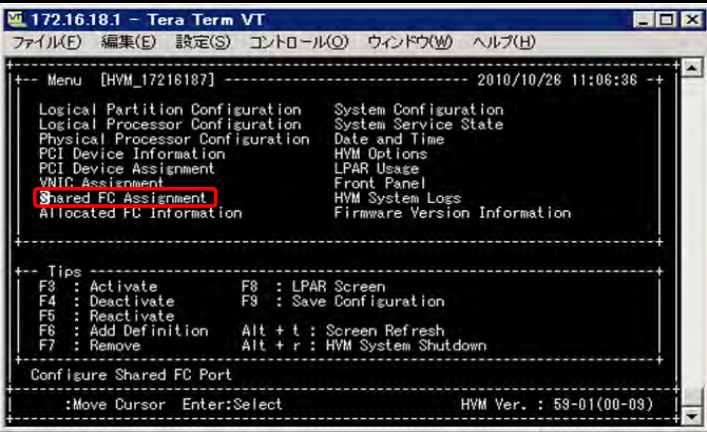
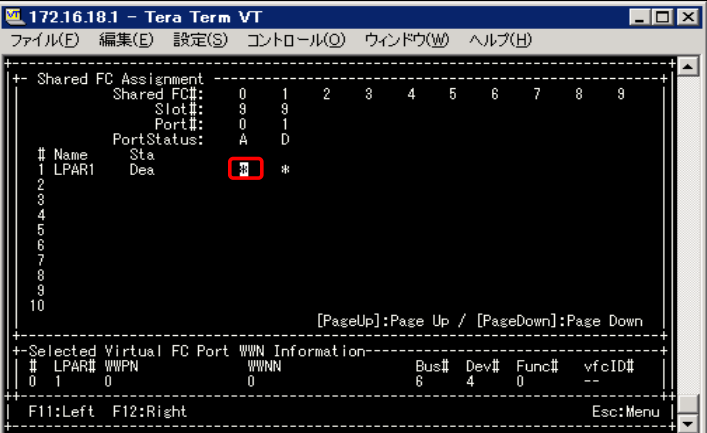
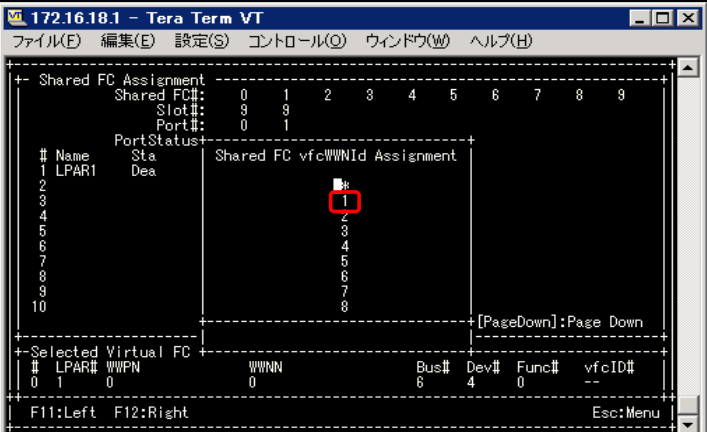
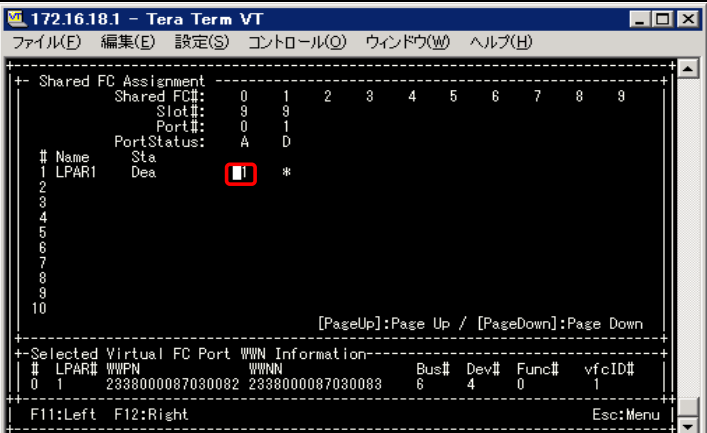
2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール に進みます。

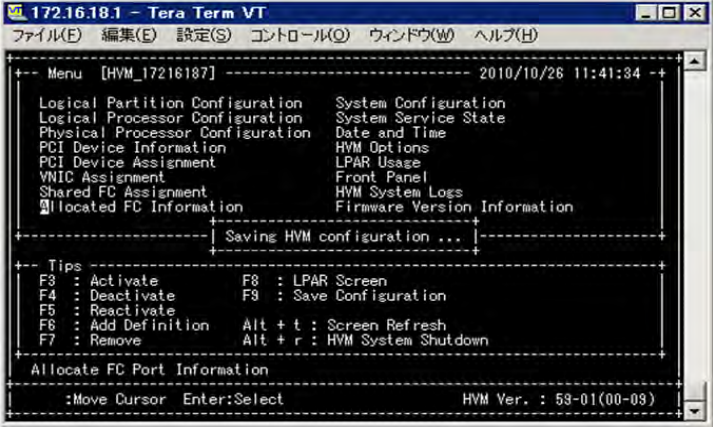
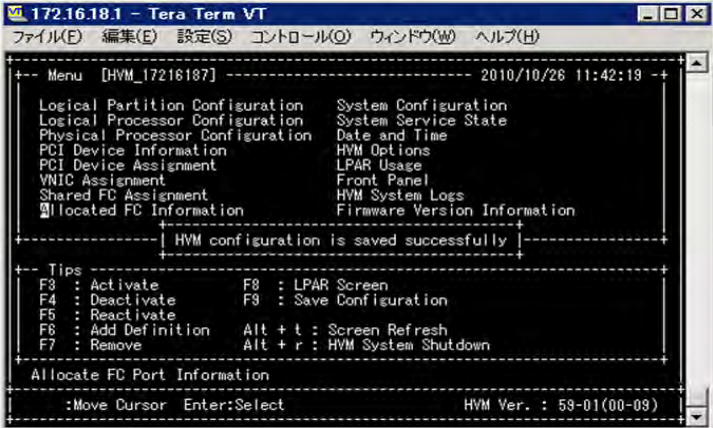
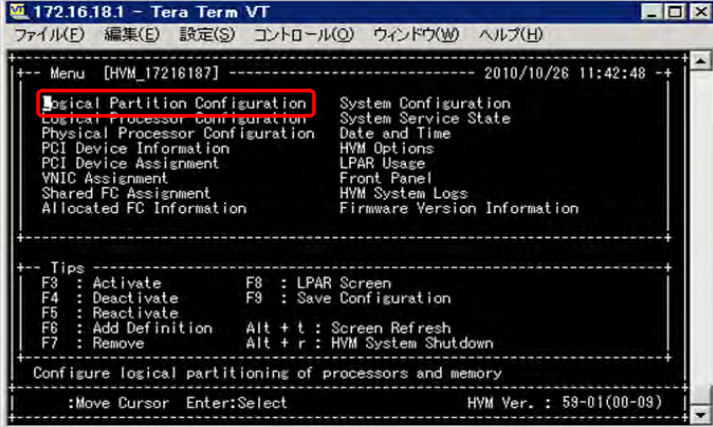
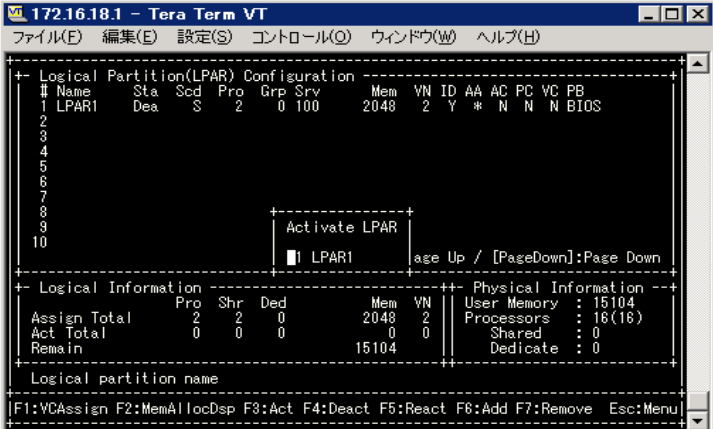
2. 4. 4 LPARの構築(HVM_Ver(59-00)以降、(79-00)以降を使用する場合)

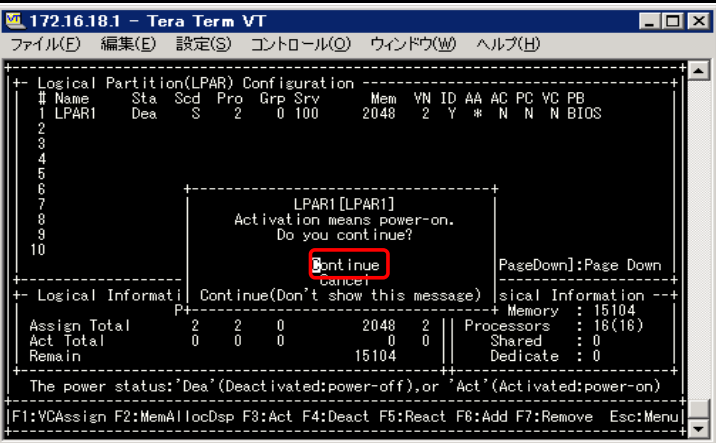
No.	画面	操作	チェック
1		<p>※バージョンによって設定される項目が異なる場合があります。</p> <p>■LPARの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	□
2		<ul style="list-style-type: none"> ・「F6」キーを押します。 ・作成するLPAR番号を選択します。 	□
3		<p>■LPAR名称の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Name」列を選択します。 ・「LPAR名称」を入力します。 <p>※ここでは例として「LPAR1」と入力します。</p>	□
4		<p>■スケジューリングモードの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Scd」列を選択します。 ・任意のスケジューリングモードを選択します。 	□

No.	画面	操作	チェック
5		<p>■プロセッサ数の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Pro」列を選択します。 ・任意のプロセッサ数を選択します。 	<input type="checkbox"/>
6		<p>■メモリサイズの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mem」列を選択します。 ・任意のメモリサイズを選択します。 	<input type="checkbox"/>
7		<p>■共有NICの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「VNIC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
8		<ul style="list-style-type: none"> ・作成したLPARの「NIC1」を選択します。 <p>※OSごとにサポートされているVNICは異なります。サポート詳細情報については、「BS2000 ユーザーズガイド」-「HVMについて」に記載されている「ゲストOS ごとのVNIC Device Type サポート一覧」をご確認ください。</p>	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
9		<p>・「VNIC Device Type Setting」で任意のNICを選択します。</p> <p>※左記画面では、例として「NIC2」を選択する場合を示しています。</p>	<input type="checkbox"/>
10		<p>・「Virtual NIC number」の「*」を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
11		<p>・任意の割り当て先を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
12		<p>※共有NICが設定されます。</p>	<input type="checkbox"/>

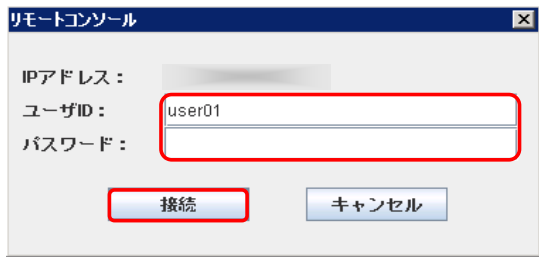
No.	画面	操作	チェック
13		<p>■ 共有FCポートの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Shared FC Assignment」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
14		<ul style="list-style-type: none"> ・「Shared FC」の「*」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
15		<ul style="list-style-type: none"> ・任意の割り当て先を選択します。 	<input type="checkbox"/>
16		<p>※ 共有FCポートが設定されます。</p>	<input type="checkbox"/>

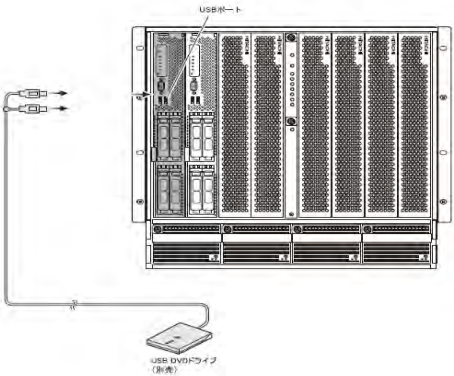
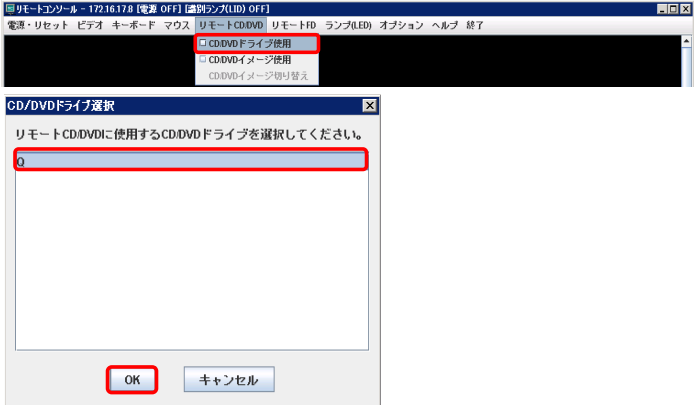
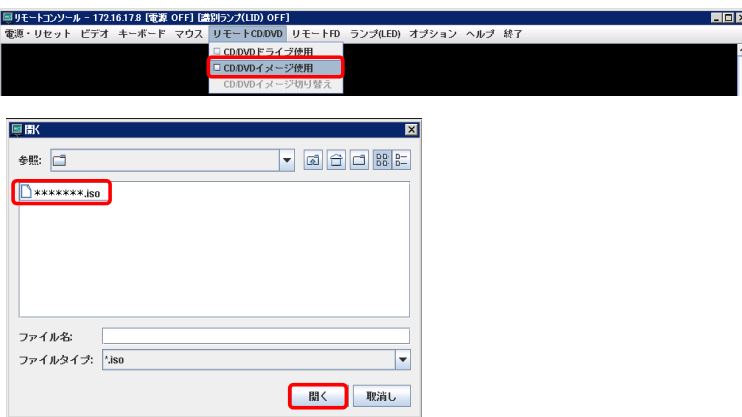
No.	画面	操作	チェック
17		<p>■HVM構成情報の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「F9」キーを押し、HVM構成情報を保存します。 <p>※HVM構成情報が保存されるまで、約3分かかります。</p>	<input type="checkbox"/>
18		<p>※HVM構成情報が保存されます。</p>	<input type="checkbox"/>
19		<ul style="list-style-type: none"> ・「Esc」キーを押し、Menuスクリーンを表示します。 ・「Logical Partition Configuration」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
20		<p>■LPARの起動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「F3」キーを押し、作成したLPARをActします。 	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
21		・「Continue」を選択します。	<input type="checkbox"/>

2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール に進みます。

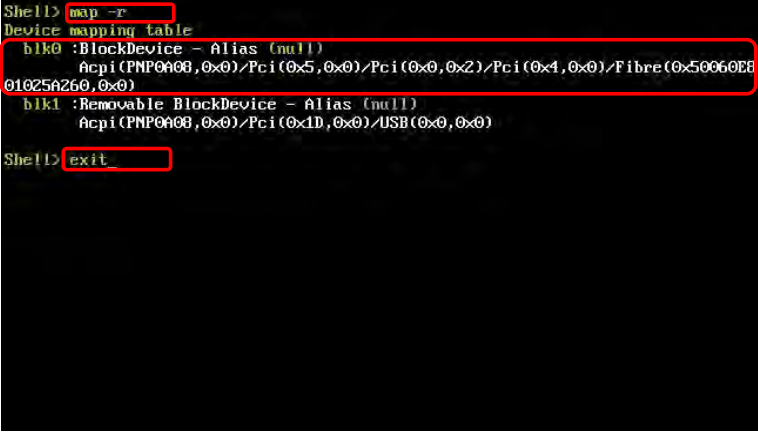
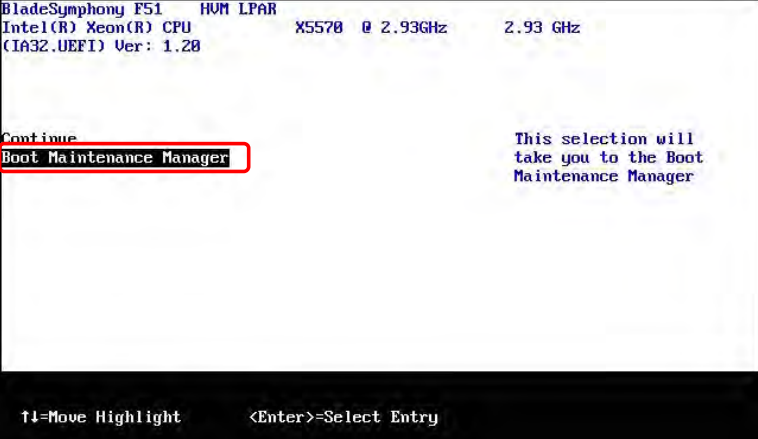
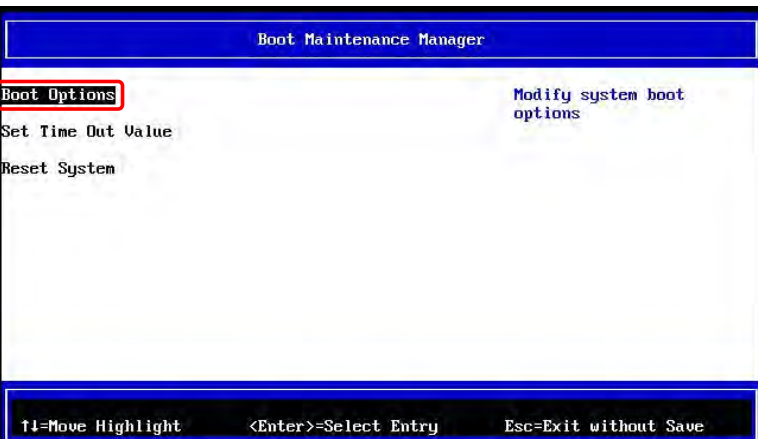
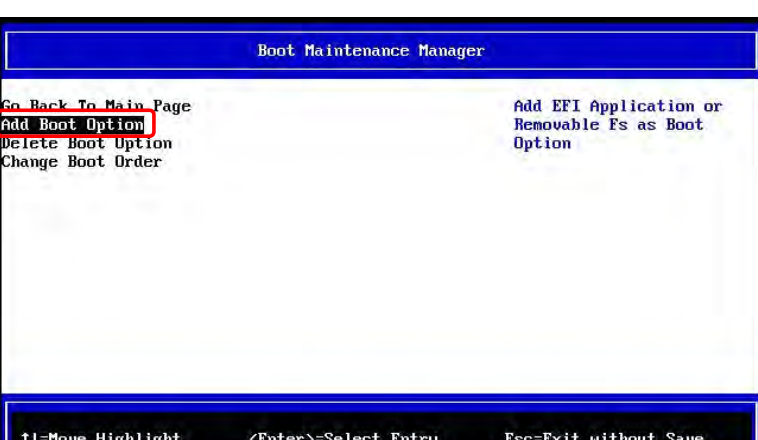
2. 5 Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1のインストール

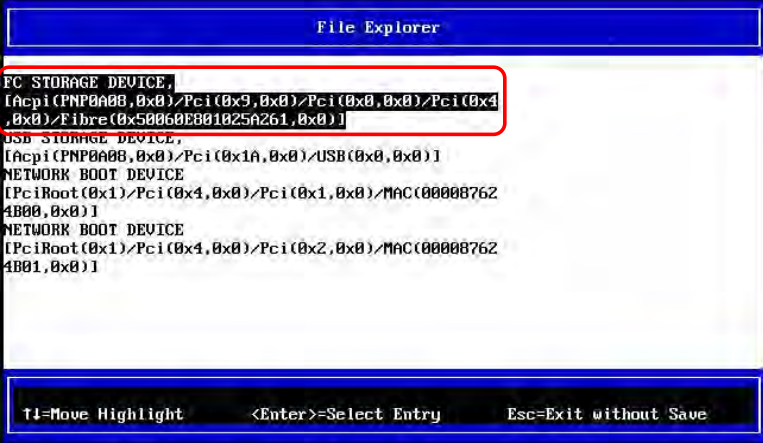
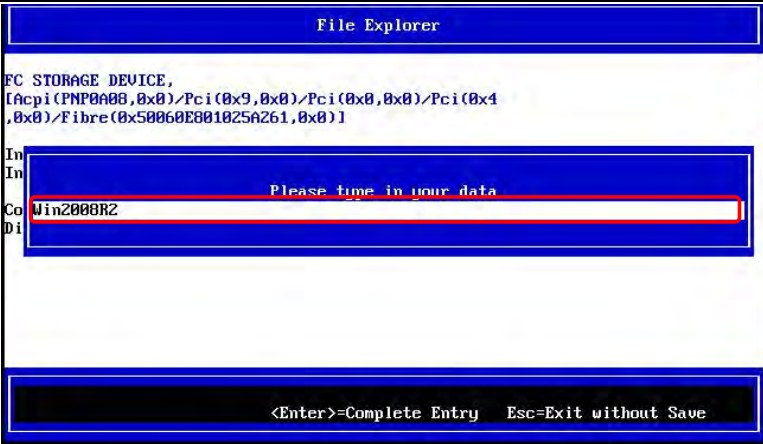
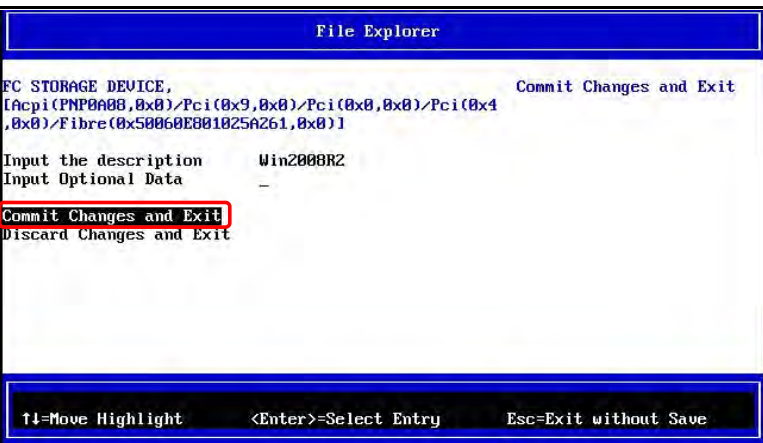
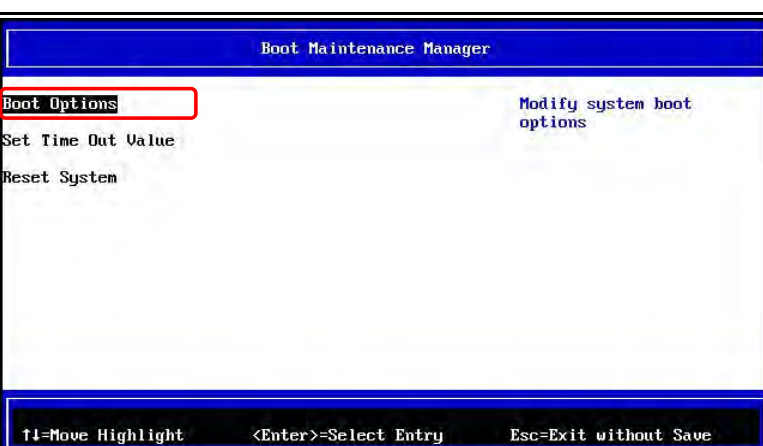
No.	画面	操作	チェック
1	コンソールの切替:リモートコンソール	<p>■リモートコンソールに接続 ・リモートコンソールを起動します。</p> <p><u>※リモートコンソールが既に起動している場合は、手順3に進んでください。</u></p> <p>※リモートコンソール起動後、InternetExplorerの設定によっていくつかの警告が出力する場合があります。その場合は、すべて[はい]もしくは[実行]を押してください。</p> <p>※インストール対象となるディスクアレイ装置のLUは、ストレージ側であらかじめフォーマットしておいてください。</p> <p>※事前にBMCのIPアドレスを調べてください。BMCのIPアドレスは、SVPコンソールで「LC」コマンドを実行した結果から確認できます。</p>	□
2		<p>・「ユーザID」、「パスワード」を入力します。 ・「接続」ボタンをクリックします。</p> <p><u>※リモートコンソールが起動している場合は、次の手順に移ってください。</u></p>	□

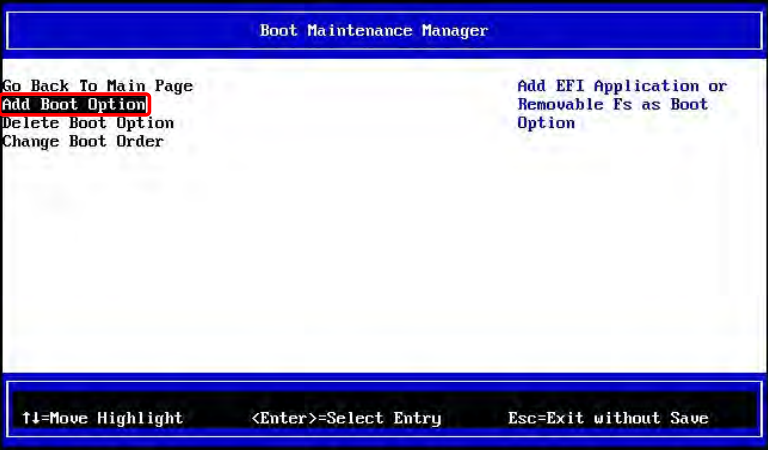
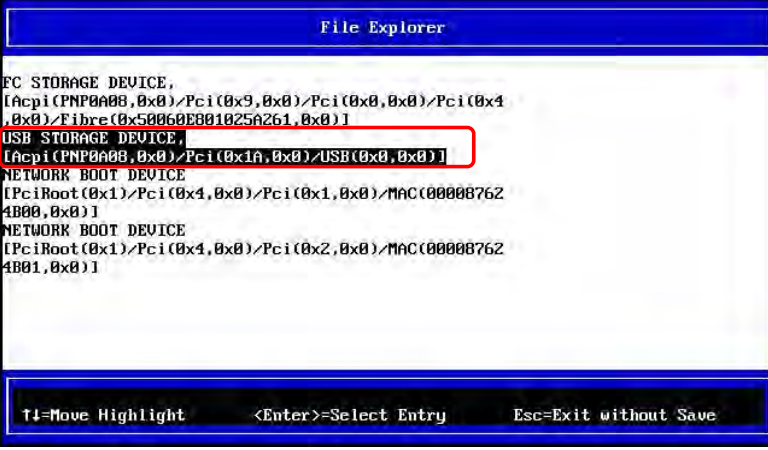
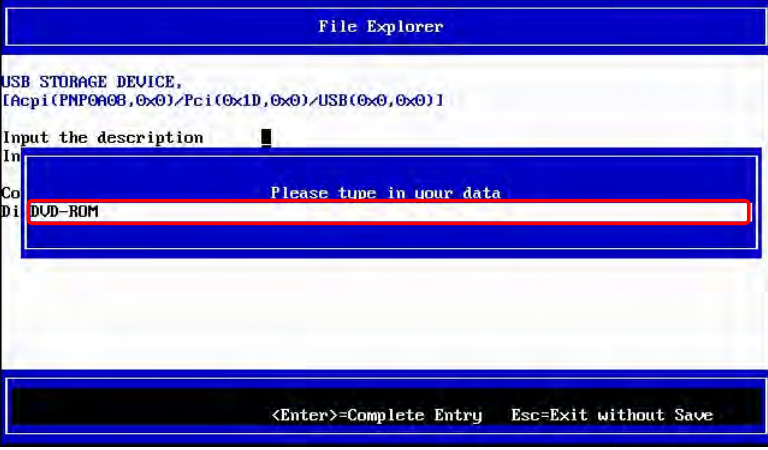

No.	画面	操作	チェック
項目3はCase1～3のいずれか1つを実施してください。			
3	3-1 	Case1【フロント USBを使用する場合】 <ul style="list-style-type: none"> ・フロント USBにDVDドライブを挿し、「Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1メディア」を入れます。 ※DVDドライブの灰色のプラグをサーバブレードに挿してください。 	□
	3-2 	Case2【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・「CD/DVDドライブ使用」をクリックします。 ・コンソール端末のCD/DVDドライブに「Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1メディア」を入れます。 ・「Q」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ※バージョンによってリモートコンソールの表示が異なる場合があります。 	□
	3-3 	Case3【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・「CD/DVDイメージ使用」をクリックします。 ・「Windows Server 2008 SP2/R2/R2 SP1メディア (ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 ※バージョンによってリモートコンソールの表示が異なる場合があります。 ※イメージファイルの作成方法は、「BS2000 リモートコンソールアプリケーション ユーザーズガイド」を参照してください。 	□

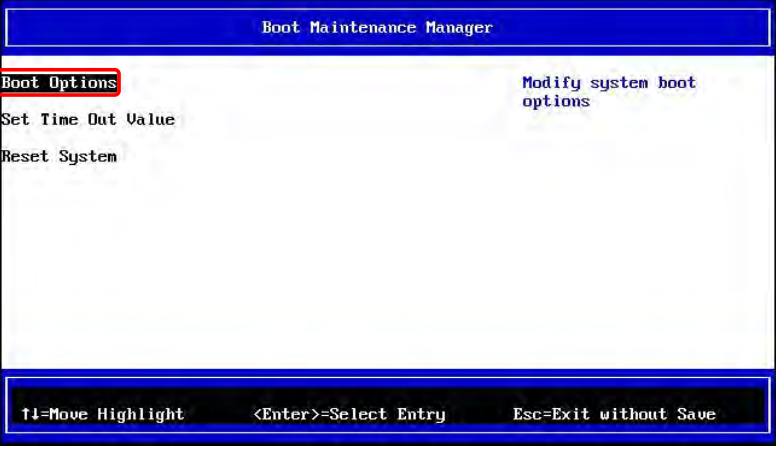
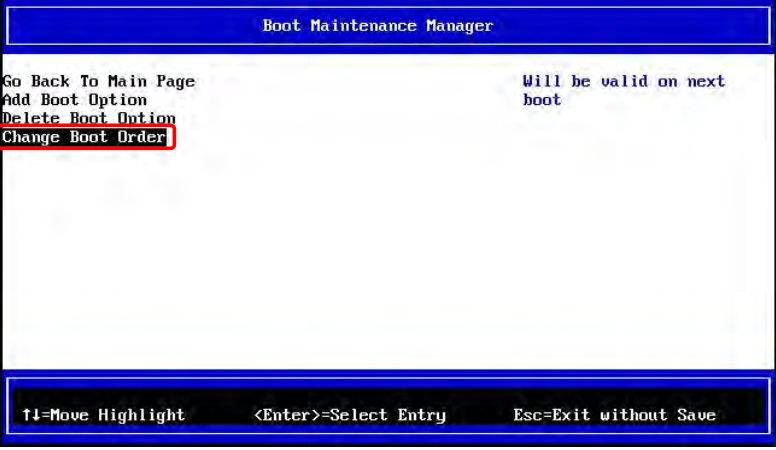
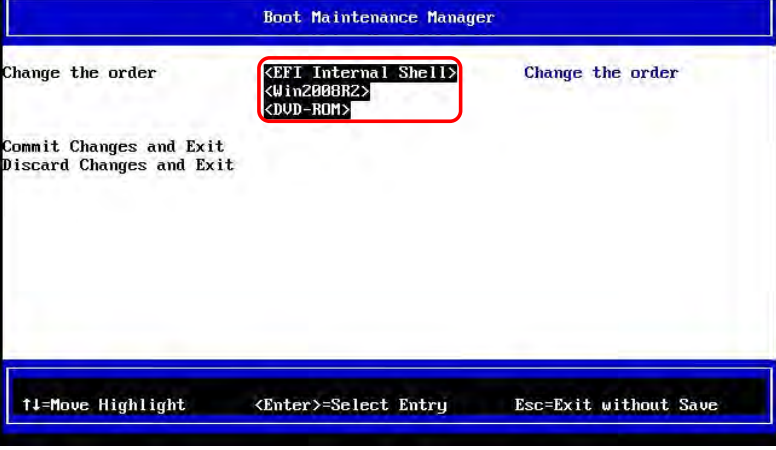
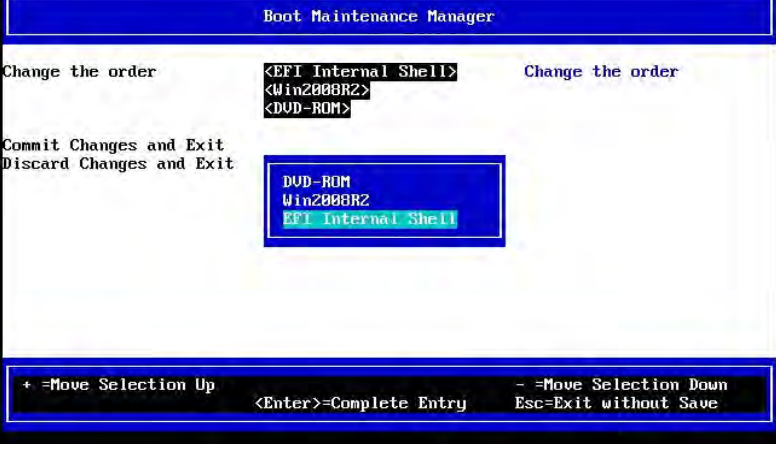
No.	画面	操作	チェック
4	<pre> BladeSymphony F51 HMM LPAR Intel(R) Xeon(R) CPU X5578 @ 2.93GHz 2.93 GHz (CIA32.UEFI) Ver: 1.28 Continue Boot Maintenance Manager This selection will direct the system to continue to booting process ↑=Move Highlight <Enter>=Select Entry </pre>	<p>■ 共有FCの設定</p> <p>・[Continue]を選択します。</p>	<input type="checkbox"/>
5	<pre> HMM-LFW add valid BootOption Boot0001 : Boot0001 HMM-LFW The top of BootOrder is Shell. LegacyBoot is not carried out. EFI Shell version 2.10 (4695.1) Current running mode 1.1.2 Device mapping table: blk0 :Removable BlockDevice - Alias (null) Acpi(PNP0000,0x0)/Pci(0x1D,0x0)/USB(0x0,0x0) Press ESC in 1 seconds to skip startup.nsh, any other key to continue. Shell> drivers </pre>	<p>・「drivers」を入力します。</p>	<input type="checkbox"/>
6	<pre> 59 00000000 D -- 1 - FAT File System Driver Fat 5A 00000000 D -- 1 - Usb Mouse Driver UsbMouse 5B 00000100 ? -- - <UNKNOWN> Undi 5D 00000000 D -- 2 - Simple Network Protocol Driver SMP 5F 00000000 D -- 2 - PXE Base Code Driver BC 61 00000000 D -- 2 - PXE DHCPv4 Driver PxeDhcp4 62 00000000 ? -- - MNP Network Service Driver Mnp 63 00000000 ? -- - ARP Network Service Driver Arp 64 00000000 ? -- - IP4 Network Service Driver Ip4 65 00000000 ? -- - IP4 CONFIG Network Service Driver Ip4Config 66 00000000 ? -- - UDP Network Service Driver Udp4 67 00000000 ? -- - Tcp Network Service Driver Tcp4 68 00000000 ? -- - DHCP Protocol Driver Dhcp4 69 00000000 ? -- - MTFTP4 Network Service Mtftp4 6A 00000000 ? -- - ATAPI Extended SCSI Pass Thru Drive AtapiExtPassThru 6B 00000000 ? -- - SCSI Bus Driver ScsiBus 6C 00000000 ? -- - Scsi Disk Driver ScsiDisk 6D 03050700 ? X X X 2 2 Intel(R) PRO/1000 3.5.07 PCI E3507_2 6E 03061400 ? X X X 2 2 Intel(R) PRO/1000 3.6.14 PCI-E E3801_3 6F 01040400 ? X X X 1 1 Intel(R) 10GbE Driver 1.4.04 EFI-32 E1404_4 70 10000113 D X X 1 - Hitachi PCI-X/PCIe Fibre channel Dr ScsiBusFive 71 00040011 ? X X X - Emulex SCSI Pass Thru Driver Elxcli400A1 Shell> drvcfg 70 </pre>	<p>・「drvcfg [ドライバハンドル]」を入力します。</p>	<input type="checkbox"/>
7	<pre> 5F 00000000 D -- 2 - PXE Base Code Driver BC 61 00000000 D -- 2 - PXE DHCPv4 Driver PxeDhcp4 62 00000000 ? -- - MNP Network Service Driver Mnp 63 00000000 ? -- - ARP Network Service Driver Arp 64 00000000 ? -- - IP4 Network Service Driver Ip4 65 00000000 ? -- - IP4 CONFIG Network Service Driver Ip4Config 66 00000000 ? -- - UDP Network Service Driver Udp4 67 00000000 ? -- - Tcp Network Service Driver Tcp4 68 00000000 ? -- - DHCP Protocol Driver Dhcp4 69 00000000 ? -- - MTFTP4 Network Service Mtftp4 6A 00000000 ? -- - ATAPI Extended SCSI Pass Thru Drive AtapiExtPassThru 6B 00000000 ? -- - SCSI Bus Driver ScsiBus 6C 00000000 ? -- - Scsi Disk Driver ScsiDisk 6D 03050700 B X X X 2 2 Intel(R) PRO/1000 3.5.07 PCI E3507_2 6E 03061400 ? X X X 2 2 Intel(R) PRO/1000 3.6.14 PCI-E E3801_3 6F 01040400 ? X X X 1 1 Intel(R) 10GbE Driver 1.4.04 EFI-32 E1404_4 70 10000113 D X X 1 - Hitachi PCI-X/PCIe Fibre channel Dr ScsiBusFive 71 00040011 ? X X X - Emulex SCSI Pass Thru Driver Elxcli400A1 Shell> drvcfg 70 Configurable Components Drv[70] Ctrl[7E] Lang[eng] Shell> drvcfg -s 70 7e </pre>	<p>・「drvcfg -s [ドライバハンドル] [コントローラハンドル]」を入力します。</p>	<input type="checkbox"/>

No.	画面	操作	チェック
8	<pre> hfcfg>select HBA FC Port List: Num Bus Dev Func current WWPN original WWPN ---- --- --- --- - 1 - 05 04 00 234000007000350 c - cancel select Number ->1 hfcfg.234000007000350>set Base Settings: ** Boot Function = Disabled change? (y/n) ->y 0 - Disabled -[default] 1 - Enabled c - cancel please select ->1 ** Connection Type = Auto Detection please Enter -> ** Data Rate = 4Gbps please Enter -> ** Spinup Delay = Disabled change? (y/n) -> ** Login Delay Time = 3sec change? (y/n) -> ** Persistent Bindings = Enabled change? (y/n) -> ** Force Default Parameter for adapter driver = Disabled change? (y/n) -> ** Select Boot Device = Disabled change? (y/n) ->y 0 - Disabled -[default] 1 - Enabled c - cancel please select ->1 ** << Boot Device List >> (LUN:decimal) 1 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 2 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 3 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 4 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 5 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 6 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 7 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 8 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 change? (y/n) ->y please select a number(1-8,c(cancel)) ->1 ** List#1: WWPN:0000000000000000 LUN:0000 1 - Scan Target 2 - Manual setup 3 - Clear this list c - cancel please select ->1 ==> Target port serching... please wait ==> Target port serch End. << Target Device List >> 1 - D-ID:090000 WWPN:50060E001025A261 HITACHI DF600F c - cancel(return to <<Boot Device List>>) select a Target for Boot Device. (1-xx, c: 1) *** #1: D-ID:090000 WWPN:50060E001025A261 is selected *** 1 - Scan Lun c - cancel(return to <<Target Device List>>) please select ->1 << LUN List (decimal)>> 1 - LUN : 0000 c - cancel(return to <<Target Device List>>) select a LUN for Boot Device. (1-xx, c: 1) *** List#1 new WWPN and LUN *** WWPN : 50060E001025A261 LUN : 0000 Update List#1 ? (y/n) ->y List#1 update end ** << Boot Device List >> (LUN:decimal) 1 - WWPN:50060E001025A261 LUN:0000 2 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 3 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 4 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 5 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 6 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 7 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 8 - WWPN:0000000000000000 LUN:0000 change? (y/n) ->n Base Settings is completed. hfcfg.234000007000350>save Save configuration data. y - execute n - cancel please select (y/n) ->y Now executing.... done. hfcfg.234000007000350>exit </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「select」を入力します。 ・左記のように入力します。 ・「exit」を入力します。 <p>※設定を行っても[Boot Device List]項目内にWWPNが設定されない場合は、StorageNavigatorの設定を確認してください。</p>	<input type="checkbox"/>
9	<pre> Shell> reconnect -r </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「reconnect -r」を入力します。 	<input type="checkbox"/>

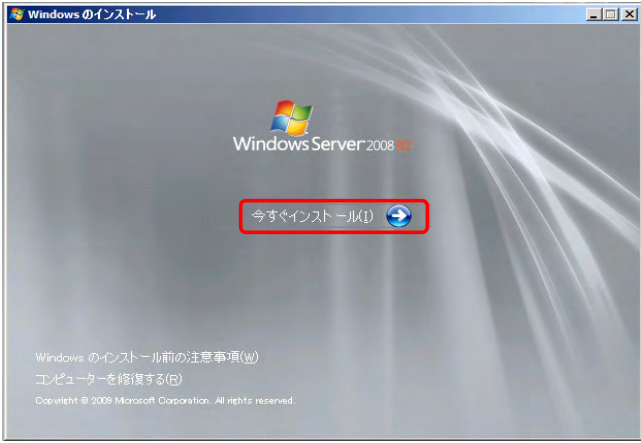
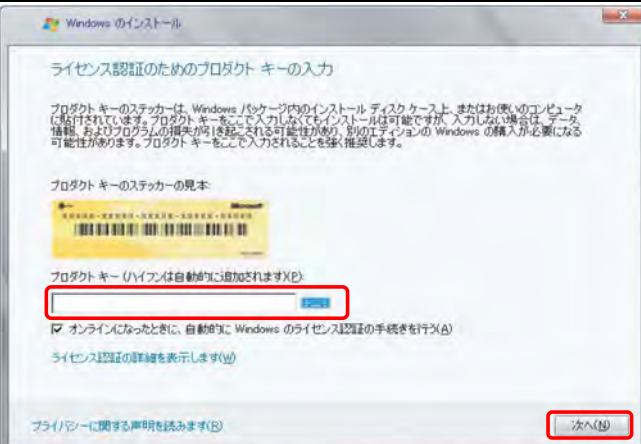
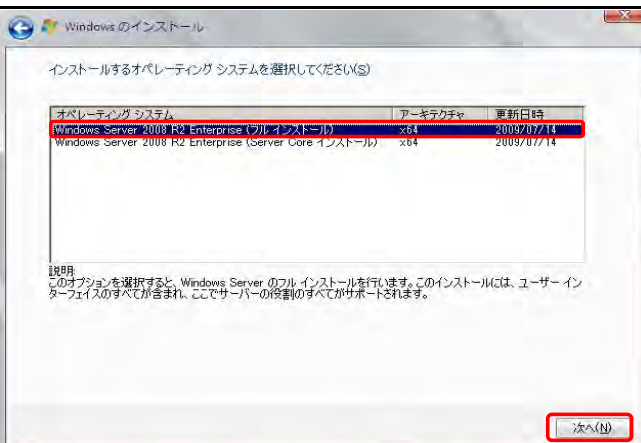
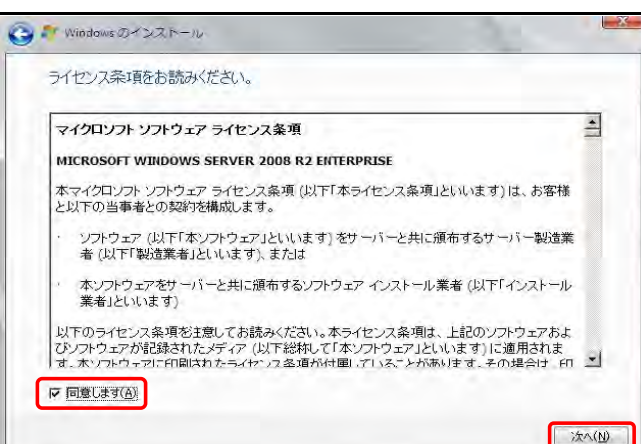
No.	画面	操作	チェック
10	 <pre> Shell> map -r Device mapping table blk0 :BlockDevice - Alias (null) Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x5,0x0)/Pci(0x0,0x2)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E8 01025A260,0x0) blk1 :Removable BlockDevice - Alias (null) Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x1D,0x0)/USB(0x0,0x0) Shell> exit </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「map -r」を入力します。 ・FCデバイスが認識されていることを確認します。 ・「exit」を入力します。 	<input type="checkbox"/>
11	 <pre> BladeSymphony F51 HVM LPAR Intel(R) Xeon(R) CPU X5570 @ 2.93GHz 2.93 GHz (IA32.UEFI) Ver: 1.20 Continue Boot Maintenance Manager This selection will take you to the Boot Maintenance Manager ↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry </pre>	<p>■ブートオーダーの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Boot Maintenance Manager」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
12	 <pre> Boot Maintenance Manager Boot Options Modify system boot options Set Time Out Value Reset System ↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Boot Options」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
13	 <pre> Boot Maintenance Manager Go Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order Add EFI Application or Removable Fs as Boot Option ↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save </pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Add Boot Option」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

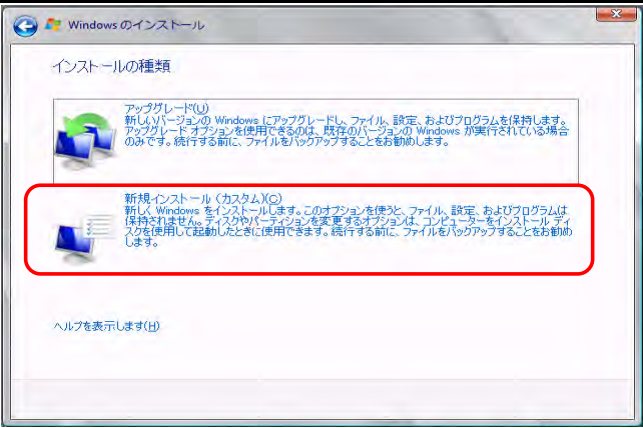
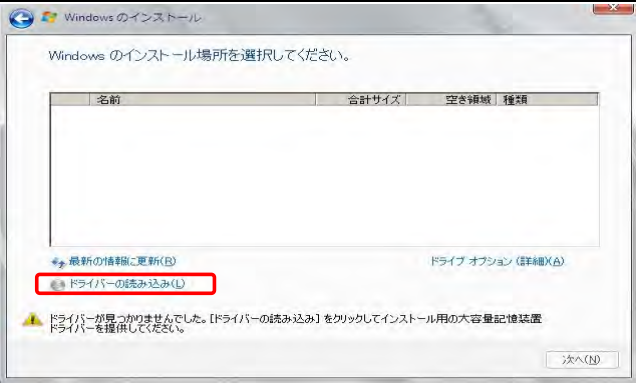
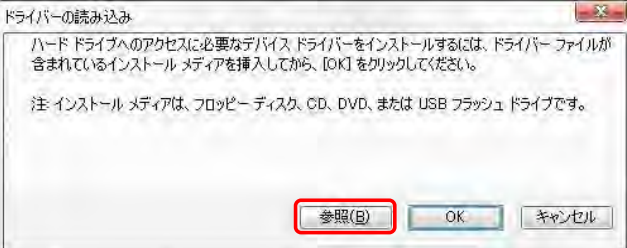
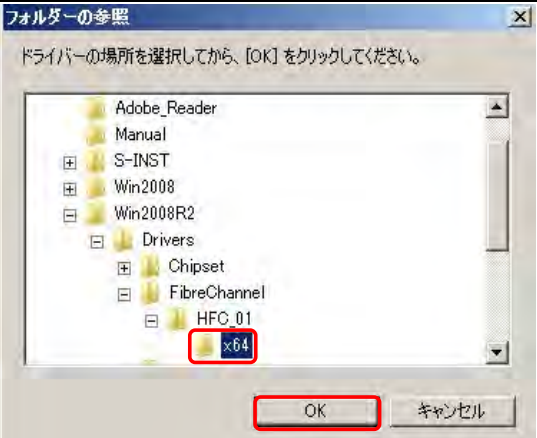
No.	画面	操作	チェック
14	 <p>File Explorer</p> <p>FC STORAGE DEVICE, [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E801025A261,0x0)]</p> <p>USB STORAGE DEVICE, [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x1A,0x0)/USB(0x0,0x0)]</p> <p>NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x1,0x0)/MAC(000007624B00,0x0)]</p> <p>NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x2,0x0)/MAC(000007624B01,0x0)]</p> <p>↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「FC STORAGE DEVICE」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
15	 <p>File Explorer</p> <p>FC STORAGE DEVICE, [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E801025A261,0x0)]</p> <p>In In Please type in your data</p> <p>Co Win2008R2 Di</p> <p><Enter>=Complete Entry Esc=Exit without Save</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Input the description」を選択します。 ・ブートデバイス名を入力します。 <p>※左記記載は例として、「Win2008R2」と入力しています。</p>	<input type="checkbox"/>
16	 <p>File Explorer</p> <p>FC STORAGE DEVICE, Commit Changes and Exit [Acpi(PNP0A08,0x0)/Pci(0x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4,0x0)/Fibre(0x50060E801025A261,0x0)]</p> <p>Input the description Win2008R2 Input Optional Data -</p> <p>Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit</p> <p>↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</p> <p>NU</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
17	 <p>Boot Maintenance Manager</p> <p>Boot Options Modify system boot options</p> <p>Set Time Out Value</p> <p>Reset System</p> <p>↑↓=Move Highlight <Enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Boot Options」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

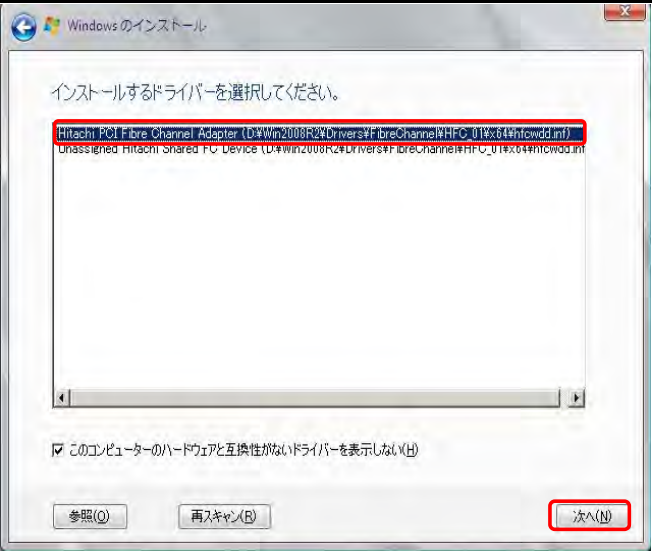
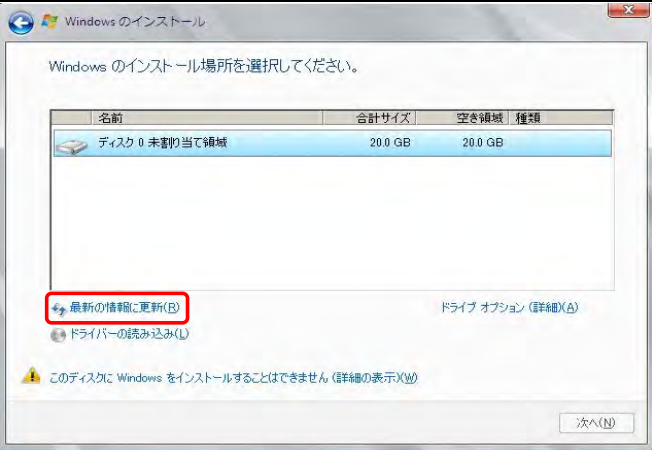


No.	画面	操作	チェック
18		<ul style="list-style-type: none"> ・「Add Boot Option」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
19		<ul style="list-style-type: none"> ・「USB STORAGE DEVICE」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
20		<ul style="list-style-type: none"> ・「Input the description」を選択します。 ・ブートデバイス名を入力します。 <p>※左記記載は例として、「DVD-ROM」と入力しています。</p>	<input type="checkbox"/>
21		<ul style="list-style-type: none"> ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 	<input type="checkbox"/>

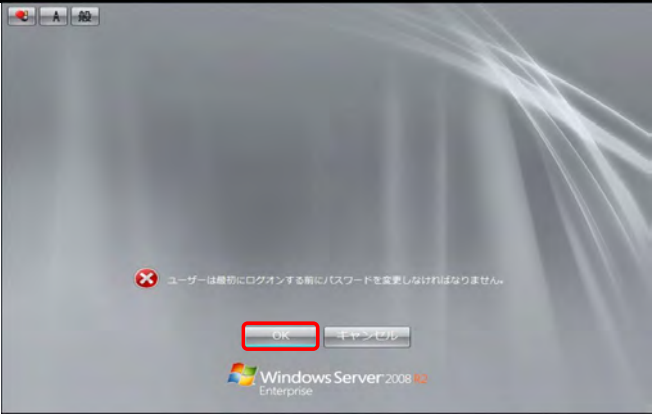
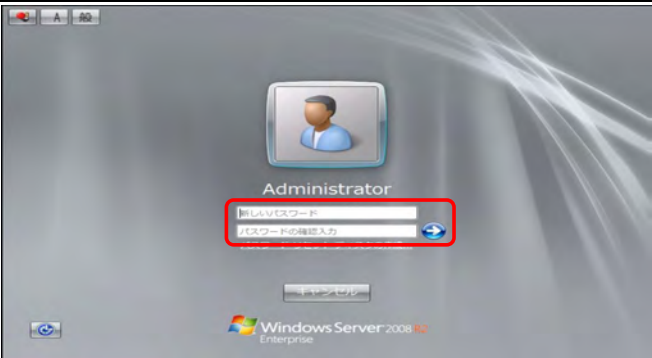
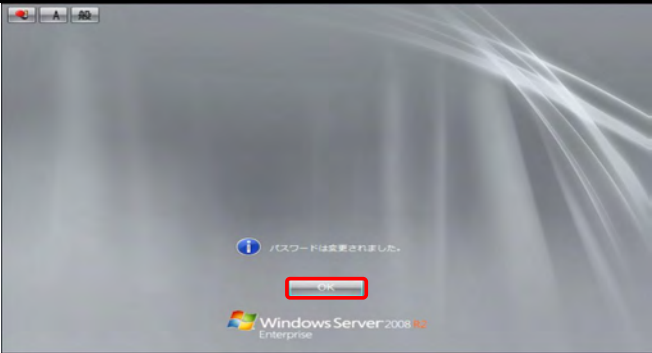
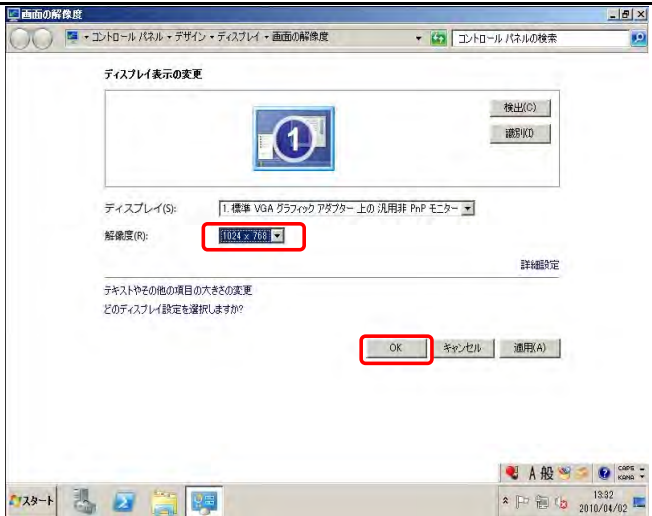
No.	画面	操作	チェック
22		<ul style="list-style-type: none"> ・「Boot Options」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
23		<ul style="list-style-type: none"> ・「Change Boot Order」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
24		<ul style="list-style-type: none"> ・[Enter]キーを押します。 	<input type="checkbox"/>
25		<ul style="list-style-type: none"> ・「Shift」+「+」または「-」キーにより、ブートの順番を以下のとおりに変更します。 DVD-ROM Win2008R2 EFI Internal Shell 	<input type="checkbox"/>

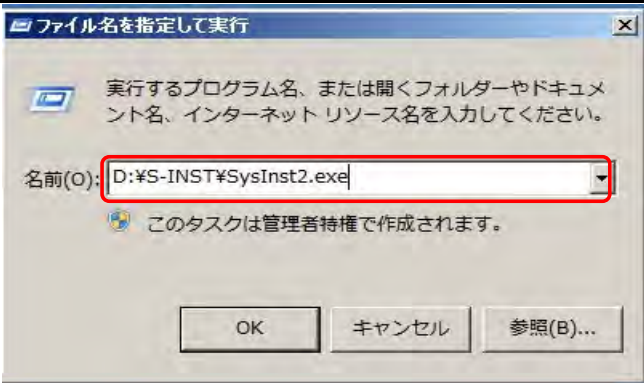
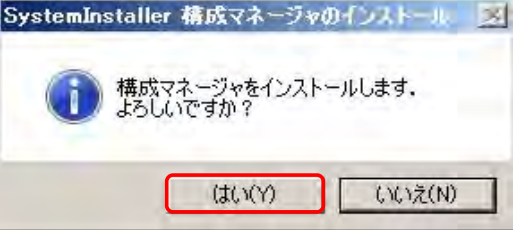
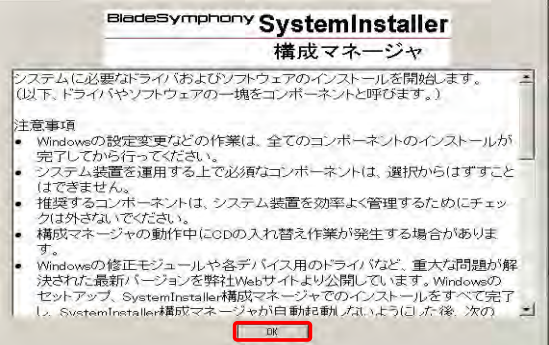
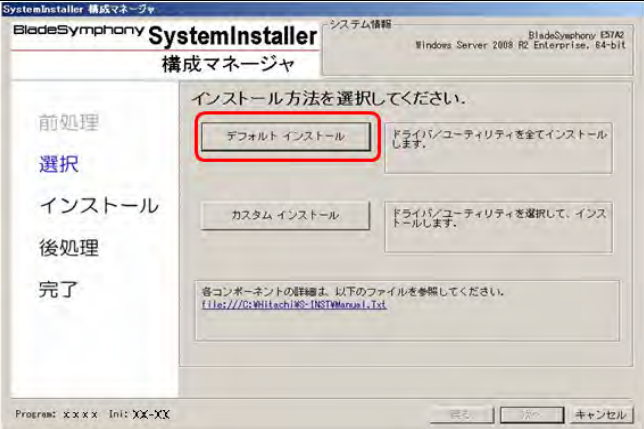
No.	画面	操作	チェック
26		<ul style="list-style-type: none"> ・「Commit Changes and Exit」を選択します。 	<input type="checkbox"/>
27		<ul style="list-style-type: none"> ・[Esc]キーを押します。 	<input type="checkbox"/>
28		<ul style="list-style-type: none"> ・[Continue]を選択します。 	<input type="checkbox"/>
29		<ul style="list-style-type: none"> ■OSのインストール ・左記の画面が表示されるまで、約15分かかります。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 <p>※画面はWindows Server 2008 R2のインストール時のものです。</p>	<input type="checkbox"/>

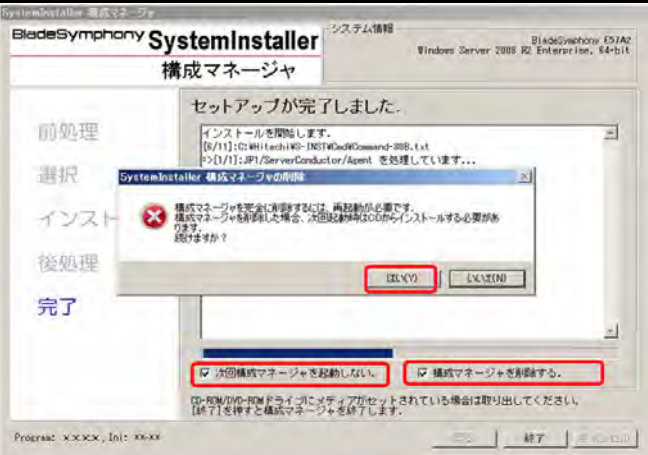
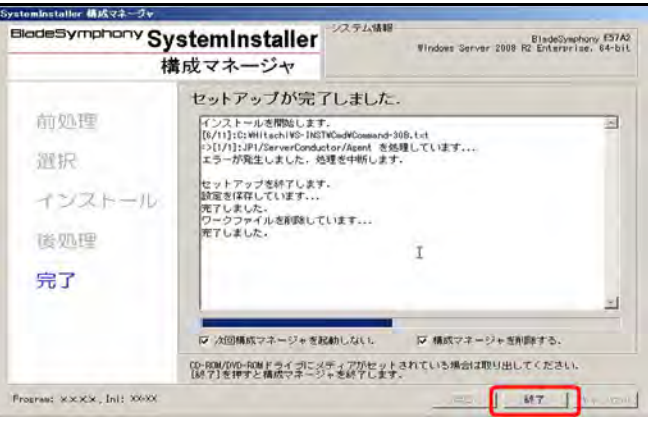
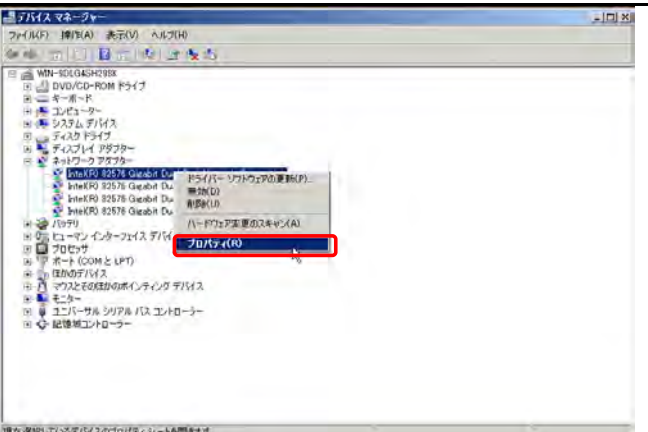
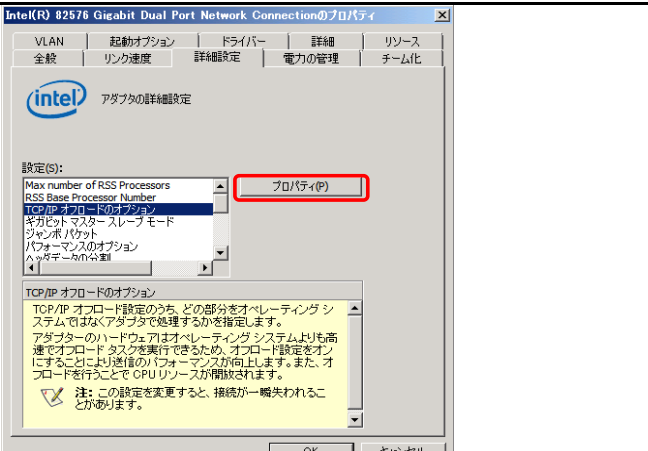
No.	画面	操作	チェック
30		<ul style="list-style-type: none"> ・「今すぐインストール(I)」をクリックします。 <p>※この画面が表示されずに次の画面が表示されることがあります。</p>	□
31		<p>※Windows Server 2008 SP2メディアの場合は左記画面が出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトキー(仮想環境向けキー)を入力してください。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
32		<ul style="list-style-type: none"> ・インストールするOSをクリックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 <p>※Server Coreは選択しないでください。</p>	□
33		<ul style="list-style-type: none"> ・「同意します(A)」をチェックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
34		<p>・「新規インストール(カスタム)(C)」をクリックします。</p> <p>※この画面が表示されずに次の画面が表示されることがあります。</p>	□
35		<p>・「ドライバー読み込み(L)」をクリックします。</p>	□
36		<p>【フロント USBを使用する場合】</p> <p>・「SystemInstaller CD」or「ダウンロードしたドライバをコピーしたCD」に入れ替えます。</p> <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <p>・「SystemInstaller CD」or「ダウンロードしたドライバをコピーしたCD」に入れ替えます。</p> <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <p>・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。</p> <p>・「CD/DVDイメージ切り替え」をクリックします。</p> <p>・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」or「ダウンロードしたドライバをコピーしたCD(ISOイメージ)」をクリックします。</p> <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p> <p>・[参照(B)]ボタンをクリックします。</p>	□
37		<p>【SystemInstaller CDの場合】</p> <p>SystemInstaller CDバージョンが1x-xxの場合</p> <p>・D:¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥アーキテクチャ名"をクリックします。</p> <p>SystemInstaller CDバージョンが2x-xxの場合</p> <p>・D:¥"ブレードモデル名"¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥"アーキテクチャ名"をクリックします。</p> <p>例)ブレードモデル名・・・E57A2 OS名・・・・・・Win2008R2 アーキテクチャ名・・・x64</p> <p>【WebからダウンロードしたドライバCD場合】</p> <p>・D:¥(CDドライブ)をクリックします。</p> <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p>	□

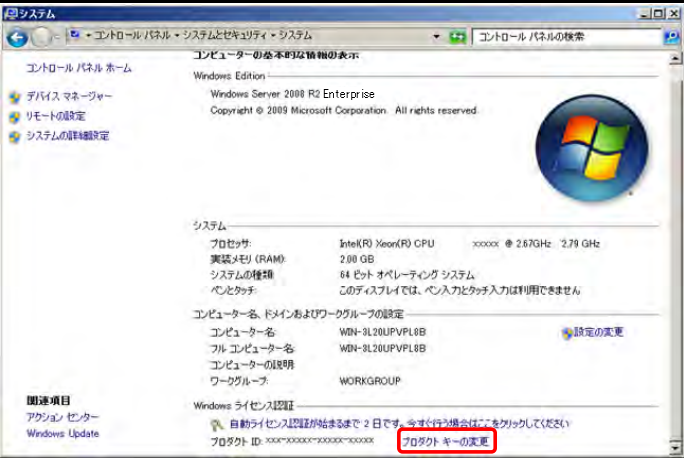
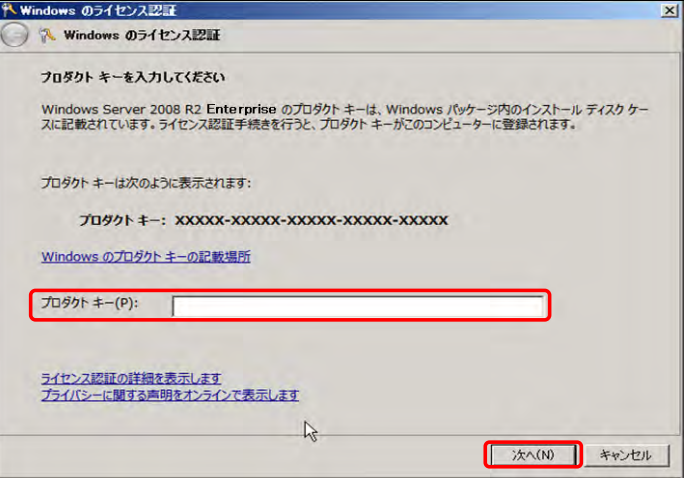
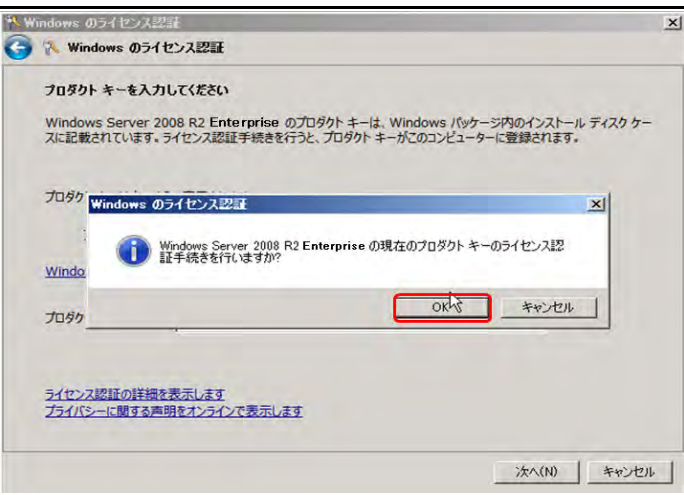
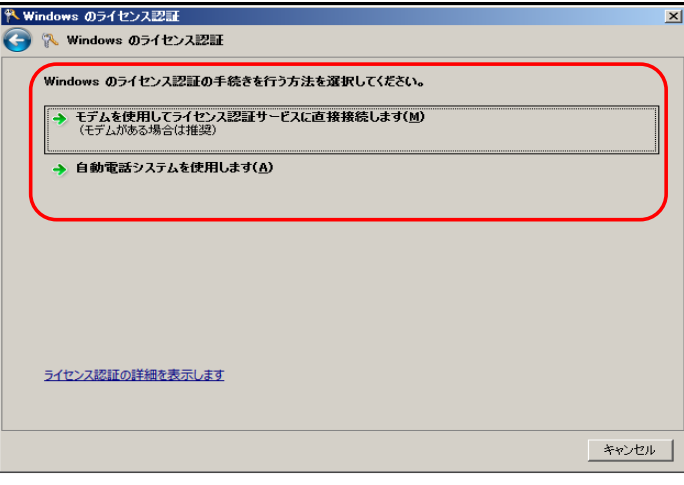
No.	画面	操作	チェック
38		<p>【SystemInstaller CDの場合】</p> <p>SystemInstaller CDバージョンが1x-xxの場合 ・Hitachi PCI Fibre Channel Adapter(D:¥"OS名" ¥Drivers¥FibreChannel¥HFC_01¥"アーキテク チャ名"¥hfcwdd.inf)をクリックします。</p> <p>SystemInstaller CDバージョンが2x-xxの場合 ・Hitachi PCI Fibre Channel Adapter(D:¥"ブレード モデル名"¥"OS名"¥Drivers¥FibreChannel¥ HFC_01¥"アーキテクチャ名"¥hfcwdd.inf)をクリッ クします。</p> <p>例)ブレードモデル名・・・E57A2 OS名・・・・・・・・Win2008R2 アーキテクチャ名・・・x64</p> <p>【WebからダウンロードしたドライバCD場合】 ・(D:¥hfcwdd.inf)をクリックします。</p> <p>・[次へ(N)]ボタンをクリックします。</p>	□
39		<p>【フロント USBを使用する場合】 ・Windows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1メディア に入れ替えます。</p> <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】 ・Windows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1メディア に入れ替えます。</p> <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】 ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・「CD/DVDイメージ切り替え」をクリックします。 ・「Windows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1メディア (ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。</p> <p>・[最新の情報に更新(R)]をクリックします。</p>	□
40		<p>・インストールディスクを選択し、「次へ(N)」ボタンを クリックします。</p>	□
41		<p>※インストールが完了するまで、約70分かかります。 また、インストール中にWindowsが数回再起動 します。</p> <p>※「Press any key to boot from CD or DVD」と表示 されることがありますが、何もキーを押さないでくだ さい</p>	□

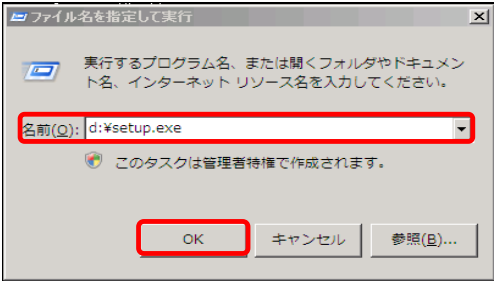
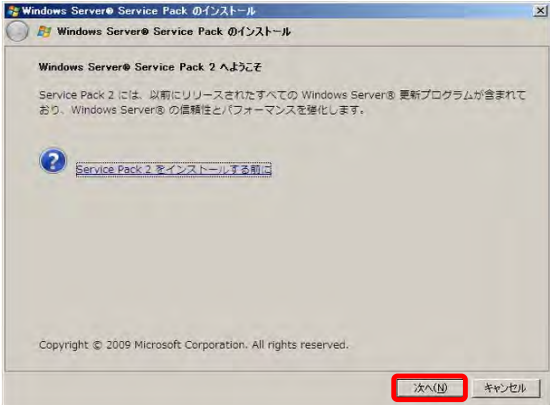
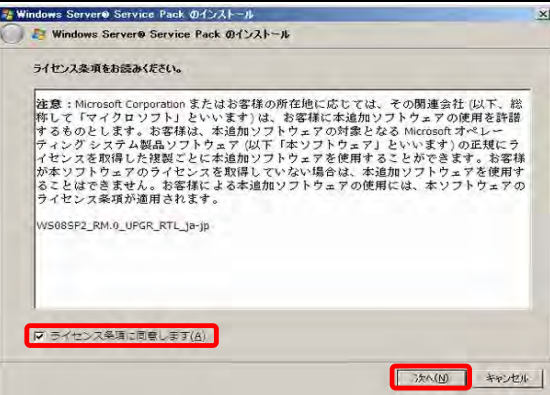
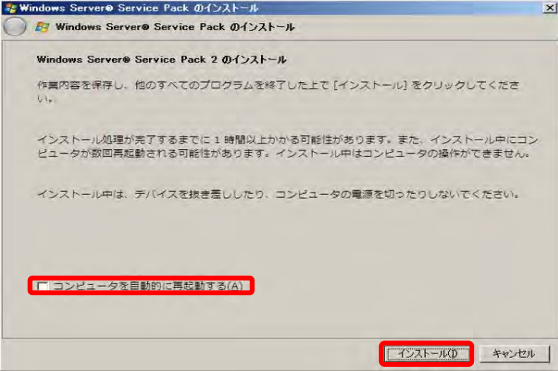
No.	画面	操作	チェック
42		・[OK]ボタンをクリックします。	<input type="checkbox"/>
43		<p>・「パスワード」を入力します。</p> <p>・[→]をクリックします。</p> <p>※以下の文字のうち3 つ以上組み合わせる。 英大文字 (A ~ Z) 英小文字 (a ~ z) 数字 (1 ~ 9) 記号 (句読点)</p> <p>※ユーザ名から、3文字以上連続する文字列を抜き出して使うことはできません。</p>	<input type="checkbox"/>
44		・[OK]ボタンをクリックします。	<input type="checkbox"/>
45		<p>■解像度の設定</p> <p>【Windows Server 2008 SP2の場合】</p> <p>・デスクトップ上で右クリックします。</p> <p>・[個人設定]-[画面の設定]で解像度を[1024 × 768]に設定します。</p> <p>・メッセージ「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」が出力されます。</p> <p>・[はい]ボタンをクリックします。</p> <p>【Windows Server 2008 R2/R2 SP1の場合】</p> <p>・デスクトップ上で右クリックします。</p> <p>・[画面の解像度]で解像度を[1024 × 768]に設定します。</p> <p>・[OK]ボタンをクリックします。</p> <p>・メッセージ「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」が出力されます。</p> <p>・「変更を維持する」をクリックします。</p>	<input type="checkbox"/>

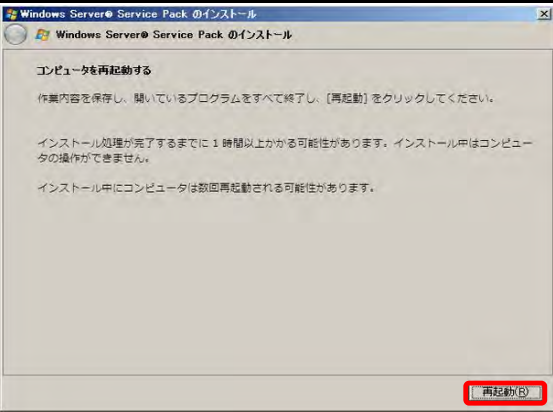


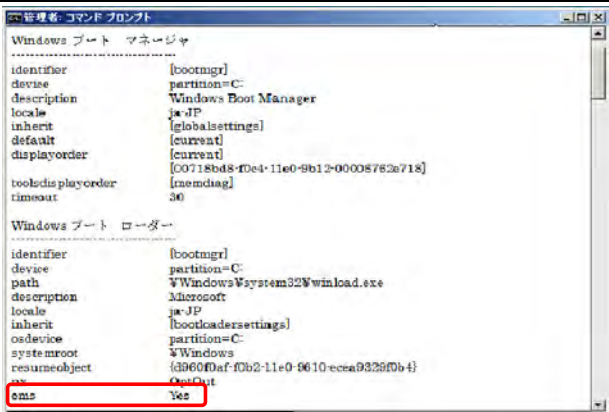
No.	画面	操作	チェック
46		<p>■ドライバ/ユーティリティのセットアップ</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・「CD/DVDイメージ切り替え」をクリックします。 ・「SystemInstaller CD(ISOイメージ)」をクリックします。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックします。 <p>【SystemInstaller CDバージョンが1x-xxの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D:\\$S-INST¥SysInst2.exeを入力します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <p>【SystemInstaller CDバージョンが2x-xxの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D:\\$HInstall.exeを入力します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 	□
47		<ul style="list-style-type: none"> ・[はい(Y)]ボタンをクリックします。 	□
48		<ul style="list-style-type: none"> ・[OK]ボタンをクリックします。 	□
49		<ul style="list-style-type: none"> ・[デフォルト インストール]ボタンをクリックします。 ・以降、画面に従ってインストール作業を続行します。 <p>※各ユーティリティセットアップ時に入力を求められる場合があります。</p> <p>必要に応じて、Windows Server 2008 SP2/R2 SP1 用サービスパックDVD、JP1/ServerConductorCD、ハードウェア保守エージェントCDをご使用ください。</p> <p>ユーティリティのセットアップ方法詳細は各ユーティリティのマニュアルをご参照ください。</p> <p>各マニュアルの格納先は、BladeSymphony BS2000ソフトウェアガイドの「付属ソフトウェアの使いかた」をご参照ください。</p>	□

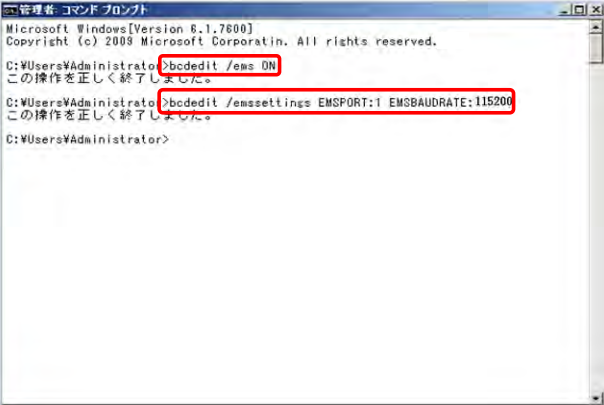
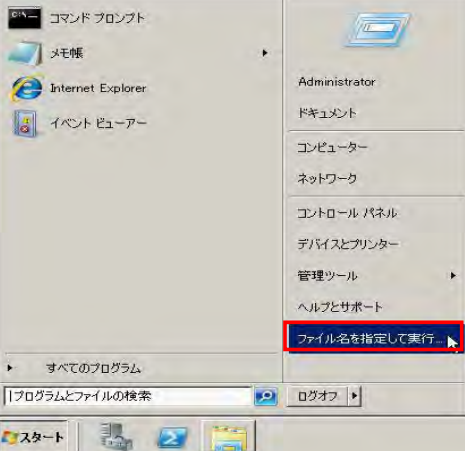
No.	画面	操作	チェック
50		<ul style="list-style-type: none"> ・「次回構成マネージャを起動しない。」をチェックします。 ・「構成マネージャを削除する。」をチェックします。 ・「はい(Y)」ボタンをクリックします。 <p>※設定後、再起動を行わせる画面が表示された場合は、画面に従って再起動を行ってください。</p>	□
51		<p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SystemInstaller CD」に入れ替えます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・「CD/DVDイメージ使用」をクリックします。 <p>・「終了」ボタンをクリックします。</p>	□
52		<p>■TCP/IPオフロードオプションの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。 ・コントロールパネルウィンドウの「システムとセキュリティ」をクリックします。 ・「デバイスマネージャ」をクリックします。 ・「ネットワークアダプタ」内の項目をクリックし、右クリックで「プロパティ(P)」をクリックします。 <p>※例として、NIC2についての設定の手順を示します。NICの設定によっては表示されない項目があります。</p>	□
53		<ul style="list-style-type: none"> ・「詳細設定」タブをクリックします。 ・「TCP/IP オフロードのオプション」をクリックし、「プロパティ(P)」ボタンをクリックします。 	□

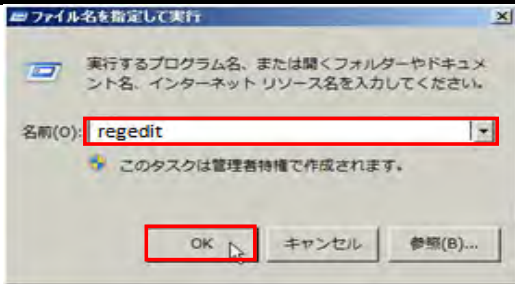
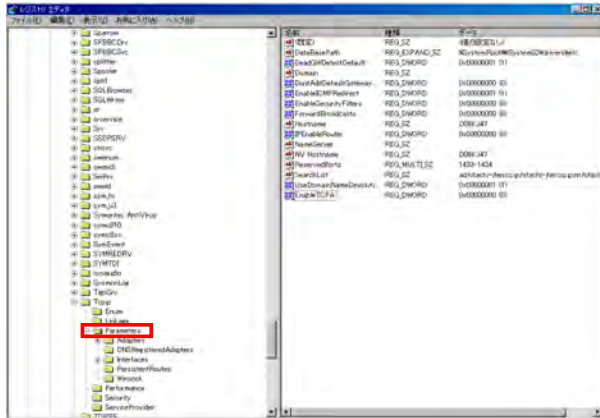
No.	画面	操作	チェック
54		<ul style="list-style-type: none"> ・「IPv4 チェックサムのオフロード」のチェックを外します。 ・「IPSec オフロード」のチェックを外します。 ・「TCP チェックサムのオフロード (IPv4)」のチェックを外します。 ・「TCP チェックサムのオフロード (IPv6)」のチェックを外します。 	□
55		<ul style="list-style-type: none"> ・「UDP チェックサムのオフロード (IPv4)」のチェックを外します。 ・「UDP チェックサムのオフロード (IPv6)」のチェックを外します。 ・「OK(O)」ボタンをクリックします。 	□
56		<ul style="list-style-type: none"> ・「大量送信オフロード (LSO) (IPv4)」を「オフ」に設定します。 	□
57		<ul style="list-style-type: none"> ・「大量送信オフロード (LSO) (IPv6)」を「オフ」に設定します。 ・「OK」ボタンをクリックします。 <p>※TCP/IPオフロードオプションの設定をしていないネットワークアダプタが残っている場合は、同様の手順を繰り返します。</p> <p>※設定後、再起動を行わせる画面が表示された場合は、画面に従って再起動を行ってください。</p>	□

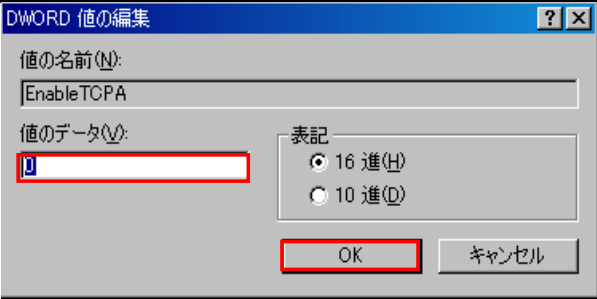
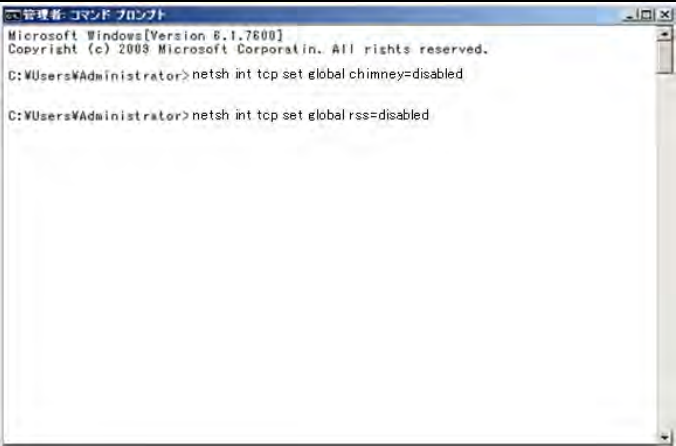

No.	画面	操作	チェック
58		<p>※Windows Server 2008 R2/R2 SP1をインストールした場合は手順58～61を実施してください。</p> <p>■ライセンスキー入力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートメニューからコントロールパネルを開き、[システムとセキュリティ]－[システム]をクリックします。 ・[プロダクトキーの変更]をクリックします。 	□
59		<ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトキーを入力して、[次へ(N)]ボタンをクリックします。 <p>※プロダクトキーは、仮想環境向けのキー (Virtual Key)を使用してください。</p>	□
60		<ul style="list-style-type: none"> ・[OK]ボタンをクリックします。 	□
61		<ul style="list-style-type: none"> ・認証方法を選択しライセンス認証を受けてください。 	□

No.	画面	操作	チェック
62		<p>サービスパックをインストールする場合、以下の手順62～67を実施します。</p> <p>■サービスパックのインストール</p> <p>【フロント USBを使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サービスパックDVD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(ドライブ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サービスパックDVD」を入れます。 <p>【リモートCD/DVD(イメージ)を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リモートCD/DVD」タブをクリックします。 ・「CD/DVDイメージ使用」をクリックします。 ・「サービスパックDVD (ISOイメージ)」を選択します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックします。 ・D:\\$setup.exe ※D:\はDVDドライブ名です。 	□
63		<ul style="list-style-type: none"> ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
64		<ul style="list-style-type: none"> ・[ライセンス条項に同意します(A)]をチェックします。 ・[次へ(N)]ボタンをクリックします。 	□
65		<ul style="list-style-type: none"> ・[コンピュータを自動的に再起動する(A)]のチェックを外します。 ・[インストール(I)]ボタンをクリックします。 	□

No.	画面	操作	チェック
66		<ul style="list-style-type: none"> 再起動後、ログオンをします。 	□
67		<ul style="list-style-type: none"> [閉じる(C)]ボタンをクリックします。 	□
68		<ul style="list-style-type: none"> Windowsデスクトップの[スタート]ボタンをクリックします。 [再起動]ボタンをクリックします。 任意の文字列を説明欄に入力します。 [OK]ボタンをクリックします。 Windowsが再起動します。 	□
69		<p>■シリアルコンソールの設定 コマンドプロンプトから次のコマンドを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「bcdedit」 <p>上記コマンドを入力して、以下が出力するかを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目「ems XXX」 XXX・・・「Yes」もしくは「No」が表示されます <p>「ems yes」の場合、手順71に進みます。 「ems no」またはems項目がない場合、手順70に進みます。</p>	□

No.	画面	操作	チェック
70		<p>・コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。</p> <p>「bcdedit /ems ON」 「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:115200」</p> <p>※上記コマンドでエラーが出力した場合、以下のコマンドをコマンドプロンプトで入力してください。</p> <p>「bcdedit /ems [ID] ON」 「bcdedit /emssettings EMSPORT:1 EMSBAUDRATE:115200」</p> <p>[ID]・・・ブートエントリに関連付けられているGUID ※[ID]はコマンド「bcdedit」を入力し、表示された項目の「identifier」を参照してください。</p>	□
71	<p>各ドライバのバージョン情報確認</p>	<p>■各ドライバのバージョン情報確認</p> <p>・各ドライバの確認方法は以下のWebページで発信しています。</p> <p>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/ ”導入後のサポート”-”サポート製品ダウンロード”-”ダウンロード最新情報一覧”からインストールしたドライバのバージョン確認方法をご参照ください。</p> <p>※バージョン情報を確認しドライバが最新バージョンでない場合は、Webから最新バージョンをダウンロードし、Web上にあります各ドライバの更新手順に従いインストールしてください。</p>	□
72	<p>インストールに使用したドライバにあった修正モジュールの適用</p>	<p>■OS修正モジュールの適用</p> <p>・OSの修正パッチおよび各カーネル最新情報は、以下のWebページで発信しています。また、情報は適時更新されておりますので、定期的な確認をお願いいたします。</p> <p>http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/ ”導入後のサポート”-”サポート製品ダウンロード”-”ダウンロード最新情報一覧”-”OS修正モジュール”を参照してください。</p> <p>OS修正モジュールの適用が必要な場合は、手順に従い操作を続行してください。</p>	□
73		<p>※Windows Server 2008 R2/R2 SP1をインストールした場合は手順73～79を実施してください。</p> <p>■SNP機能無効化設定</p> <p>・SNP (ScalableNetworkingPack) 機能を無効に設定します。</p> <p>・[スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックします。</p> <p>※設定内容についての関連情報は以下のURLで確認してください。 関連する MS サポート情報 http://support.microsoft.com/kb/951037/ja/</p>	□

No.	画面	操作	チェック																																																			
74		<ul style="list-style-type: none">・「regedit」と入力します。・[OK]ボタンをクリックします。	<input type="checkbox"/>																																																			
75		<ul style="list-style-type: none">・レジストリエディタを起動します。 <p>フォルダ 「HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Tcpip\Parameters」を開きます。</p>	<input type="checkbox"/>																																																			
76	<table><tr><th>名前</th><th>種類</th><th>データ</th></tr><tr><td>(既定)</td><td>REG_SZ</td><td>(値の設定なし)</td></tr><tr><td>DataBasePath</td><td>REG_EXPAND_SZ</td><td>%SystemRoot%\System32\drivers\etc</td></tr><tr><td>DeadGWDetectDefault</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000001 (1)</td></tr><tr><td>Domain</td><td>REG_SZ</td><td></td></tr><tr><td>DontAddDefaultGateway...</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>EnableICMPRedirect</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000001 (1)</td></tr><tr><td>EnableSecurityFilters</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>ForwardBroadcasts</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>Hostname</td><td>REG_SZ</td><td>D08K.J47</td></tr><tr><td>IPEnableRouter</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>NameServer</td><td>REG_SZ</td><td></td></tr><tr><td>NV Hostname</td><td>REG_SZ</td><td>D08K.J47</td></tr><tr><td>ReservedPorts</td><td>REG_MULTI_SZ</td><td>1433-1434</td></tr><tr><td>SearchList</td><td>REG_SZ</td><td>ad.hitachi-jten.co.jp,hitachi-jten.co.jp,n.hitachi</td></tr><tr><td>UseDomainNameDevoluti...</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000001 (1)</td></tr><tr><td>EnableTCPA</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr></table>	名前	種類	データ	(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)	DataBasePath	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\System32\drivers\etc	DeadGWDetectDefault	REG_DWORD	0x00000001 (1)	Domain	REG_SZ		DontAddDefaultGateway...	REG_DWORD	0x00000000 (0)	EnableICMPRedirect	REG_DWORD	0x00000001 (1)	EnableSecurityFilters	REG_DWORD	0x00000000 (0)	ForwardBroadcasts	REG_DWORD	0x00000000 (0)	Hostname	REG_SZ	D08K.J47	IPEnableRouter	REG_DWORD	0x00000000 (0)	NameServer	REG_SZ		NV Hostname	REG_SZ	D08K.J47	ReservedPorts	REG_MULTI_SZ	1433-1434	SearchList	REG_SZ	ad.hitachi-jten.co.jp,hitachi-jten.co.jp,n.hitachi	UseDomainNameDevoluti...	REG_DWORD	0x00000001 (1)	EnableTCPA	REG_DWORD	0x00000000 (0)	<ul style="list-style-type: none">・以下ファイルを右クリックします。※レジストリが存在しない場合はエントリを作成します。 <p>ファイル名: EnableTCPA 種類: REG_DWORD</p>	<input type="checkbox"/>
名前	種類	データ																																																				
(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)																																																				
DataBasePath	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\System32\drivers\etc																																																				
DeadGWDetectDefault	REG_DWORD	0x00000001 (1)																																																				
Domain	REG_SZ																																																					
DontAddDefaultGateway...	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
EnableICMPRedirect	REG_DWORD	0x00000001 (1)																																																				
EnableSecurityFilters	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
ForwardBroadcasts	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
Hostname	REG_SZ	D08K.J47																																																				
IPEnableRouter	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
NameServer	REG_SZ																																																					
NV Hostname	REG_SZ	D08K.J47																																																				
ReservedPorts	REG_MULTI_SZ	1433-1434																																																				
SearchList	REG_SZ	ad.hitachi-jten.co.jp,hitachi-jten.co.jp,n.hitachi																																																				
UseDomainNameDevoluti...	REG_DWORD	0x00000001 (1)																																																				
EnableTCPA	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
77	<table><tr><th>名前</th><th>種類</th><th>データ</th></tr><tr><td>(既定)</td><td>REG_SZ</td><td>(値の設定なし)</td></tr><tr><td>DataBasePath</td><td>REG_EXPAND_SZ</td><td>%SystemRoot%\System32\drivers\etc</td></tr><tr><td>DeadGWDetectDefault</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000001 (1)</td></tr><tr><td>Domain</td><td>REG_SZ</td><td></td></tr><tr><td>DontAddDefaultGateway...</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>EnableICMPRedirect</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000001 (1)</td></tr><tr><td>EnableSecurityFilters</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>ForwardBroadcasts</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>Hostname</td><td>REG_SZ</td><td>D08K.J47</td></tr><tr><td>IPEnableRouter</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr><tr><td>NameServer</td><td>REG_SZ</td><td></td></tr><tr><td>NV Hostname</td><td>REG_SZ</td><td>D08K.J47</td></tr><tr><td>ReservedPorts</td><td>REG_MULTI_SZ</td><td>1433-1434</td></tr><tr><td>SearchList</td><td>REG_SZ</td><td>ad.hitachi-jten.co.jp,hitachi-jten.co.jp,n.hitachi</td></tr><tr><td>UseDomainNameDevoluti...</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000001 (1)</td></tr><tr><td>EnableTCPA</td><td>REG_DWORD</td><td>0x00000000 (0)</td></tr></table> <div><div>修正(M)</div><div>バイナリデータの修正(B)</div><div>削除(D)</div><div>名前の変更(R)</div></div>	名前	種類	データ	(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)	DataBasePath	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\System32\drivers\etc	DeadGWDetectDefault	REG_DWORD	0x00000001 (1)	Domain	REG_SZ		DontAddDefaultGateway...	REG_DWORD	0x00000000 (0)	EnableICMPRedirect	REG_DWORD	0x00000001 (1)	EnableSecurityFilters	REG_DWORD	0x00000000 (0)	ForwardBroadcasts	REG_DWORD	0x00000000 (0)	Hostname	REG_SZ	D08K.J47	IPEnableRouter	REG_DWORD	0x00000000 (0)	NameServer	REG_SZ		NV Hostname	REG_SZ	D08K.J47	ReservedPorts	REG_MULTI_SZ	1433-1434	SearchList	REG_SZ	ad.hitachi-jten.co.jp,hitachi-jten.co.jp,n.hitachi	UseDomainNameDevoluti...	REG_DWORD	0x00000001 (1)	EnableTCPA	REG_DWORD	0x00000000 (0)	<ul style="list-style-type: none">・「修正(M)」をクリックします。	<input type="checkbox"/>
名前	種類	データ																																																				
(既定)	REG_SZ	(値の設定なし)																																																				
DataBasePath	REG_EXPAND_SZ	%SystemRoot%\System32\drivers\etc																																																				
DeadGWDetectDefault	REG_DWORD	0x00000001 (1)																																																				
Domain	REG_SZ																																																					
DontAddDefaultGateway...	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
EnableICMPRedirect	REG_DWORD	0x00000001 (1)																																																				
EnableSecurityFilters	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
ForwardBroadcasts	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
Hostname	REG_SZ	D08K.J47																																																				
IPEnableRouter	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				
NameServer	REG_SZ																																																					
NV Hostname	REG_SZ	D08K.J47																																																				
ReservedPorts	REG_MULTI_SZ	1433-1434																																																				
SearchList	REG_SZ	ad.hitachi-jten.co.jp,hitachi-jten.co.jp,n.hitachi																																																				
UseDomainNameDevoluti...	REG_DWORD	0x00000001 (1)																																																				
EnableTCPA	REG_DWORD	0x00000000 (0)																																																				

No.	画面	操作	チェック
78		<ul style="list-style-type: none"> ・「値のデータ(V):」を「0」に設定します。 ・[OK]ボタンをクリックします。 	□
79		<ul style="list-style-type: none"> ・コマンドプロンプトを起動します。 ・コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行します。 「netsh int tcp set global chimney=disabled」 「netsh int tcp set global rss=disabled」 ・設定後、OSを再起動します。 	□
80		<p>■リモートコンソールの終了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[終了]タブをクリックします。 ・[終了]をクリックします。 <p>以上でOSインストールは完了です。</p>	□

3. 変更来歴

第1版

#	ページ	変更内容
1		初版

第2版

#	ページ	変更内容
1	26	HVM_Ver(58-3x)以降、(78-3x)以降のサポートに伴う変更
2	78	HVM_Ver(58-3x)以降、(78-3x)以降のサポートに伴う変更
3	83	リモートCD/DVDサポート

第3版

#	ページ	変更内容
1	3	目次 Windows Server 2008 R2にWindows Server 2008 SP2 /R2 /R2 SP1を追加
2	5	1 項目 インストール所要時間 を追加
3	8	1. 1 SystemInstallerからドライバFDを作成する手順2～4を手順14後に移動
4	8	1. 1 Webからダウンロードしたドライバをインストールする手順を追加
5	8	1. 1 手順12 “ご導入後のお客さま”を“導入後のサポート”へ変更
6	11～12	1. 2 HVMの起動 手順8～12 Intel® VT-dをEnabledにする設定を追加
7	22	1. 4. 2 章タイトル LPARの構築(HVM_Ver(58-2x)以前、(78-2x)以前を使用する場合)に修正
8	27	1. 4. 3 章タイトル LPARの構築(HVM_Ver(58-3x)以降、(78-3x)以降を使用する場合)に修正
9	34	1. 5 手順3 リモートFDドライブ、リモートCDドライブ、リモートFDイメージ、リモートCDイメージを使用したインストール環境構成を追加
10	61	1. 5 手順112 “ご導入後のお客さま”を“導入後のサポート”へ変更
11	62	1. 5 手順113 “ご導入後のお客さま”を“導入後のサポート”へ変更
12	62	1. 5 手順113/114 各ドライバのバージョン情報確認を追加
13	63	1. 5 手順115/116 レジストリの更新(その2)を追加
14	65	2. Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追加
15	65	2 項目 インストール所要時間 を追加
16	66	2. 1 準備 手順1 SystemInstallerバージョンの修正
17	66	2. 1 準備 手順1 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追加
18	66	2. 1 Webからダウンロードしたドライバをインストールする手順を追加
19	71～72	2. 2 HVMの起動 手順8～12 Intel® VT-dをEnabledにする設定を追加
20	82	2. 4. 2 章タイトル LPARの構築(HVM_Ver(58-2x)以前、(78-2x)以前を使用する場合)に修正
21	87	2. 4. 3 章タイトル LPARの構築(HVM_Ver(58-3x)以降、(78-3x)以降を使用する場合)に修正
22	92	2. 5 章タイトル Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1のインストールの手順を追加
23	93	2. 5 手順3 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1を追加
24	102	2. 5 手順34 Windows Server 2008 SP2インストール時に出力されるプロダクトキー入力画面を追加
25	103	2. 5 手順40/41 SystemInstallerの場合 ディレクトリ中の“E57A2”と“Win2008R2”を“ブレードモデル名”と“OS名”に変更
26	105	2. 5 手順48 Windows Server 2008 SP2 とR2 SP1でのディスプレイ解像度設定を追加
27	105	2. 5 手順49 SystemInstallerCDのバージョンごとに構成マネージャのexeファイルディレクトリを追加
28	106	2. 5 手順52 構成マネージャがWindows Server 2008 R2 SP1用サービスパックDVDを要求する場合があることを追加
29	109	2. 5 手順63～68 Windows Server 2008 SP2 の場合でサービスパックDVDを使用し、サービスパックを当てる手順を追加
30	111	2. 5 手順71 シリアルコンソールの設定 に「ems」設定の条件文を追加
31	111	2. 5 手順72 “ご導入後のお客さま”を“導入後のサポート”へ変更
32	112	2. 5 手順73 シリアル出力の設定方法を追加
33	112	2. 5 手順74 “ご導入後のお客さま”を“導入後のサポート”へ変更
34	112	2. 5 手順75-81 SNP機能無効化設定を追加
35	115	変更履歴を変更来歴に変更し、章位置を最後尾に移動

第4版

#	ページ	変更内容
1	3	目次 1. 4. 4 LPAR構築 2. 4. 4 LPAR構築を追加
2	4	インストール所要時間 1. 4. 4 LPAR構築を追加
3	10	1. 2 手順6 リモートコンソール接続の画面を削除 手順にリモートコンソールユーザーズガイドを参照することを追加
4	27	1. 4. 4 HVM_Ver(59-0x)以降(79-0x)以降を使用する場合のLPAR構築手順を追加
5	39	1. 5 手順2 リモートコンソールの画面を変更
6	40	1. 5 手順3 リモートコンソールの画面を変更
7	71	1. 5 手順121 リモートコンソールの画面を変更
8	72	インストール所要時間 2. 4. 4 LPAR構築を追加
9	73	2. 1 手順1 E55R3/E55S3のSystemInstallerの対応バージョンを追加 準備物を追加 サービスパックDVD
10	76	2. 2 手順6 リモートコンソール接続の画面を削除 手順にリモートコンソールユーザーズガイドを参照することを追加
11	99	2. 4. 4 HVM_Ver(59-0x)以降、(79-0x)以降を使用する場合のLPAR構築手順を追加
12	106	2. 5 手順2 リモートコンソールの画面を変更
13	107	2. 5 手順3 リモートコンソールの画面を変更
14	128	2. 5 手順81 リモートコンソールの画面を変更

第5版

#	ページ	変更内容
1	2	Hitachi Server Navigatorについて Hitachi Server Navigatorを使用する場合についての記載を追加
2	3	目次 1. 4. 3 LPARの構築に記載されているバージョンを「HVM_Ver(58-3x)以降、(78-3x)以降」から「HVM_Ver(58-4x-58-8x)、(78-4x-78-8x)」に変更
3	3	目次 2. 4. 3 LPARの構築に記載されているバージョンを「HVM_Ver(58-3x)以降、(78-3x)以降」から「HVM_Ver(58-4x-58-8x)、(78-4x-78-8x)」に変更
4	10	1. 2 手順1 事前確認を追加
5	10	1. 2 手順3 標準サーバブレード、高性能サーバブレードの名称を修正、EFI、BMCの対象バージョンを各ブレードごとに記載するように変更
6	19	1. 4. 1 手順4-11 各設定値を任意に設定する手順に変更
7	24	1. 4. 2 手順4-12 各設定値を任意に設定する手順に変更
8	29	1. 4. 3 タイトルを変更 LPARの構築(HVM_Ver(58-3x)以降(78-3x)以降を使用する場合)⇒LPARの構築(HVM_Ver(58-4x-58-8x)、(78-4x-78-8x)を使用する場合)
9	30	1. 4. 3 手順5-14 各設定値を任意に設定する手順に変更
10	34	1. 4. 4 手順4 「■プロセッサ数の設定」を「■プロセッサスケジューリングモードの設定」に変更
11	35	1. 4. 4 手順5-16 各設定値を任意に設定する手順に変更
12	35	1. 4. 4 手順8 ※から始まる文章を削除
13	36	1. 4. 4 手順9 NIC選択時の制限の文章を追加
14	46	1. 5 手順17 FCデバイスの認識を確認する手順を追加
15	47	1. 5 手順23 ブートデバイス名の入力例であることの記載を追加
16	49	1. 5 手順29 ブートデバイス名の入力例であることの記載を追加
17	53	1. 5 手順45 手順を追加
18	55	1. 5 手順54 手順を追加
19	78	2. 2 手順1 事前確認を追加
20	78	2. 2 手順3 標準サーバブレード、高性能サーバブレードの名称を修正、EFI、BMCの対象バージョンを各ブレードごとに記載するように変更
21	87	2. 4. 1 手順4-11 各設定値を任意に設定する手順に変更
22	92	2. 4. 2 手順4-12 各設定値を任意に設定する手順に変更
23	97	2. 4. 3 タイトルを変更 LPARの構築(HVM_Ver(58-3x)以降(78-3x)以降を使用する場合)⇒LPARの構築(HVM_Ver(58-4x-58-8x)、(78-4x-78-8x)を使用する場合)
24	98	2. 4. 3 手順5-14 各設定値を任意に設定する手順に変更
25	102	2. 4. 4 手順4 「■プロセッサ数の設定」を「■プロセッサスケジューリングモードの設定」に変更
26	103	2. 4. 4 手順5-16 各設定値を任意に設定する手順に変更
27	112	2. 5 手順10 FCデバイスの認識を確認する手順を追加
28	117	2. 5 手順32 例としてWindows Server 2008 R2を使っていることの記載を追加

第6版

#	ページ	変更内容
1	2	Hitachi Server Navigatorについて 記載を削除
2	3	Windows Server について 対象マニュアルマトリクスを追加
3	118	2. 5 手順52-57 オフロード設定をNIC1からNIC2の設定手順に変更

Virtage OSインストール手順書(Windows編)

2013年3月(第6版)

株式会社 日立製作所
ITプラットフォーム事業本部
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

無断転載を禁止します。
<http://www.hitachi.co.jp>